

Ⅱ 調査結果

1 横断分析

1 横断分析

(1) 回答者属性

①年齢分布	10
②世帯構成	11
③年収（本人＋配偶者）	12

(2) 生活形態

①住居形態	14
②一番近くに住む家族との距離	16
③防災・防犯の備え	18

(3) 日常生活

①日常生活での自立状況	21
②現在の健康状態	23
③日常生活での不安や悩み事	25
④転倒状況	27
⑤転倒後の経過	29
⑥食事の頻度	31
⑦現在の生活の満足度	32

(4) 社会参加・就労状況

①地域活動への参加状況	33
②地域活動への取り組み要因	34
③就労意向	36
④就労意向理由	37
⑤日中の時間の過ごし方	39
⑥生きがい	41

(5) 健康

①健康への意識の有無・健康診査の受診状況	43
②健康診査を受けていない理由	44
③生活習慣についての考え方	45
④身体を動かす頻度	46
⑤疾病状況	47

(6) 介護予防	
①認知症に対するイメージ	49
②介護予防の取り組み	51
③介護予防サービスの利用意向	52
(7) 介護・医療	
①自身の希望する介護	53
②家族等を介護する際に希望する介護	54
③介護経験の有無	55
④現在と1年前の要介護度	56
⑤今後利用したい介護保険サービス	58
⑥家族介護者の有無	60
⑦介護している家族の年齢	61
⑧介護中に高齢者へあたってしまった経験	62
⑨介護をしながらつらいときの相談先	63
⑩施設への入所(入院)申し込み状況	65
⑪施設への入所(入院)申し込み理由	66
⑫施設への入所(入院)を希望しない理由	68
⑬介護保険制度についての考え方	70
⑭介護保険料とサービスの関係	71
(8) 今後力をいれてほしい高齢者施策	73

※横断分析は、各調査に共通する設問の回答を抜粋して調査対象による比較をしたものである。

※全設問の結果については、資料参照。

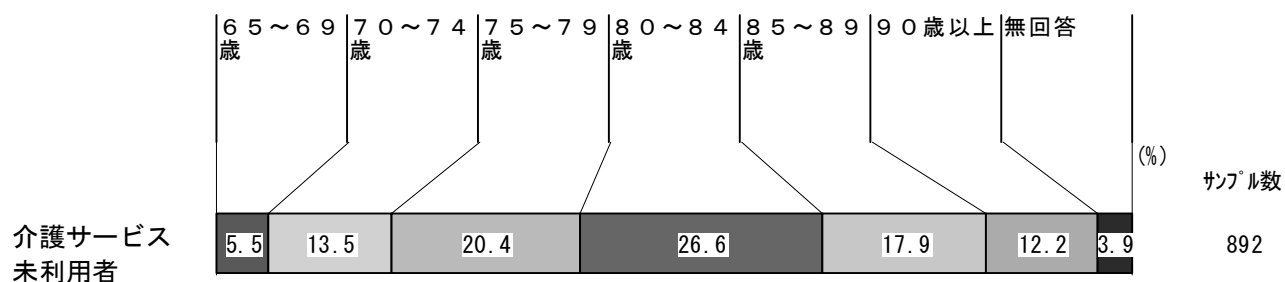
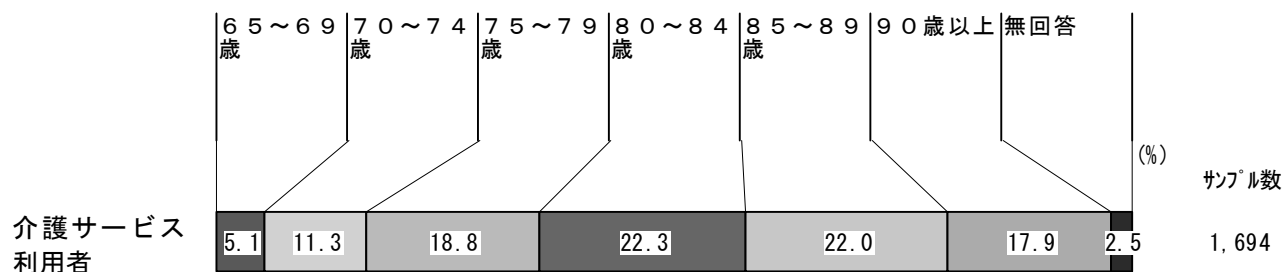
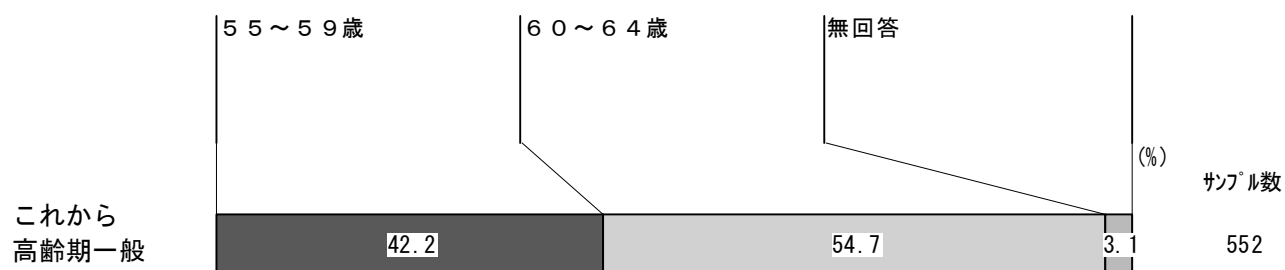
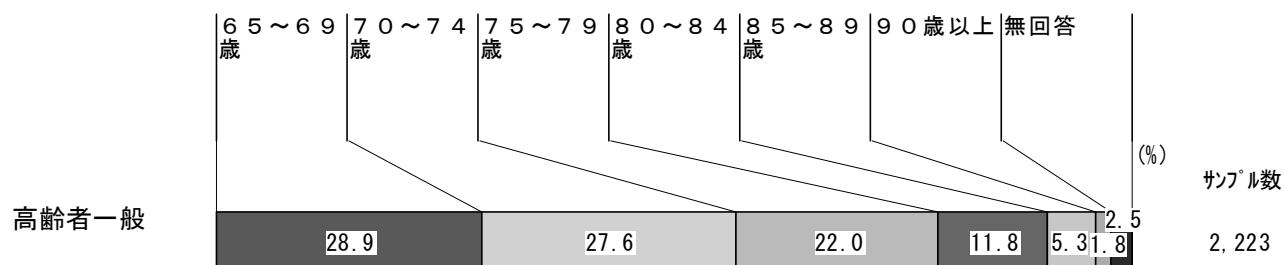
※回答の全体数は、「高齢者一般調査」のように調査名として記載しているほか、横帯グラフの右端に「サンプル数」、または「n=〇〇〇」のように項目別に示している。

※「前期高齢者」は「65～74歳」、「後期高齢者」は「75歳以上」の年齢層である。

※特定高齢者とは、65歳以上の方を対象とする「生活機能評価」の結果、要支援・要介護になるおそれがあると評価された方を指します。

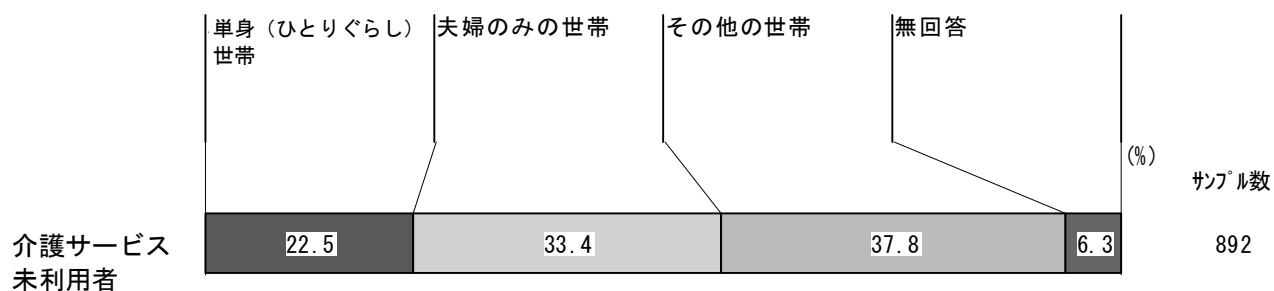
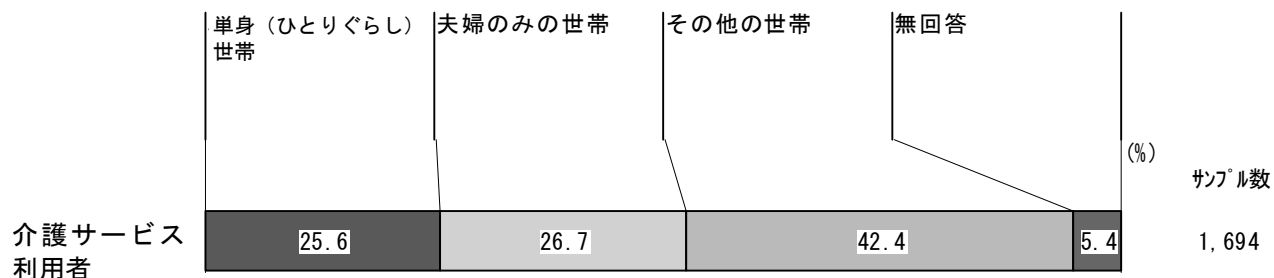
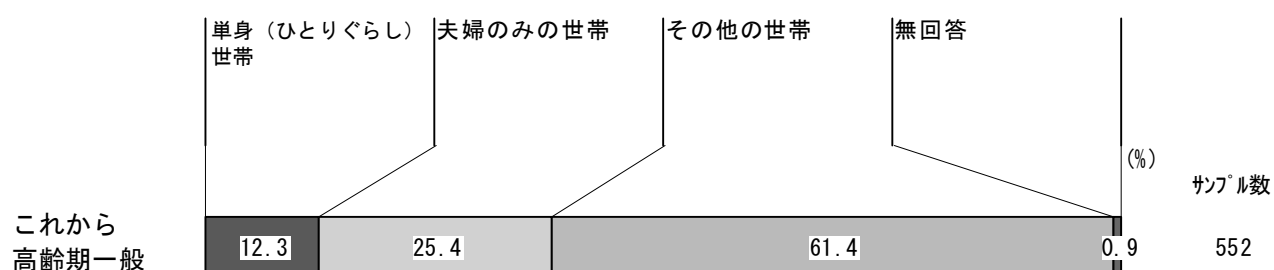
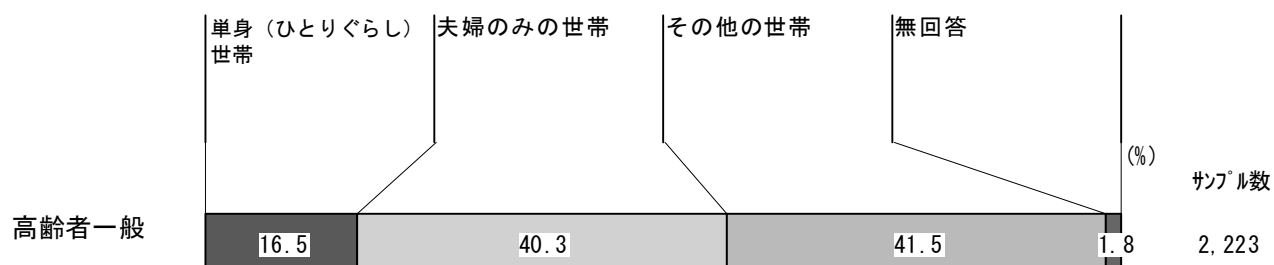
(1) 回答者属性 ①年齢分布

回答者の年齢層分布は、高齢者一般では前期高齢者の割合が56.5%、後期高齢者の割合が40.9%である。介護サービス利用者では後期高齢者の割合が81.0%、介護サービス未利用者では77.1%となっている。



(1) 回答者属性 ②世帯構成

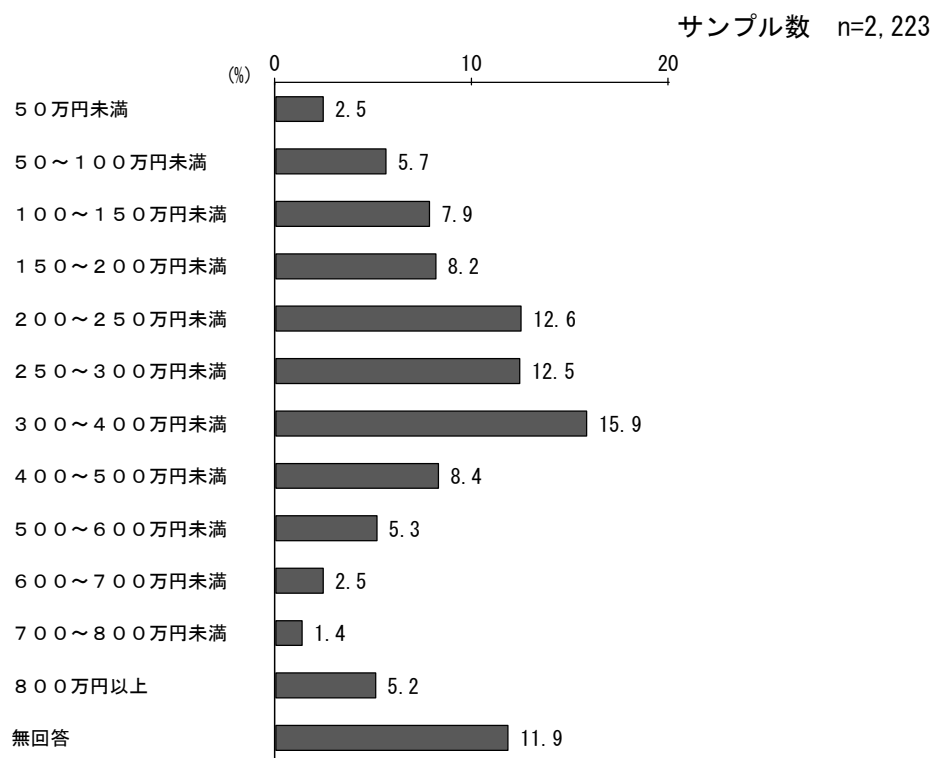
回答者の世帯構成は、これから高齢期一般を除いて、「単身（ひとりぐらし）世帯」と「夫婦のみの世帯」が過半数を占めている。単身（ひとりぐらし）世帯は、高齢者一般で16.5%、介護サービス利用者で25.6%、介護サービス未利用者で22.5%となっている。



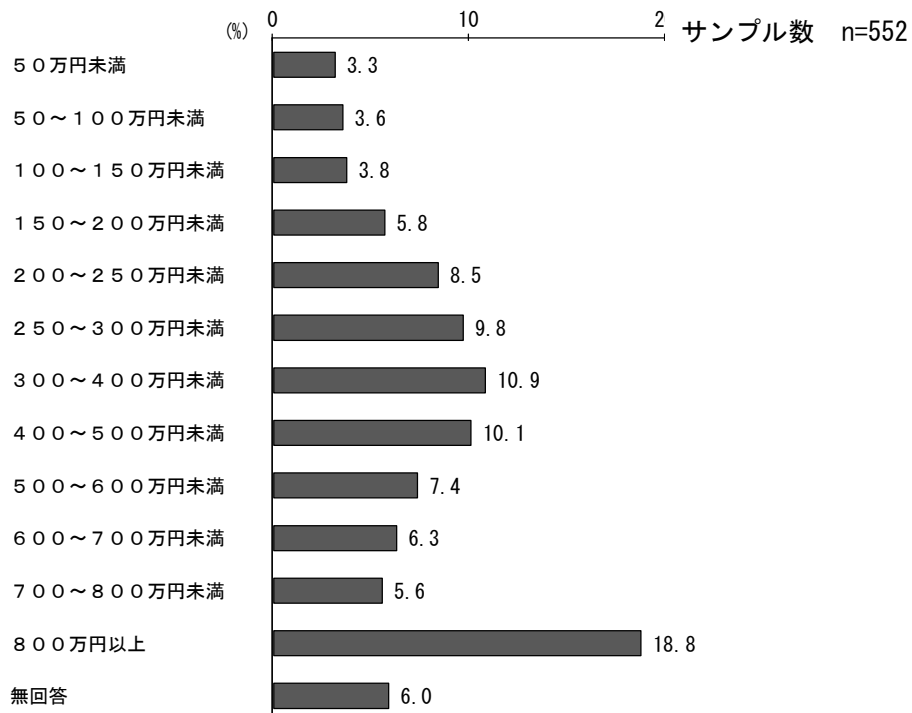
(1) 回答者属性 ③年収（本人＋配偶者）

回答者の本人および配偶者を合わせた年収総額（税込額）が300万円未満の割合は、高齢者一般で49.4%、これから高齢期一般で34.8%、介護サービス利用者で59.6%、介護サービス未利用者で57.8%となっている。

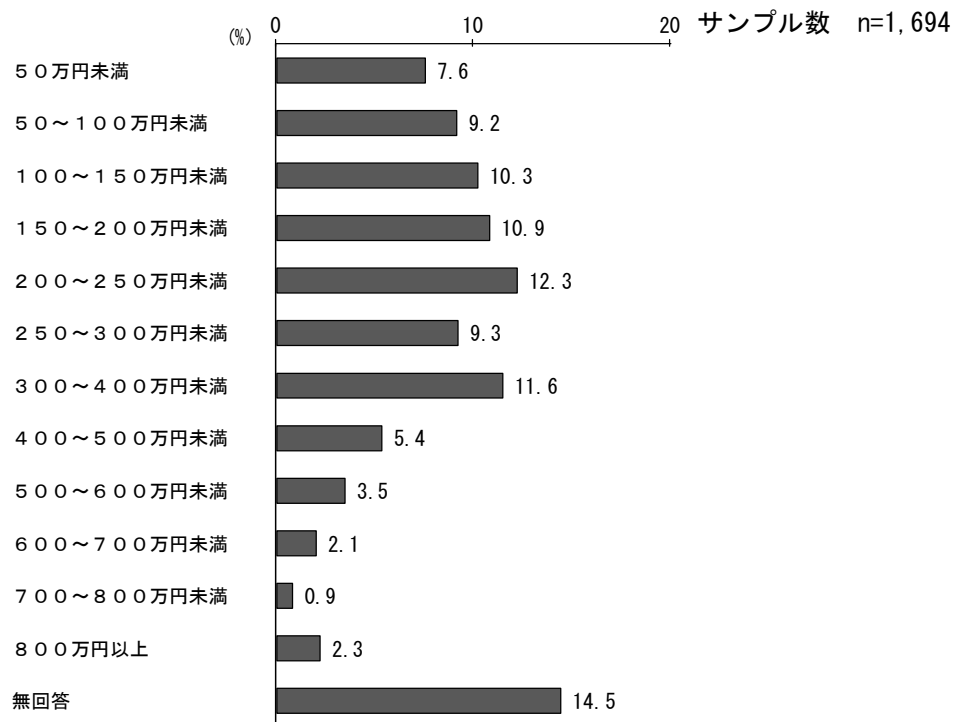
高齢者一般



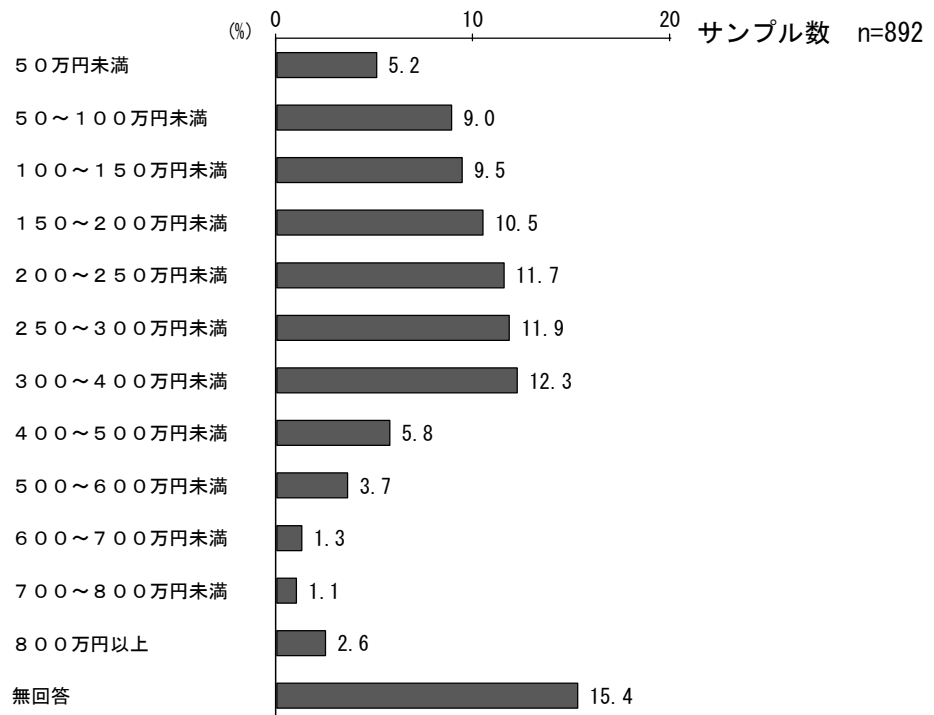
これから
高齢期一般



介護サービス
利用者



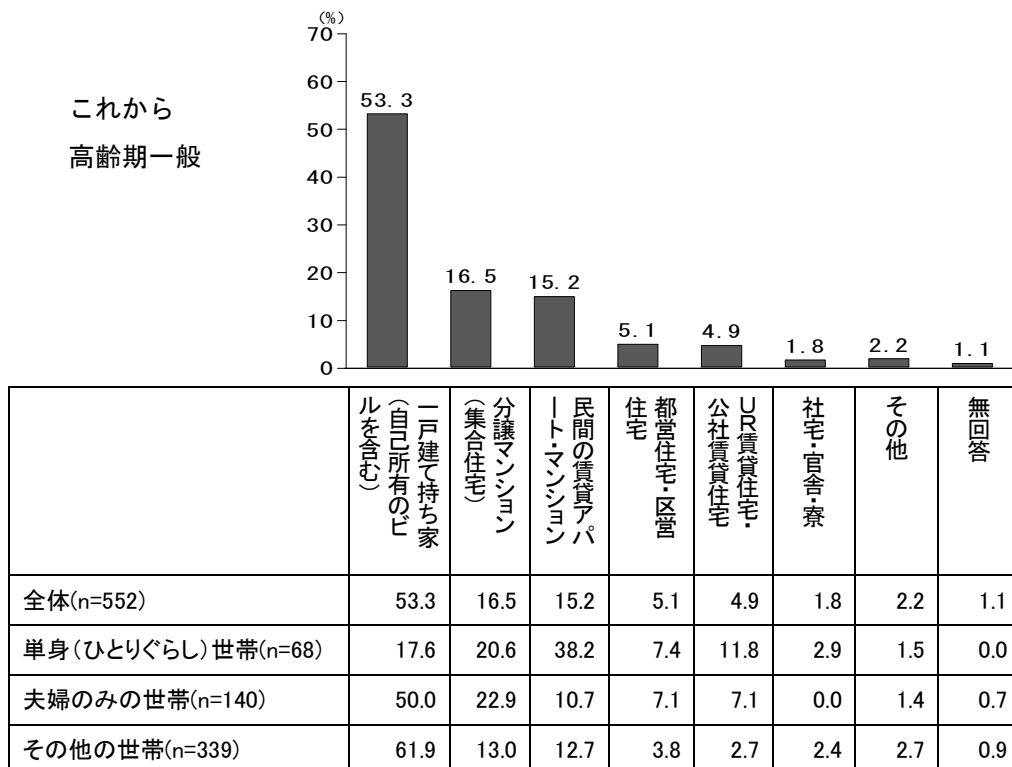
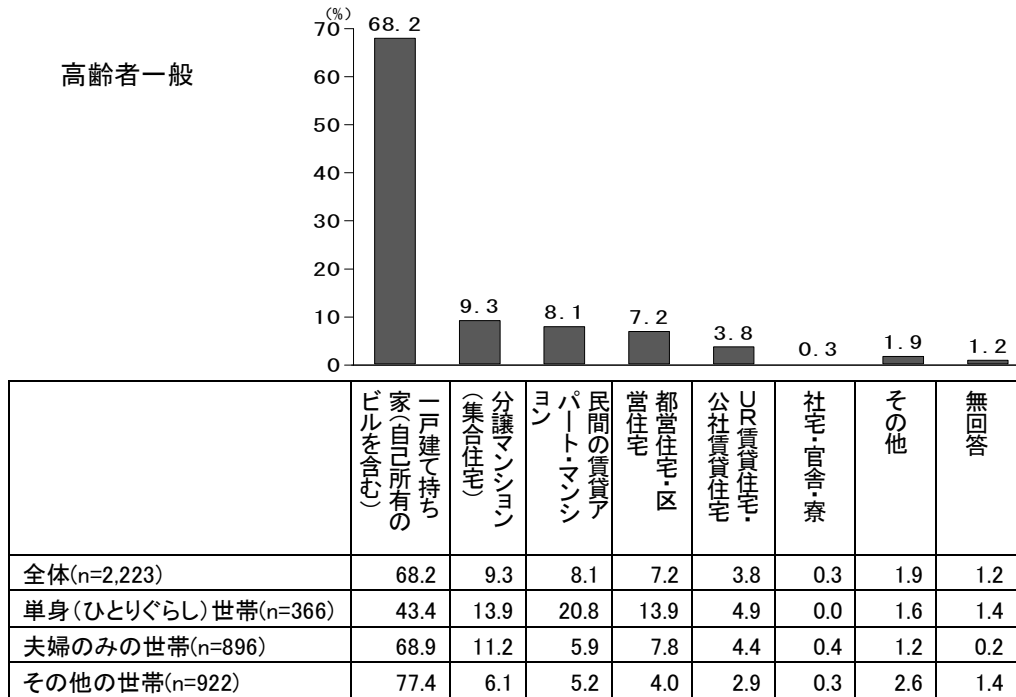
介護サービス
未利用者



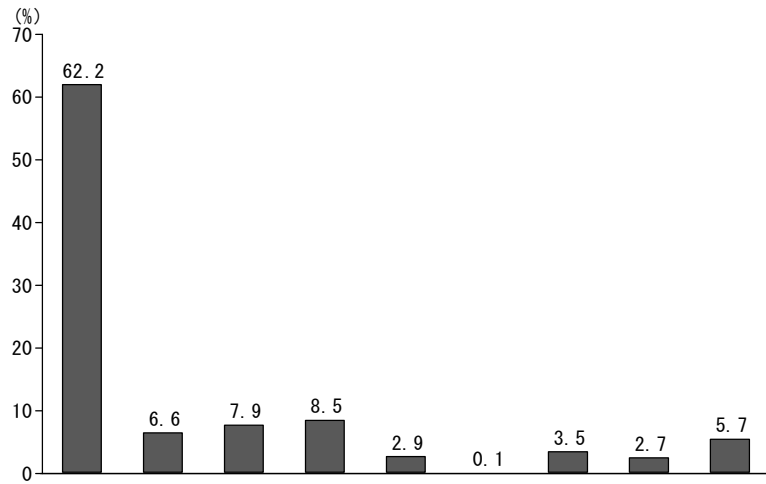
(2) 生活形態 ①住居形態

住居形態については、いずれの調査においても「一戸建て持ち家」（高齢者一般 68.2%、これから高齢期一般 53.3%、介護サービス利用者 62.2%、介護サービス未利用者 67.8%）の割合が最も高い。

世帯構成別にみると、単身（ひとりぐらし）世帯の「一戸建て持ち家」の割合は他世帯と比較して低くなるが、特にこれから高齢期一般においては、分譲マンション（集合住宅）、民間の賃貸アパート・マンションよりも低い割合になっている。

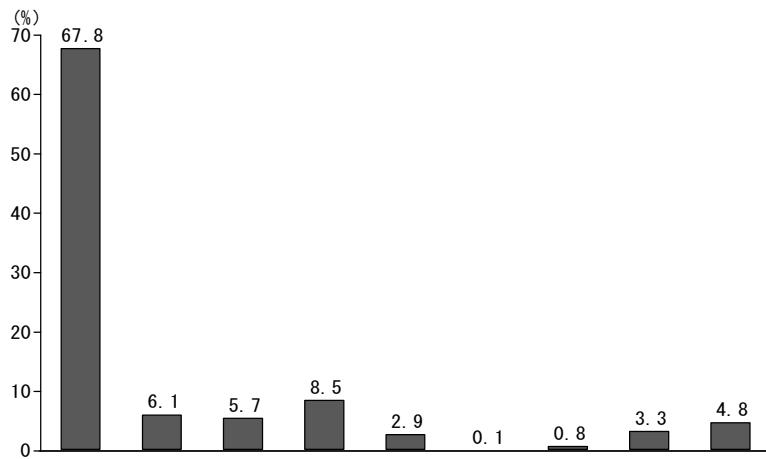


介護サービス
利用者



	一戸建て持ち家(自己所有のビルを含む)	分譲マンション(集合住宅)	民間の賃貸アパート・マンション	都営住宅・区営住宅	UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
全体(n=1,694)	62.2	6.6	7.9	8.5	2.9	0.1	3.5	2.7	5.7
単身(ひとりぐらし)世帯(n=433)	47.1	8.8	16.2	13.6	2.1	0.0	4.4	3.7	4.2
夫婦のみの世帯(n=452)	66.8	6.4	6.2	10.2	4.9	0.0	1.3	0.9	3.3
その他の世帯(n=718)	68.8	5.7	4.3	4.2	2.4	0.1	3.9	3.3	7.2

介護サービス
未利用者

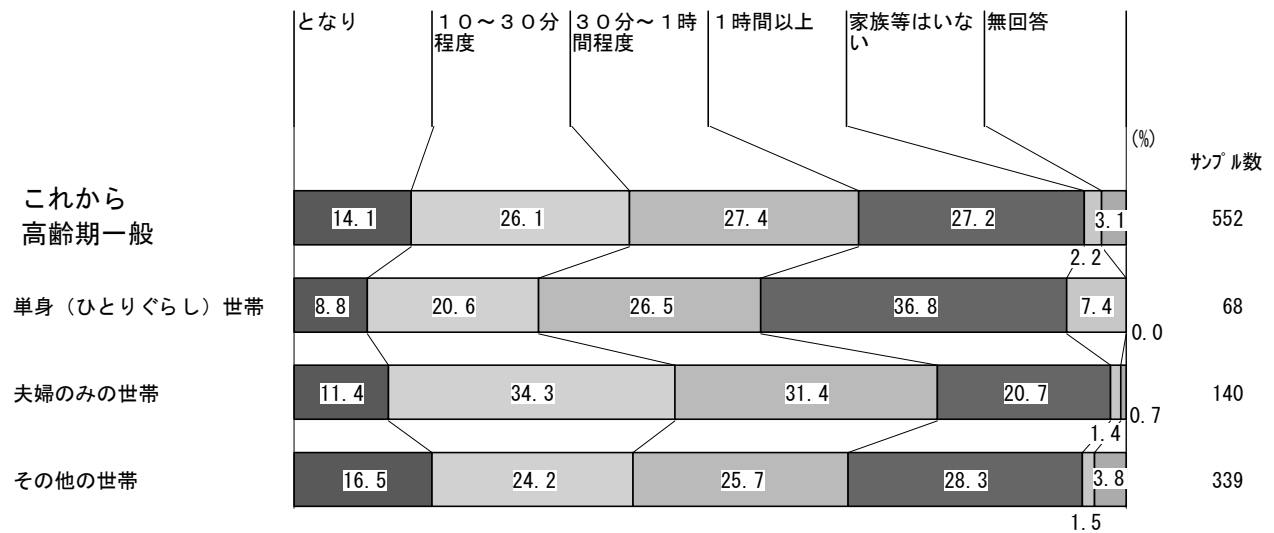
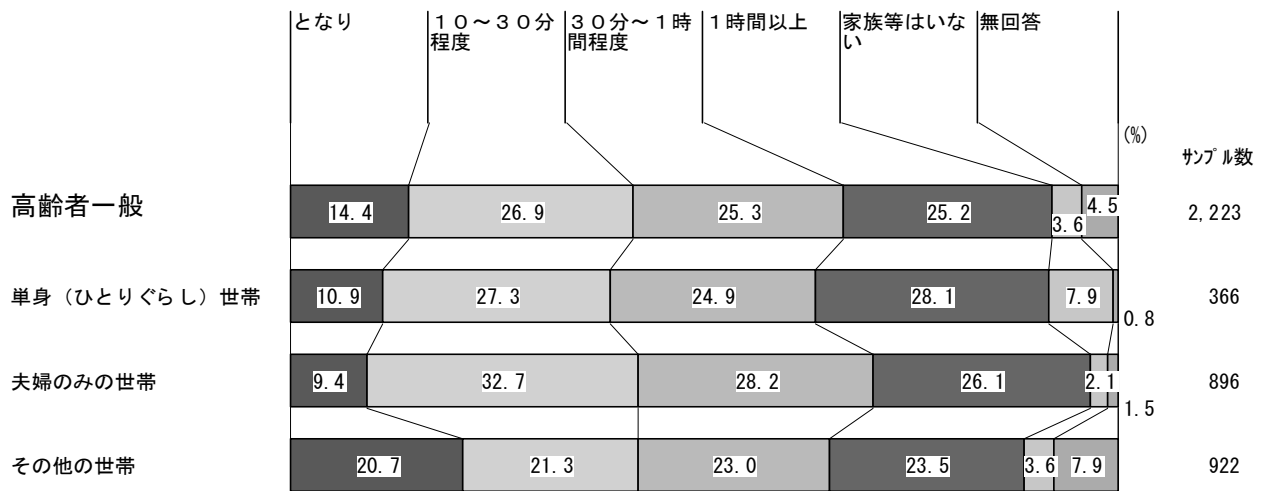


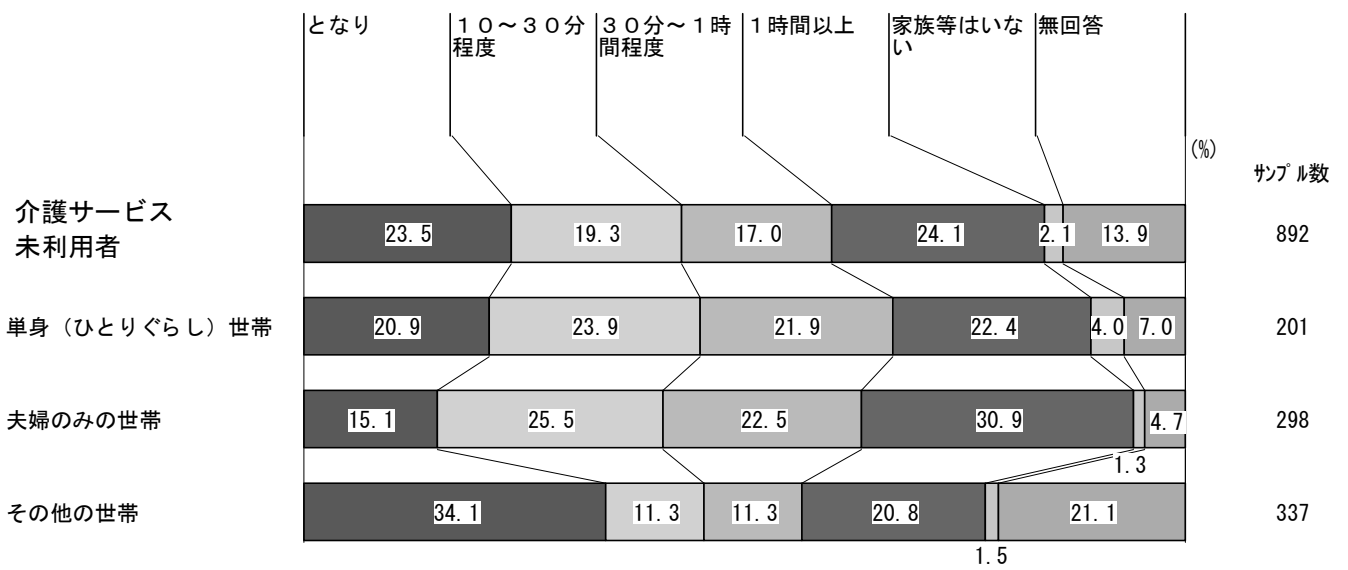
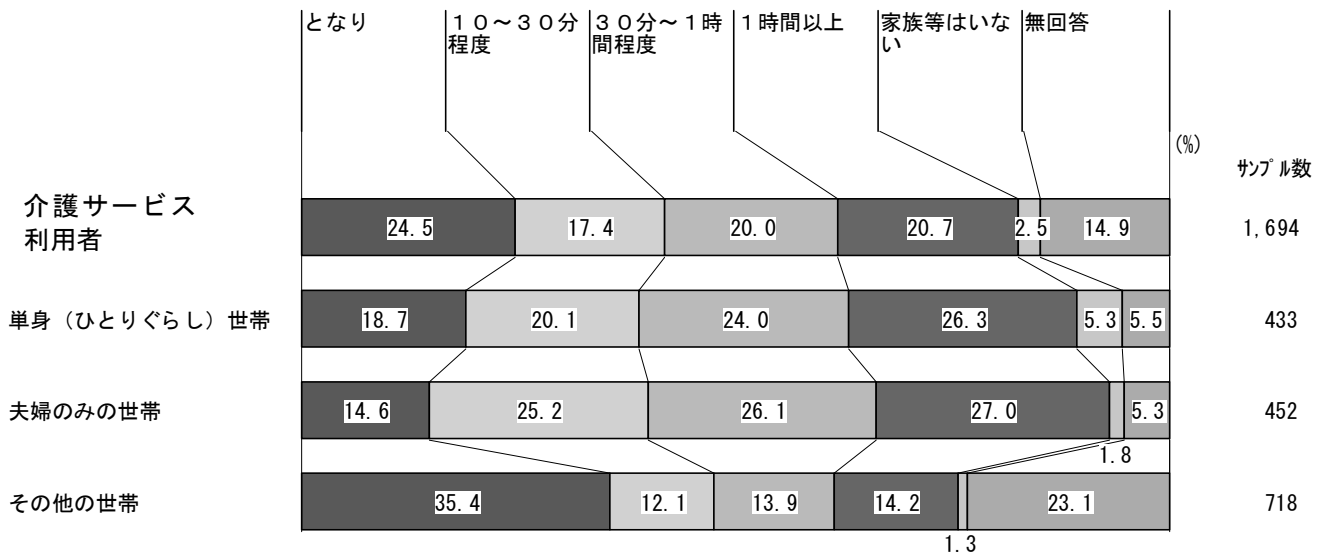
	一戸建て持ち家(自己所有のビルを含む)	分譲マンション(集合住宅)	民間の賃貸アパート・マンション	都営住宅・区営住宅	UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	社宅・官舎・寮	有料老人ホーム	その他	無回答
全体(n=892)	67.8	6.1	5.7	8.5	2.9	0.1	0.8	3.3	4.8
単身(ひとりぐらし)世帯(n=201)	55.2	9.5	13.4	10.9	2.0	0.0	1.5	2.5	5.0
夫婦のみの世帯(n=298)	69.5	6.7	4.7	10.4	4.7	0.0	0.3	1.3	2.3
その他の世帯(n=337)	75.1	3.0	2.1	5.3	2.1	0.3	0.6	5.0	6.5

(2) 生活形態 ②一番近くに住む家族との距離

一番近くに住む家族との距離は、いずれの調査においても1時間以内（「となり」「10～30分程度」「30分～1時間程度」）の割合が約6割（高齢者一般 66.6%、これから高齢期一般 67.6%、介護サービス利用者 61.9%、介護サービス未利用者 59.8%）となっている。

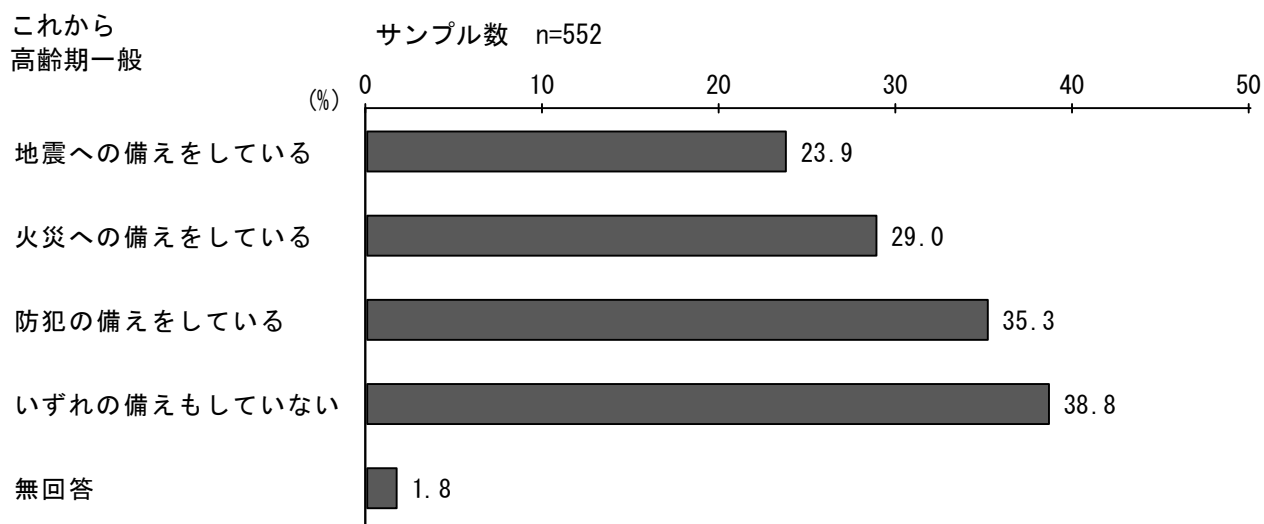
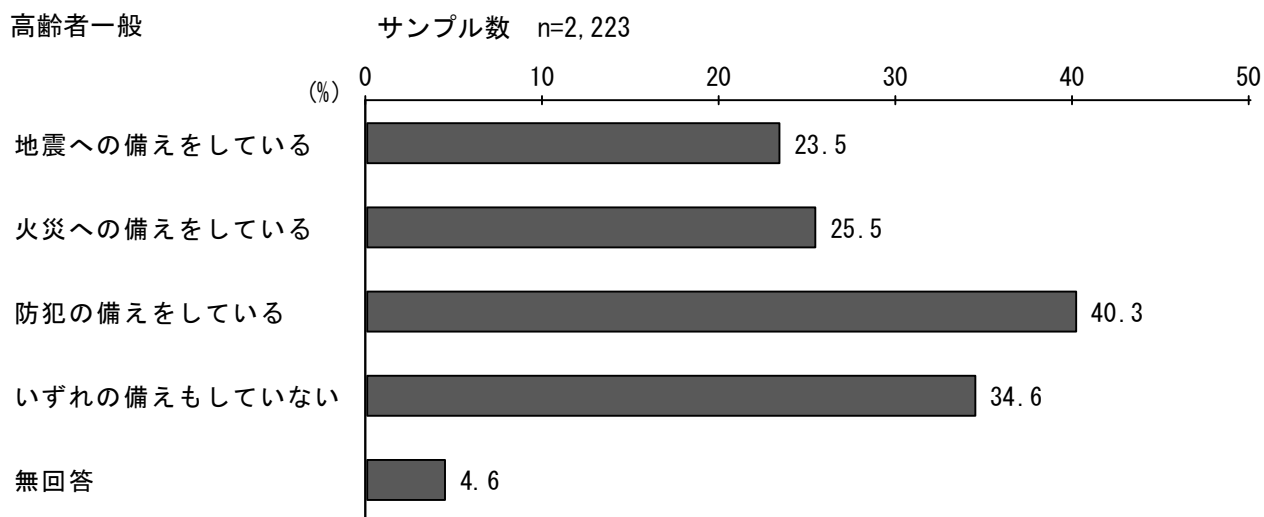
世帯構成別にみると、単身（ひとりぐらし）世帯においては、「となり」の割合が介護サービス利用者で18.7%、介護サービス未利用者で20.9%であり、高齢者一般（10.9%）、これから高齢期一般（8.8%）より高くなっている。





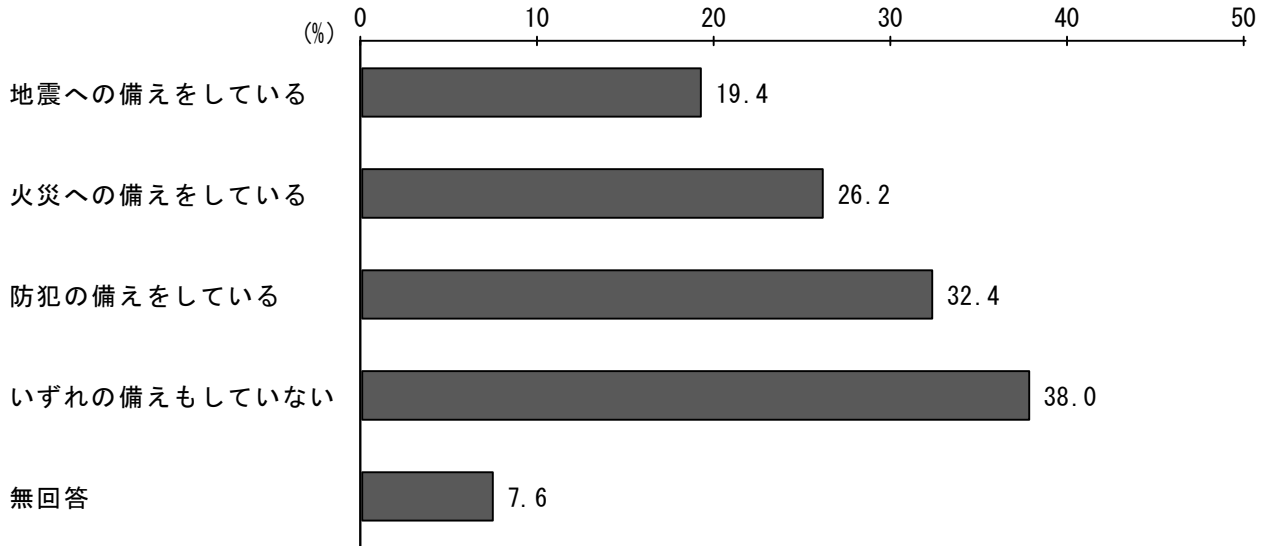
(2) 生活形態 ③防災・防犯の備え [複数回答]

防災・防犯の備えについては、いずれの調査においても「いずれの備えもしていない」が3割を超えている。また、防犯、火災、地震の順に備えがなされている傾向があり、地震への備えが十分でないという傾向が見られる。



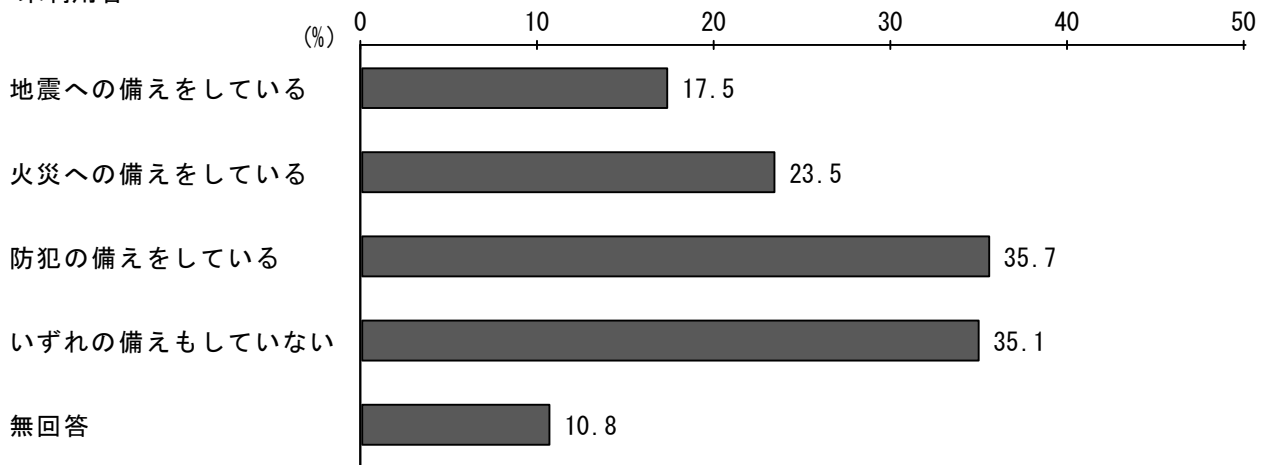
介護サービス
利用者

サンプル数 n=1,694

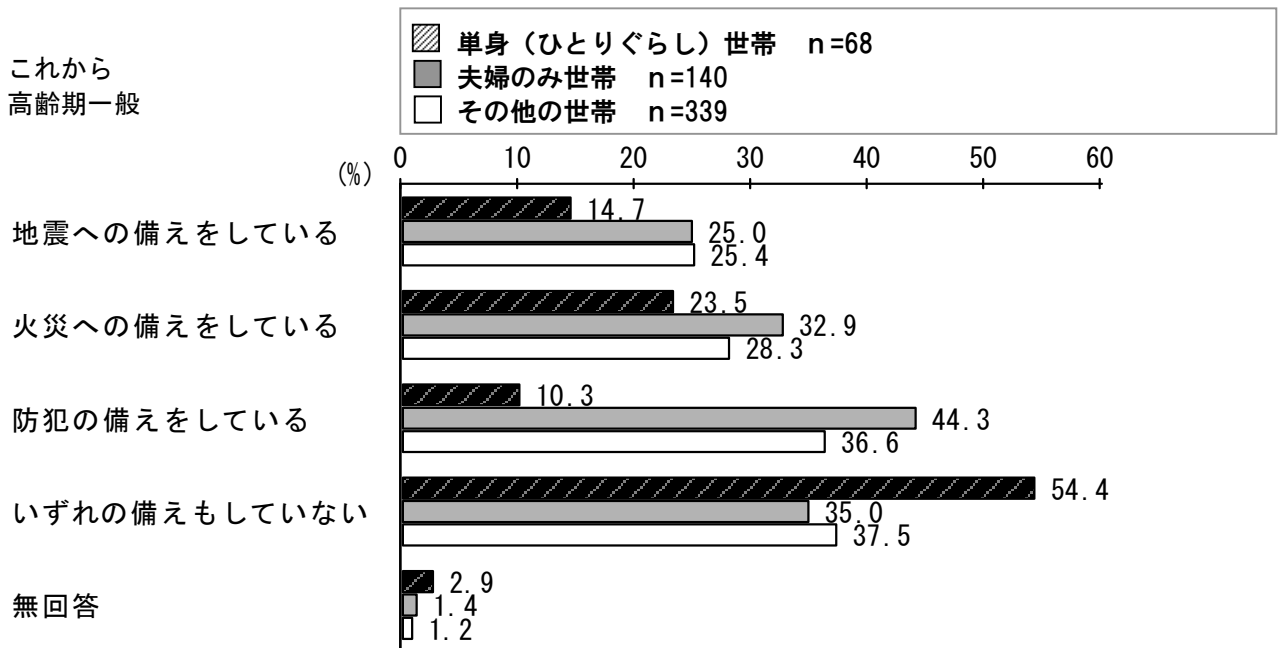
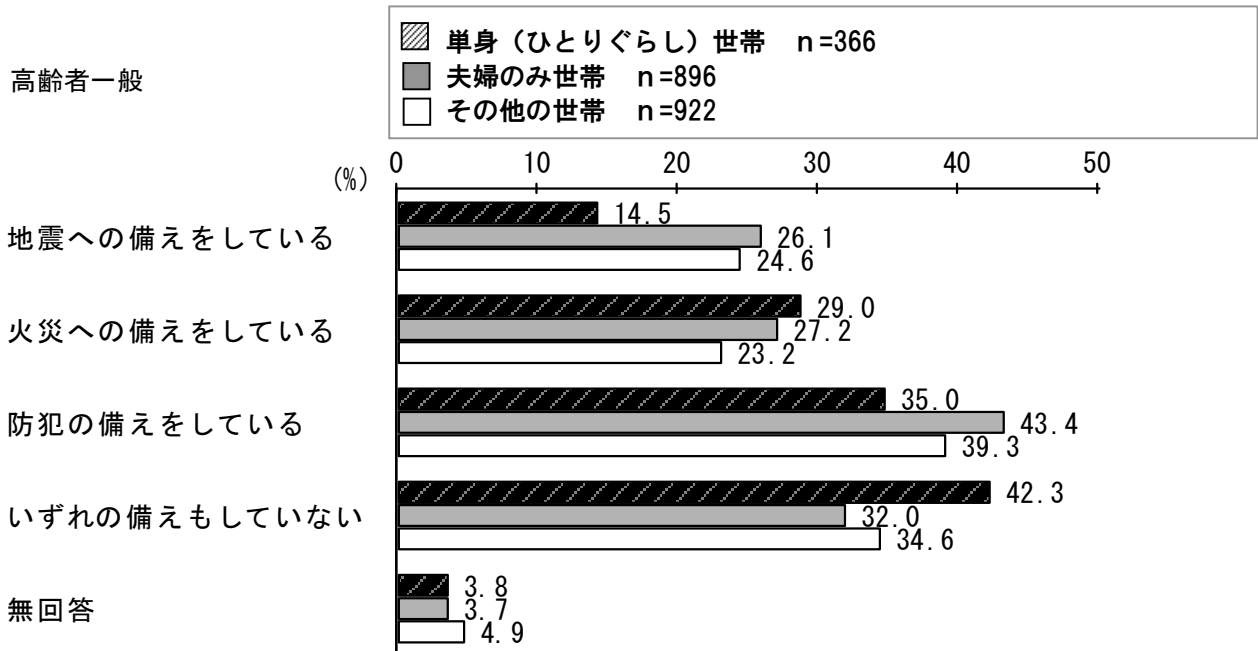


介護サービス
未利用者

サンプル数 n=892



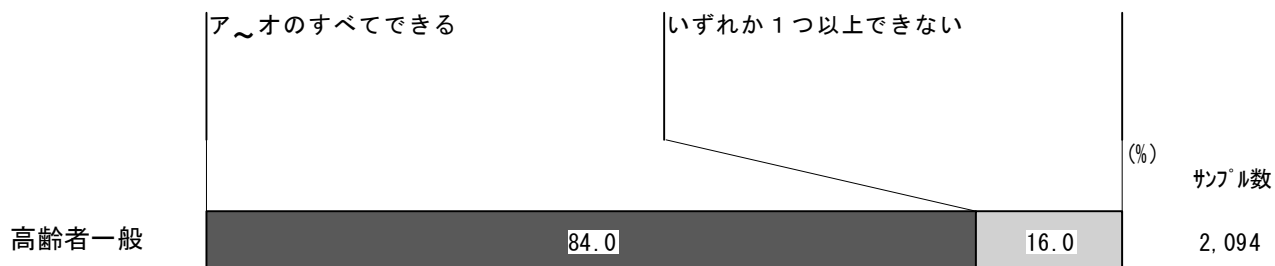
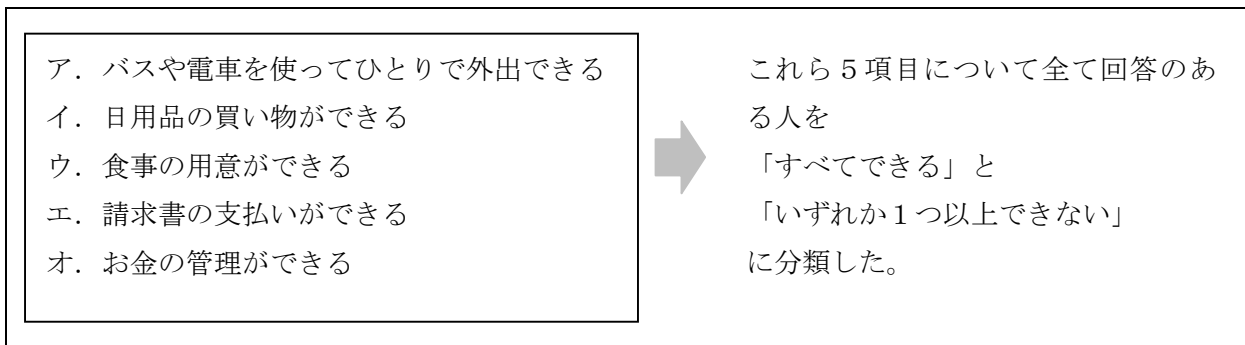
防災・防犯の備えを世帯構成別にみると、単身（ひとりぐらし）世帯では、「いずれの備えもしていない」の割合が、高齢者一般、これから高齢期一般ともに、他の世帯より高い。特にこれから高齢期一般の単身（ひとりぐらし）世帯では、「防犯の備えをしている」の割合が10.3%と低くなっている。



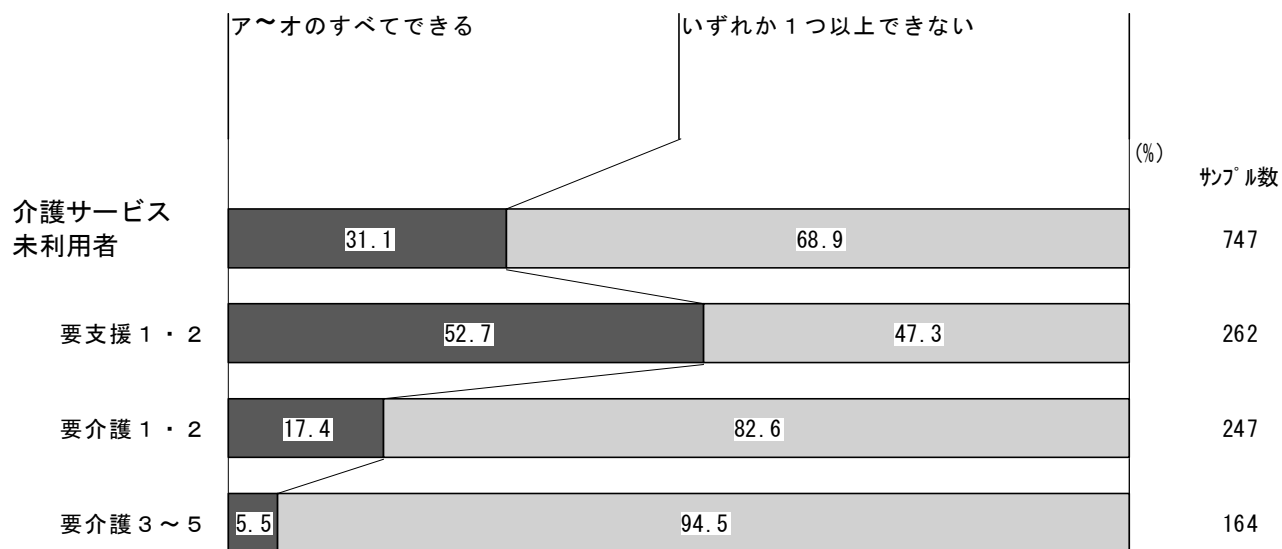
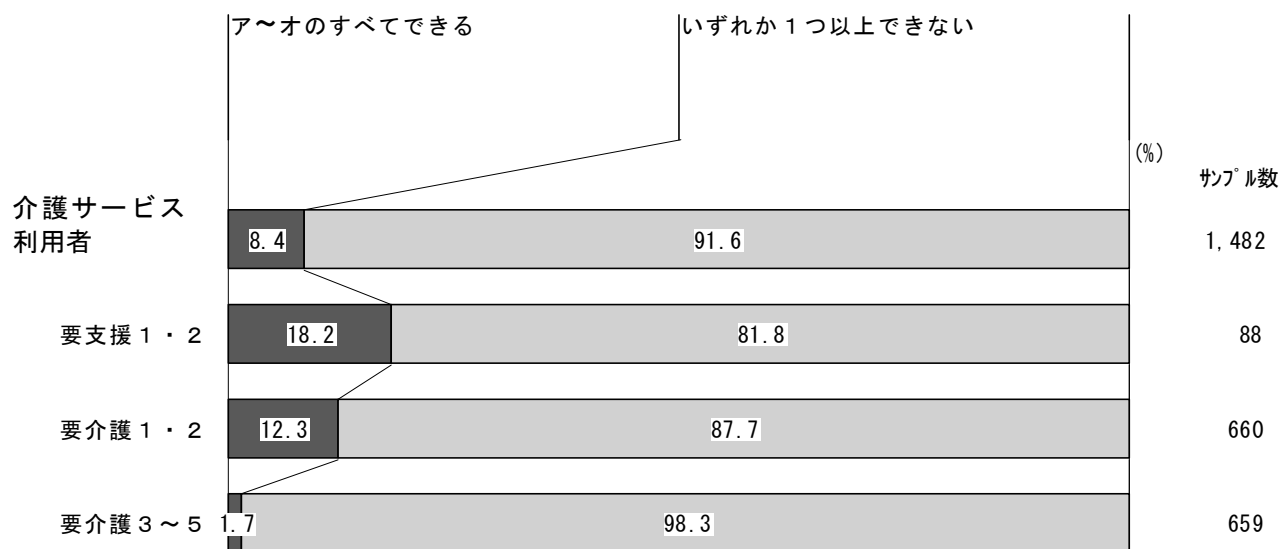
(3) 日常生活 ①日常生活での自立状況

高齢者一般の日常生活における自立状況については、「ア～オのすべてができる」の割合は84.0%であり、8割以上の方が日常生活において自立していることがわかる。

《自立状況の分析》

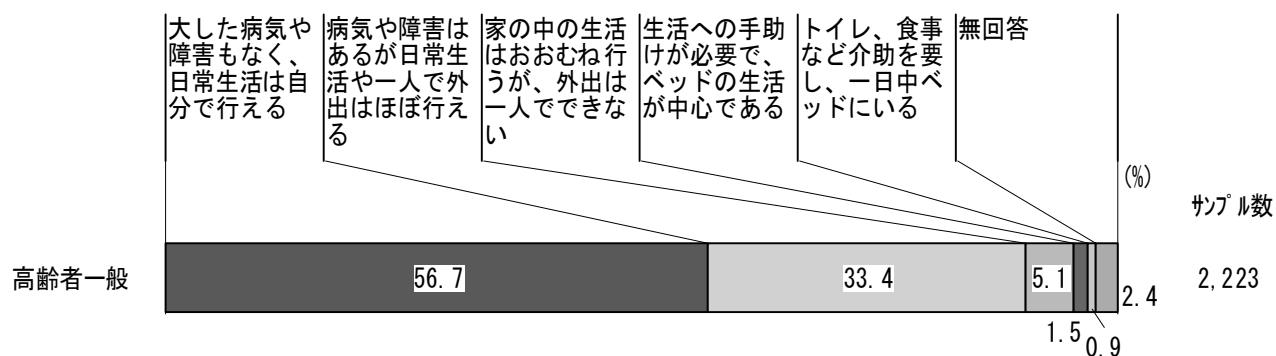


介護サービス利用者および介護サービス未利用者の要介護度別にみると、要支援1・2においては、介護サービス利用者で「ア～オのすべてができる」の割合は18.2%に対し、介護サービス未利用者では52.7%と高くなっている。

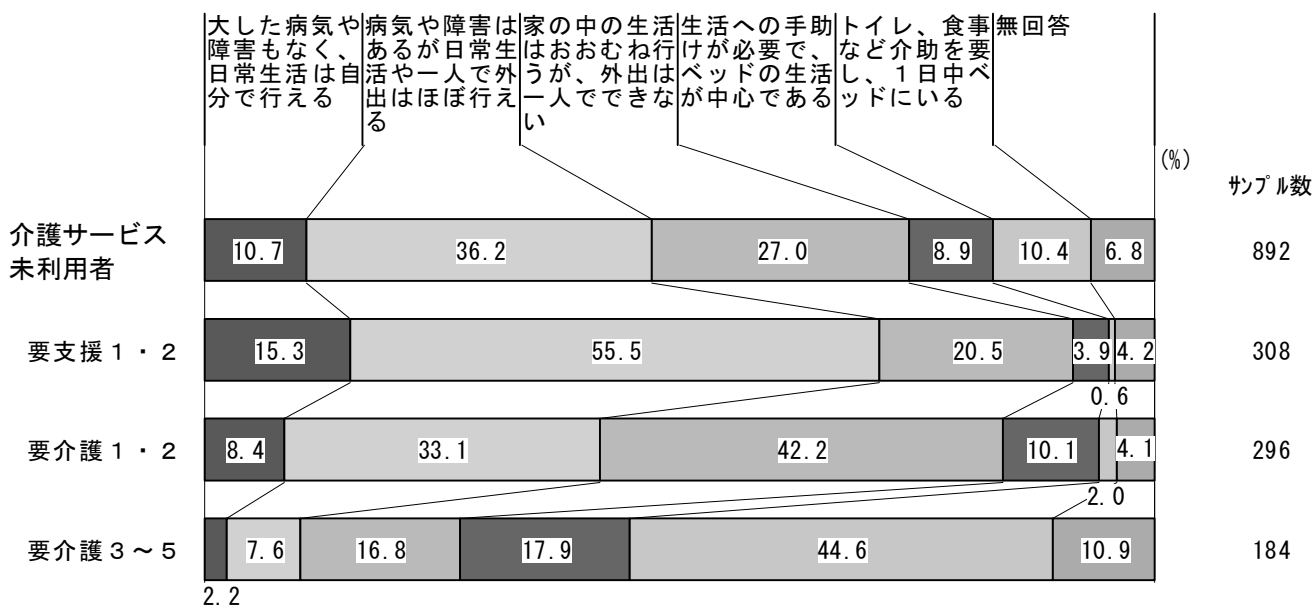
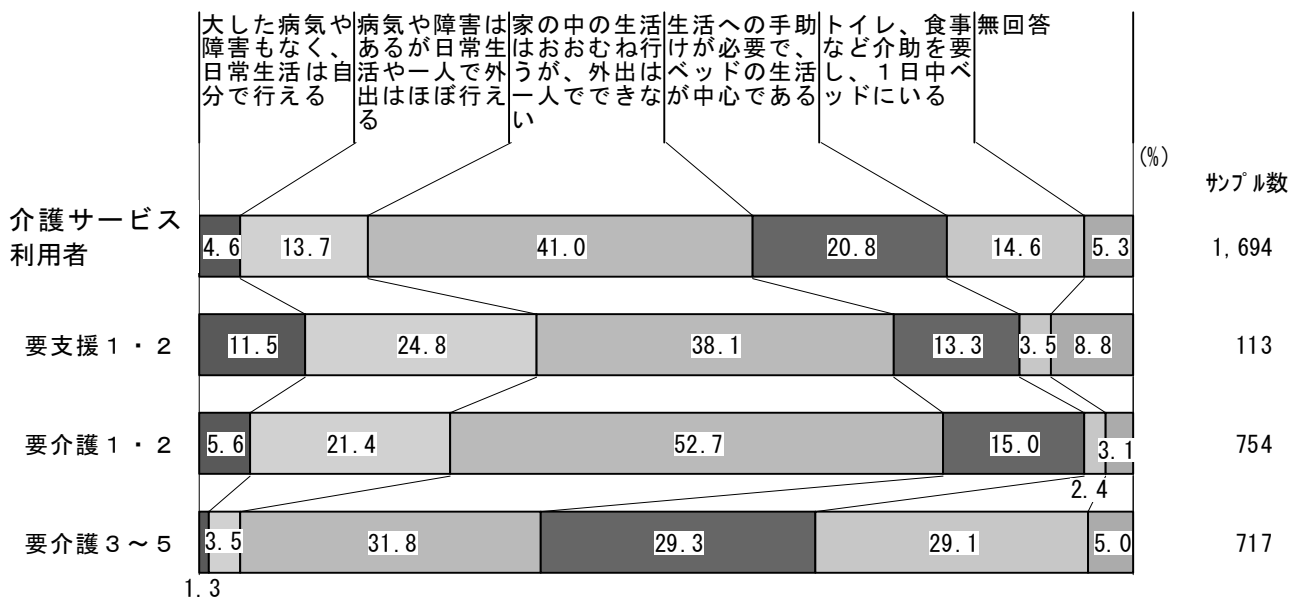


(3) 日常生活 ②現在の健康状態

現在の健康状態については、「大した病気や障害もなく、日常生活は自分でできる」と「病気や障害はあるが日常生活や一人で外出はほぼ行える」の合計は、90.1%である。



介護サービス利用者と介護サービス未利用者を比較すると、「大した病気や障害もなく、日常生活は自分で行える」および「病気や障害はあるが日常生活や一人で外出はほぼ行える」は、どちらも介護サービス未利用者の方が高くなっている。



(3) 日常生活 ③日常生活での不安や悩み事 [複数回答]

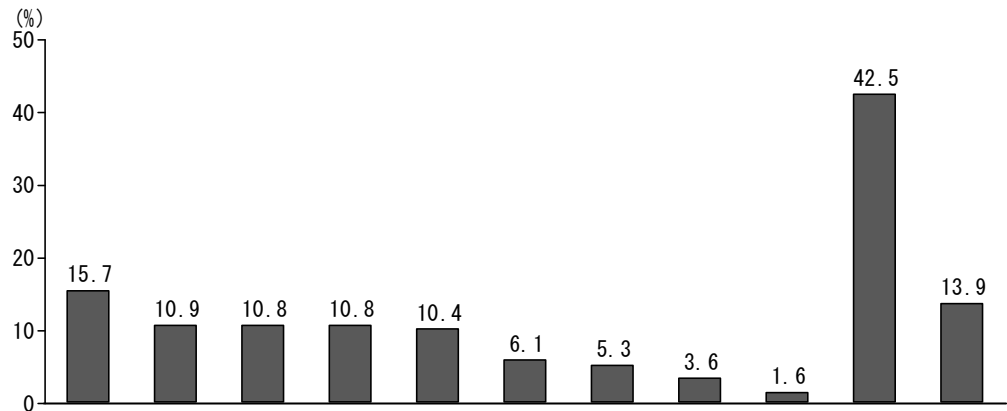
日常生活での不安や悩み事については、「特にない」の割合は約4割(高齢者一般42.5%、これから高齢期一般41.3%)となっている。

不安や悩みとしては、高齢者一般では「健康に自信がない」の割合が最も高く、これから高齢期一般では「家計のこと」が最も高い。

世帯構成別にみると、単身(ひとり暮らし)世帯では、「世話をしてくれる人がいない」の割合が、高齢者一般での16.7%に対して、これから高齢期一般では35.3%と高くなっている。

高齢者一般

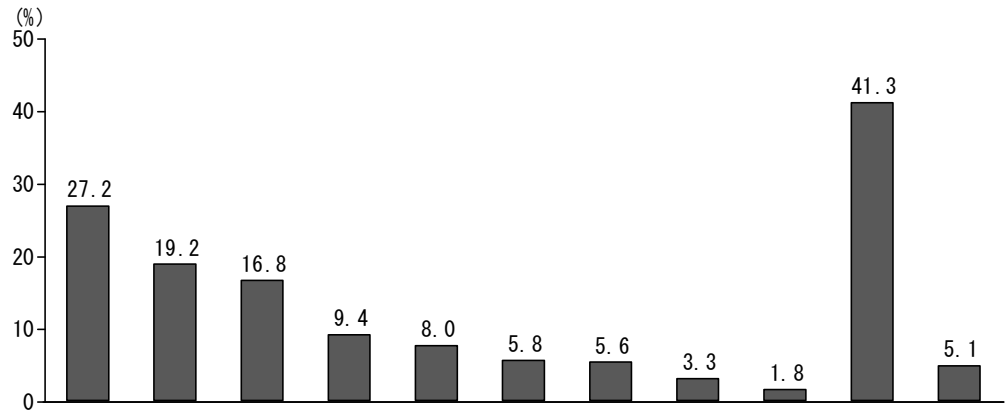
サンプル数 n=2,223



	健康に自信がない	物忘れがひどくなった	家計のこと	防犯・防災のこと	住まいのこと	世話をしてくれる人がいない	親しい友人がいない	近所の人たちと交流がない・うまくいっていない	その他	特にない	無回答
全体(n=2,223)	15.7	10.9	10.8	10.8	10.4	6.1	5.3	3.6	1.6	42.5	13.9
単身(ひとり暮らし)世帯(n=366)	19.9	12.8	13.9	15.8	15.8	16.7	6.3	4.9	3.8	29.8	13.4
夫婦のみの世帯(n=896)	14.2	9.3	10.3	10.9	9.4	4.7	5.6	3.5	1.3	47.4	12.7
その他の世帯(n=922)	15.5	11.9	9.9	8.6	9.1	3.3	4.8	3.3	1.0	43.8	14.4

これから
高齢期一般

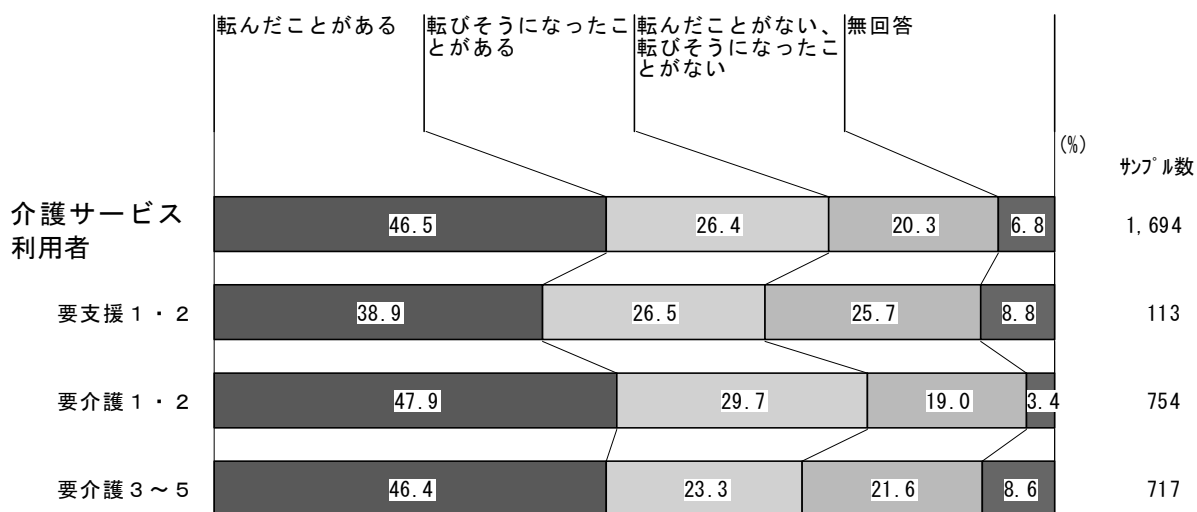
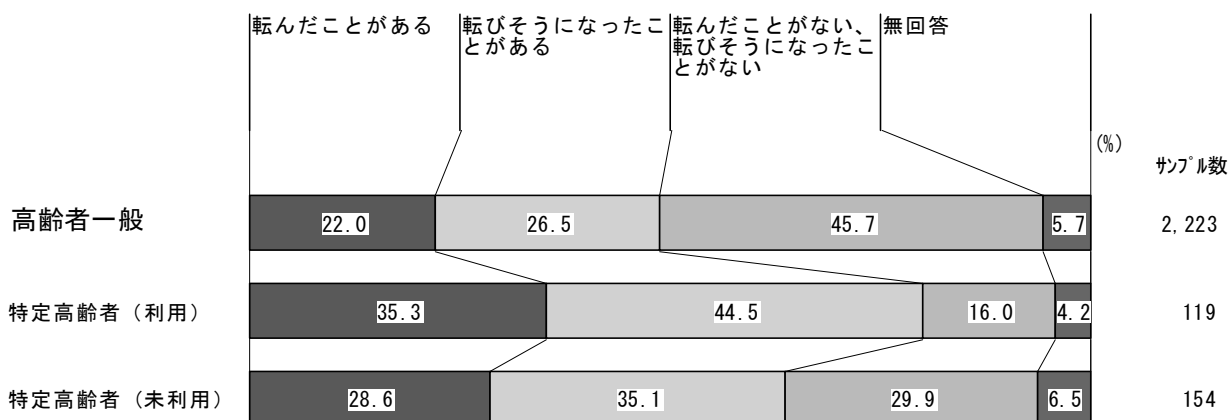
サンプル数 n=552

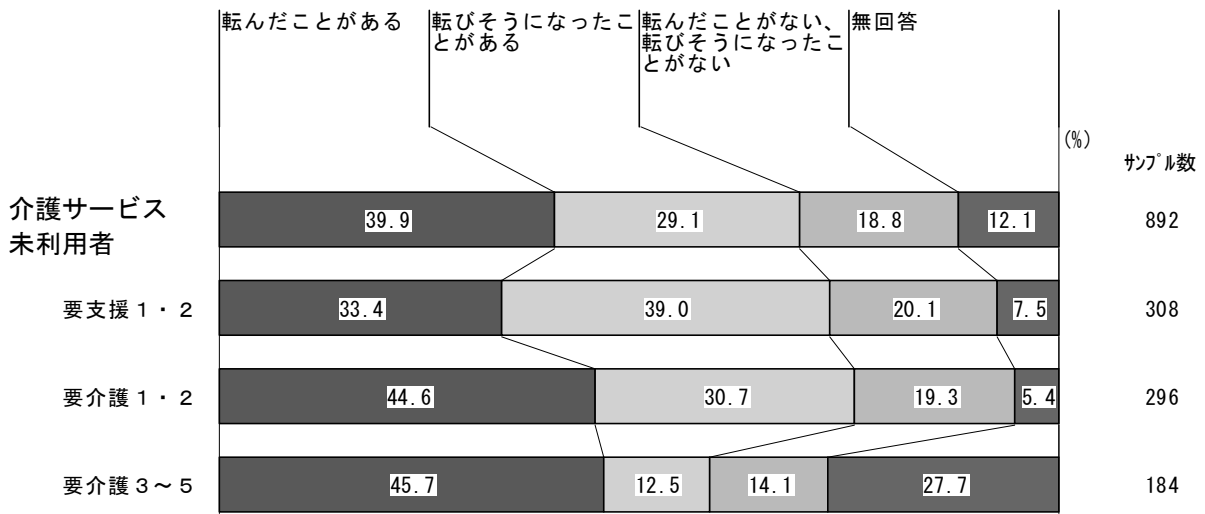


	家計のこと	住まいのこと	健康に自信がない	世話をしてくれる人がいない	防犯・防災のこと	物忘れがひどくなった	親しい友人がいない	近所の人たちと交流がない・うまくいっていない	その他	特にない	無回答
全体(n=552)	27.2	19.2	16.8	9.4	8.0	5.8	5.6	3.3	1.8	41.3	5.1
単身(ひとりぐらし)世帯(n=68)	30.9	33.8	26.5	35.3	10.3	4.4	11.8	7.4	1.5	20.6	5.9
夫婦のみの世帯(n=140)	20.0	19.3	13.6	5.7	5.0	6.4	4.3	5.0	0.0	45.7	7.1
その他の世帯(n=339)	29.5	16.2	15.9	5.9	8.8	5.9	5.0	1.8	2.7	44.0	3.5

(3) 日常生活 ④転倒状況

日常生活における転倒状況については、「転んだことがある」の割合は高齢者一般の22.0%に対して、介護サービス利用者が46.5%、介護サービス未利用者は39.9%と要介護者の方が高い傾向にある。

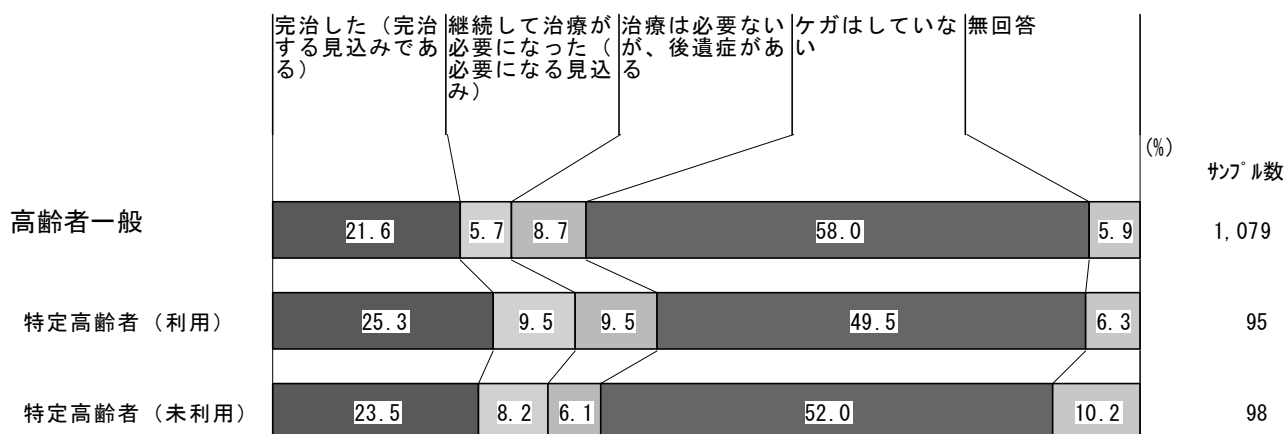


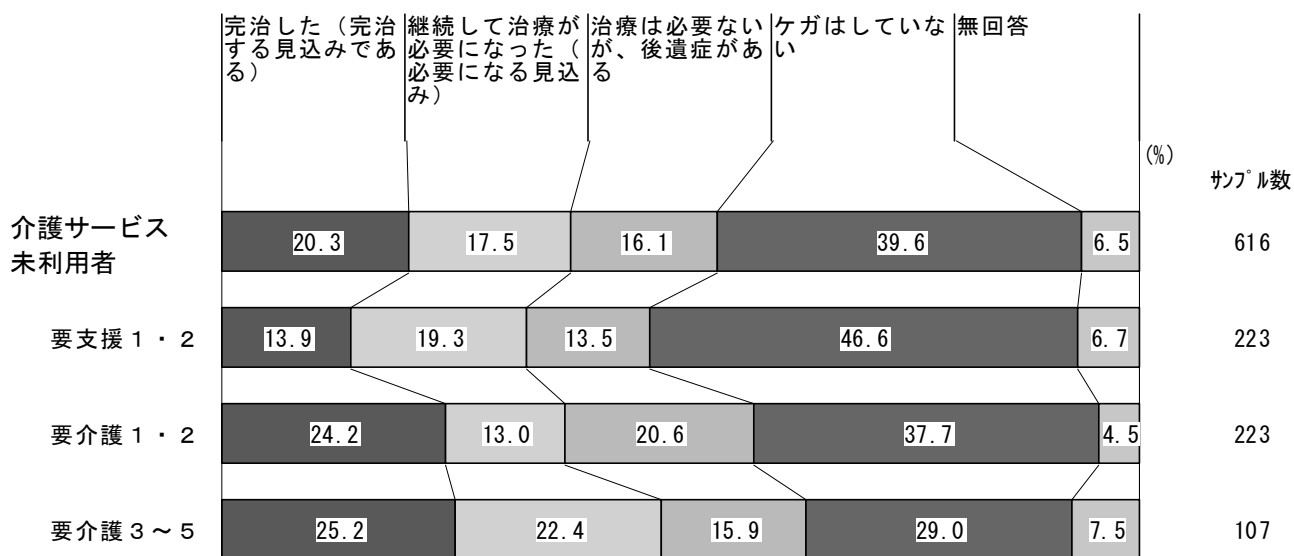
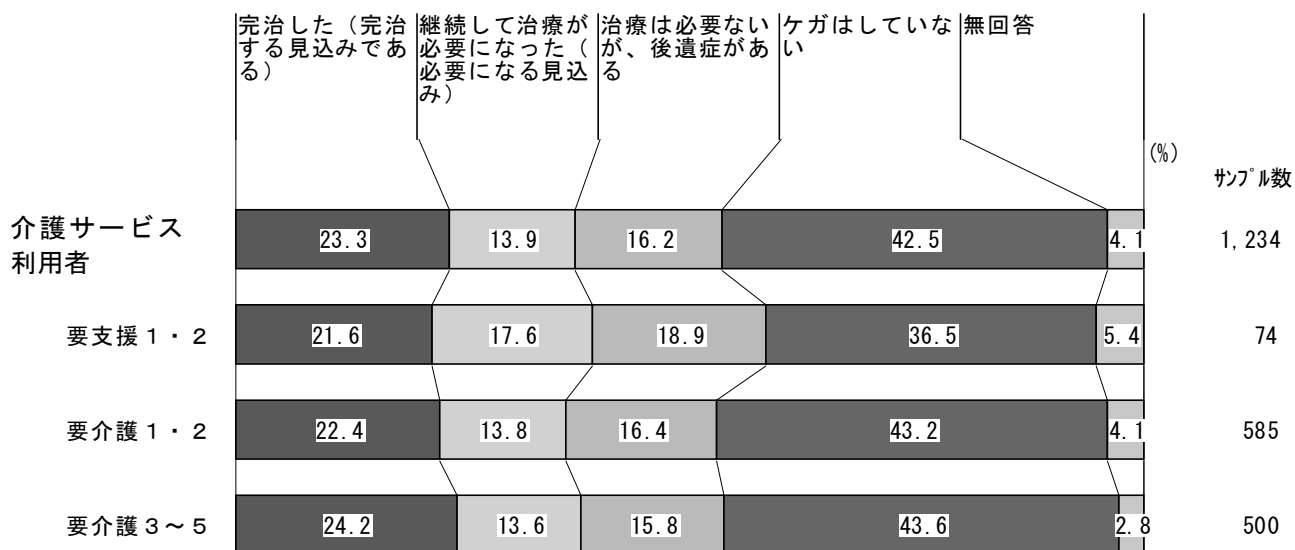


(3) 日常生活 ⑤転倒後の経過

日常生活における転倒後の経過については、「ケガはしていない」の割合は高齢者一般では58.0%、介護サービス利用者で42.5%、介護サービス未利用者で39.6%となっている。

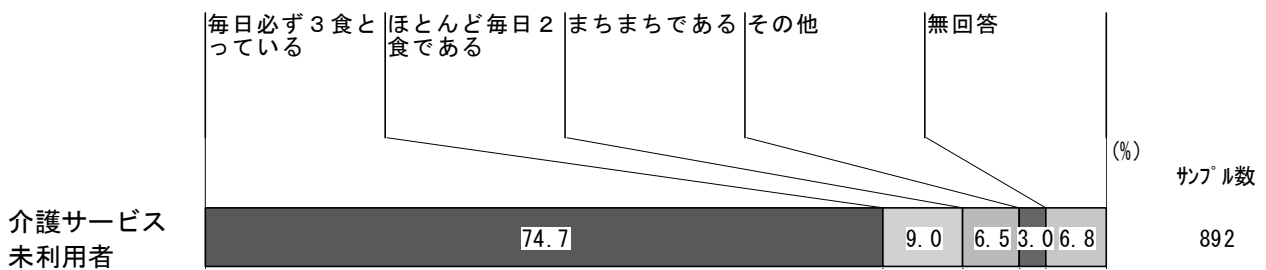
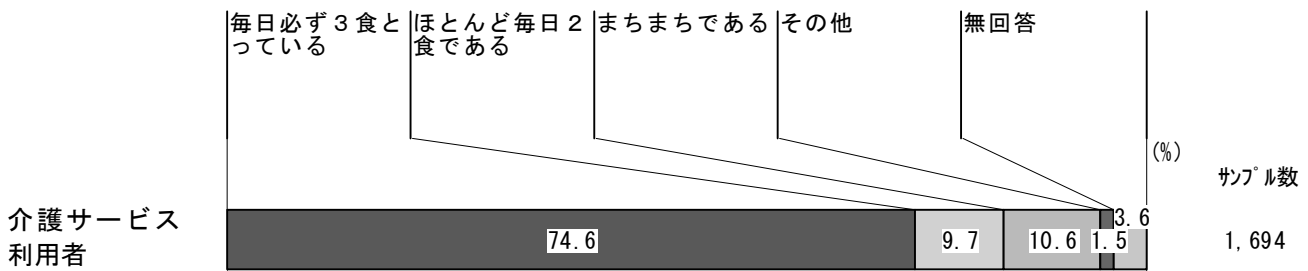
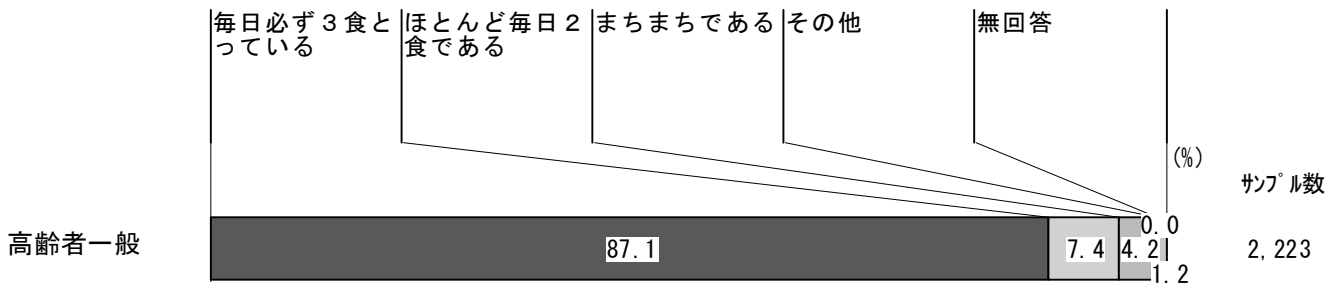
また、転倒により「継続して治療が必要になった（必要になる見込み）」「治療は必要ないが、後遺症がある」の割合は、高齢者一般より介護サービス利用者、介護サービス未利用者の方が高くなっている。





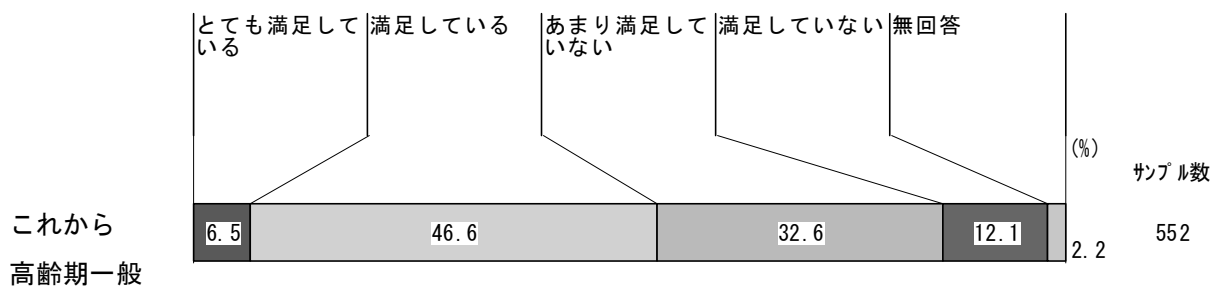
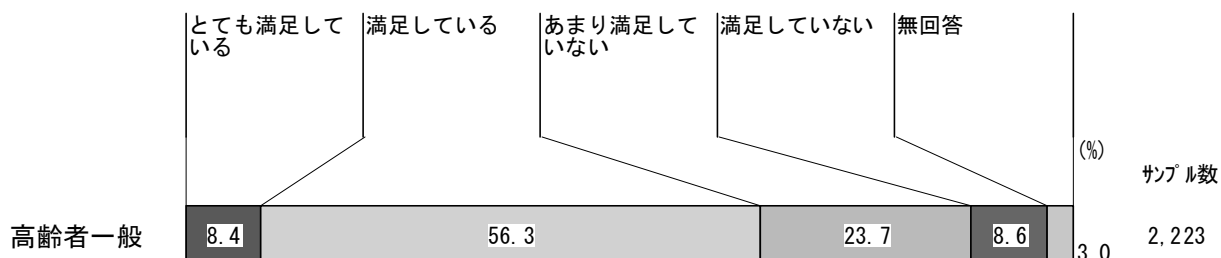
(3) 日常生活 ⑥食事の頻度

日常生活における食事の頻度については、「毎日必ず3食とっている」の割合は高齢者一般で87.1%、介護サービス利用者で74.6%、介護サービス未利用者で74.7%であり、要介護者の方が3食とっている割合が低い。



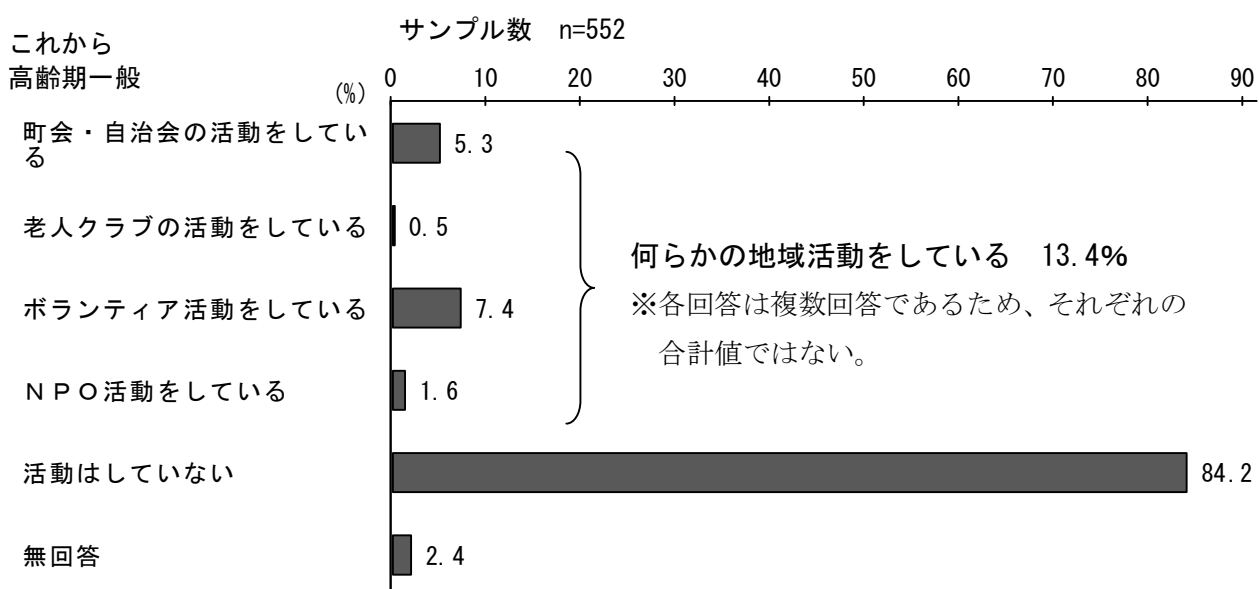
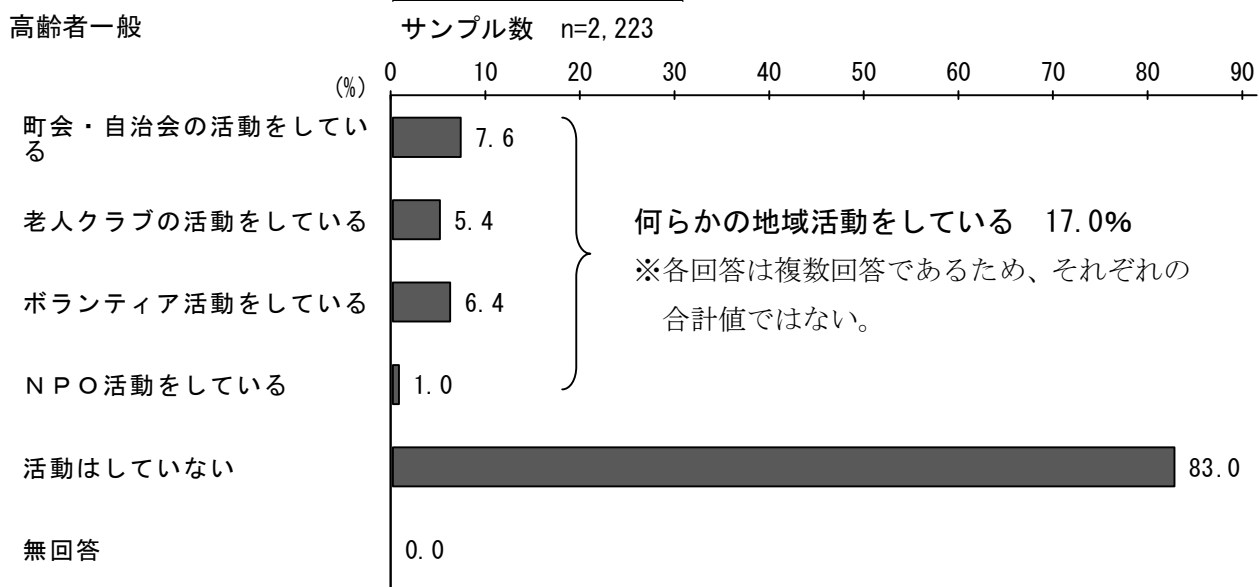
(3) 日常生活 ⑦現在の生活の満足度

現在の生活の満足度についてみると、「とても満足している」「満足している」を合わせた割合は、高齢者一般で64.7%に対し、これから高齢期一般では、53.1%である。



(4) 社会参加・就労状況 ①地域活動への参加状況 [複数回答]

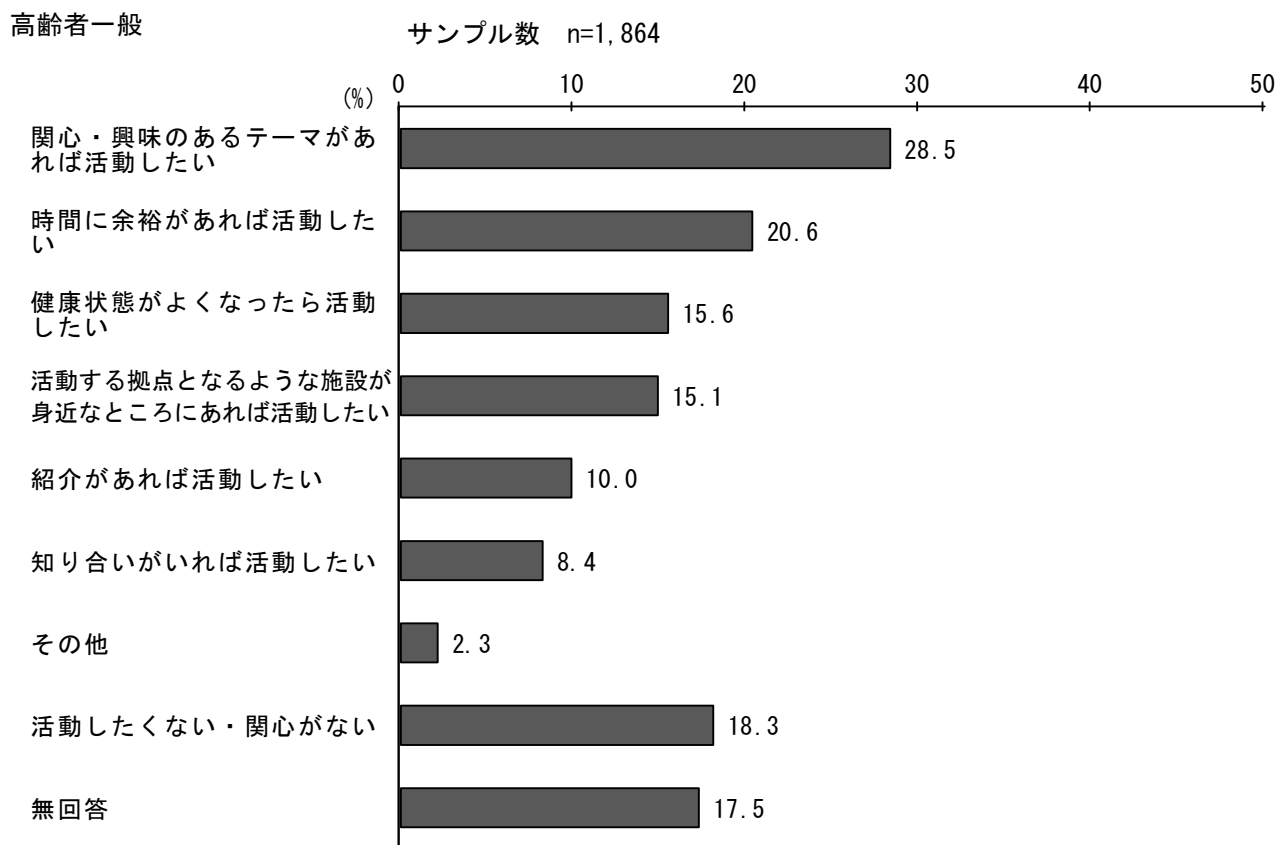
町会・自治会やボランティア・NPOなどの地域活動への参加状況は、何らかの地域活動をしている人の割合が、高齢者一般で17.0%、これから高齢期一般で13.4%である。



(4) 社会参加・就労状況 ②地域活動への取組み要因 [複数回答]

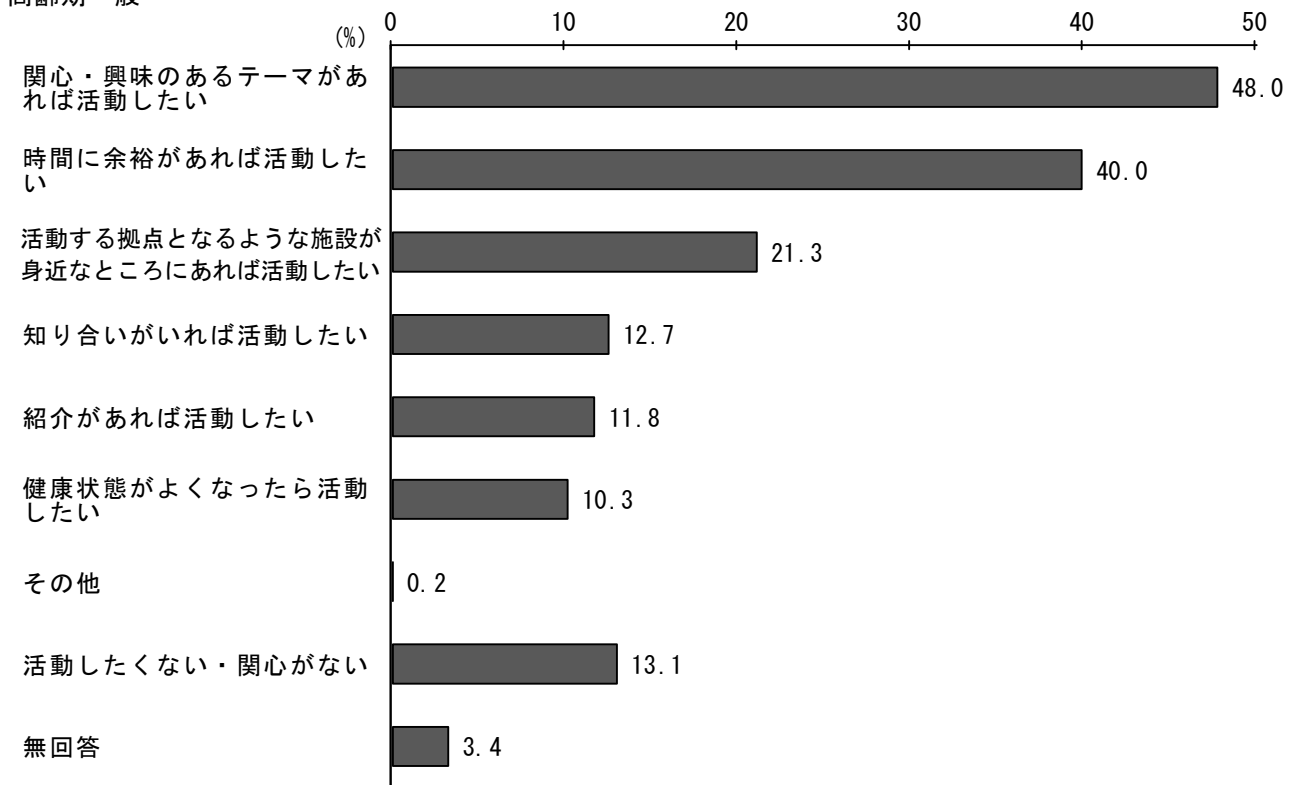
現在活動していない人の地域活動への取組み要因としては、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」「時間に余裕があれば活動したい」が上位にあげられている。

「活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい」の割合は高齢者一般で15.1%、これから高齢期一般で21.3%となっている。



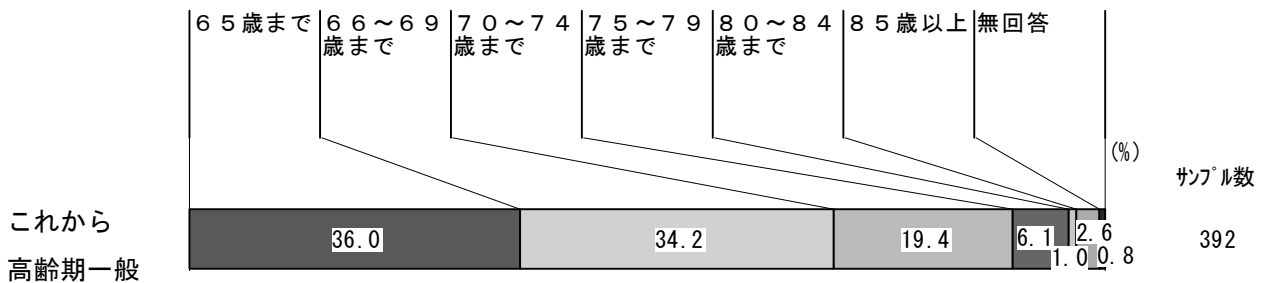
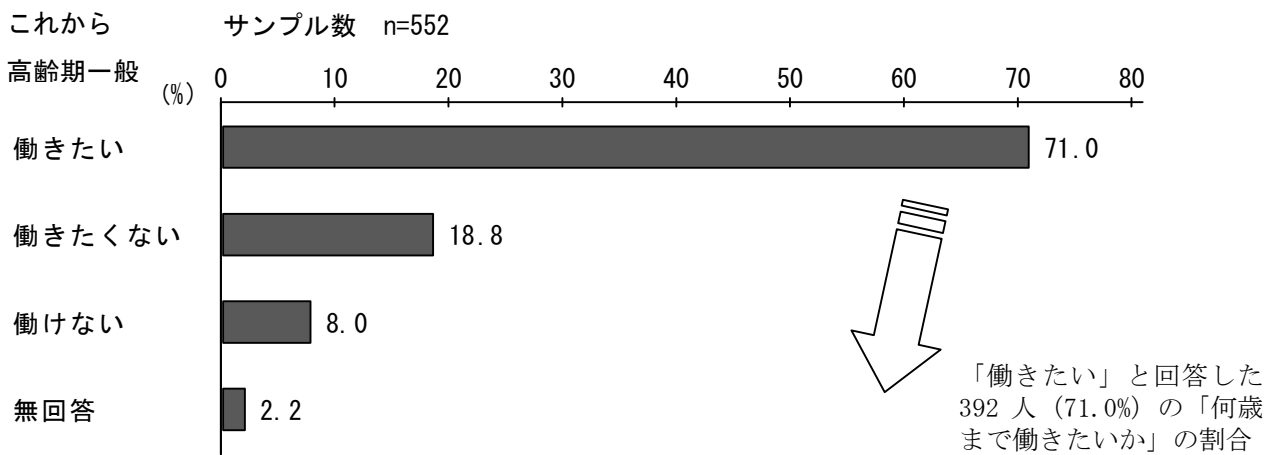
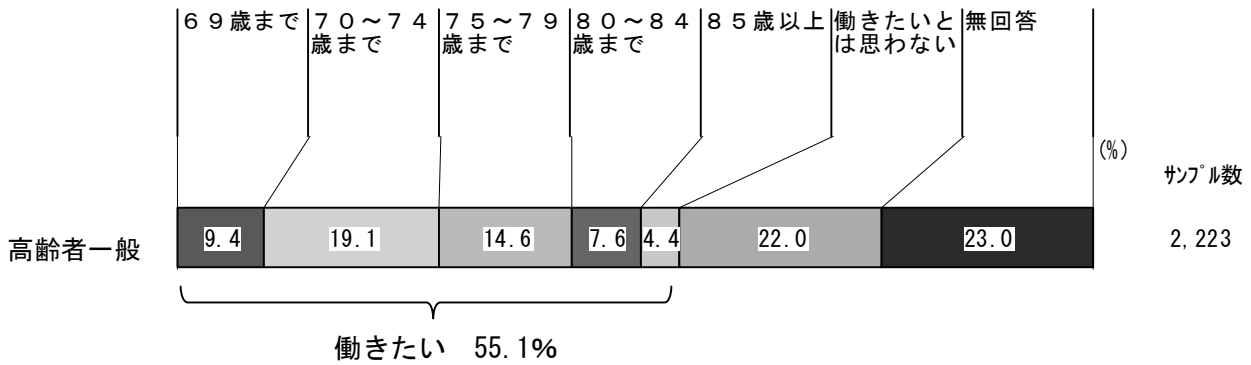
これから
高齢期一般

サンプル数 n=465



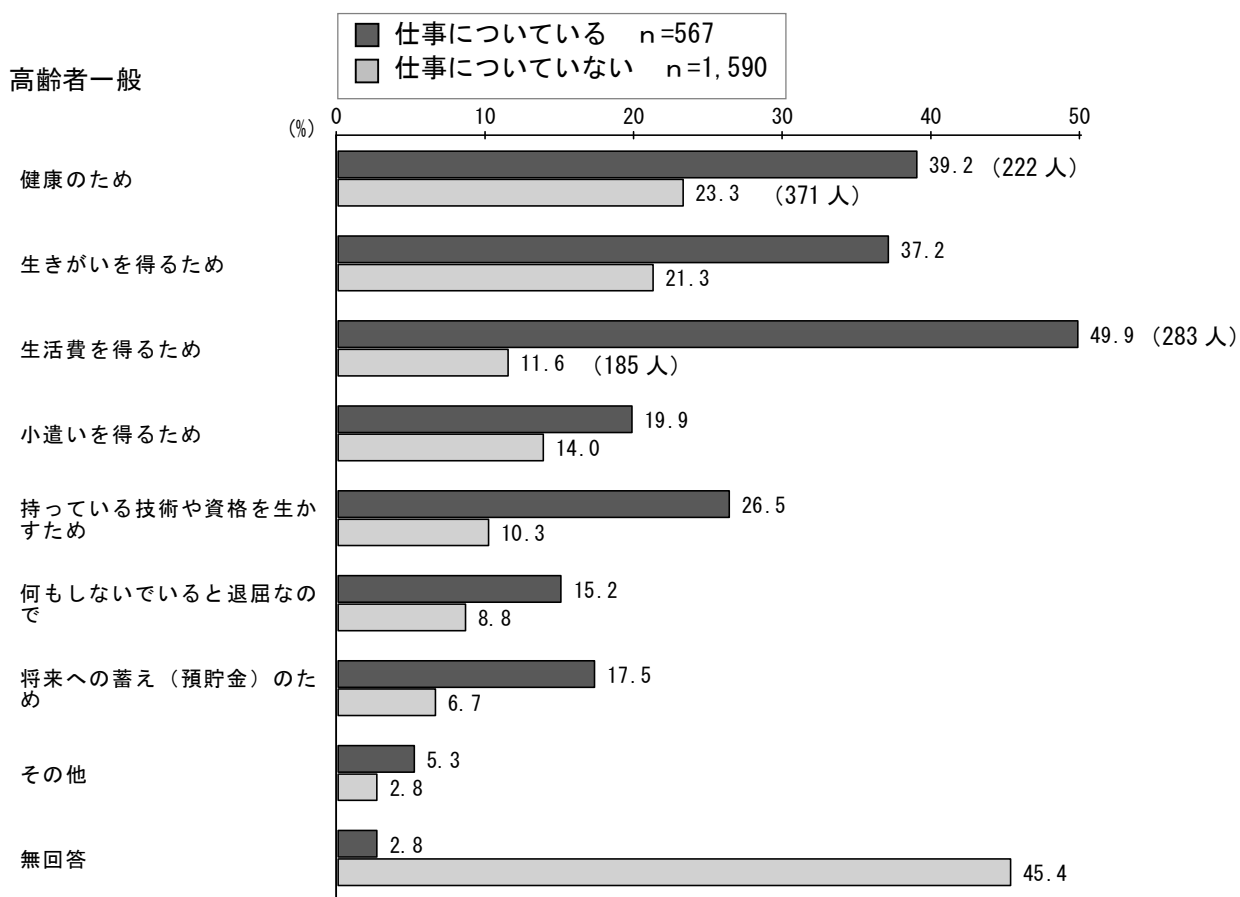
(4) 社会参加・就労状況 ③就労意向

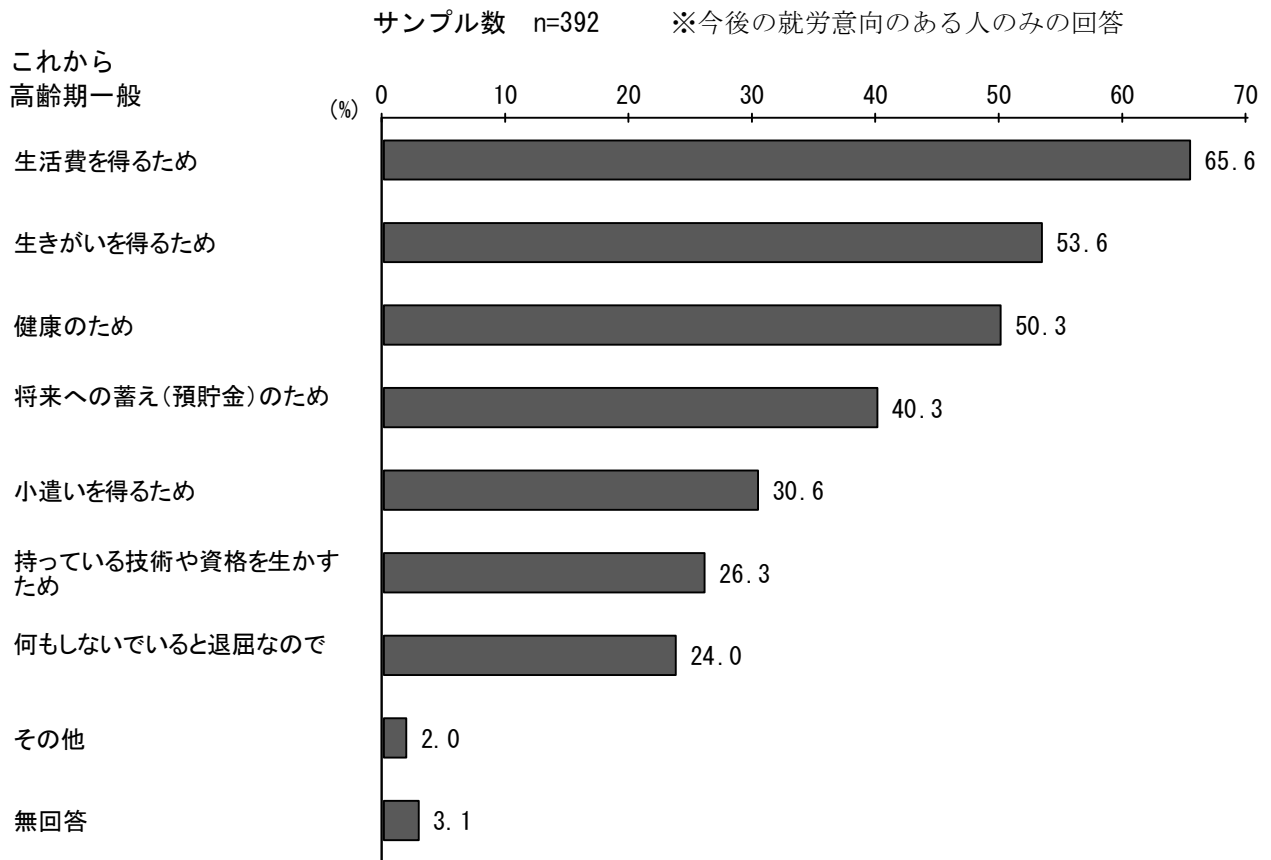
今後の就労意向については、「働きたい」の割合は高齢者一般で 55.1%、これから高齢期一般で 71.0%となっている。何歳まで働きたいかについては、高齢者一般で「70～74 歳」の割合が高く、これから高齢期一般では「65 歳まで」の割合が高く、差がみられる。



(4) 社会参加・就労状況 ④就労意向理由 [複数回答]

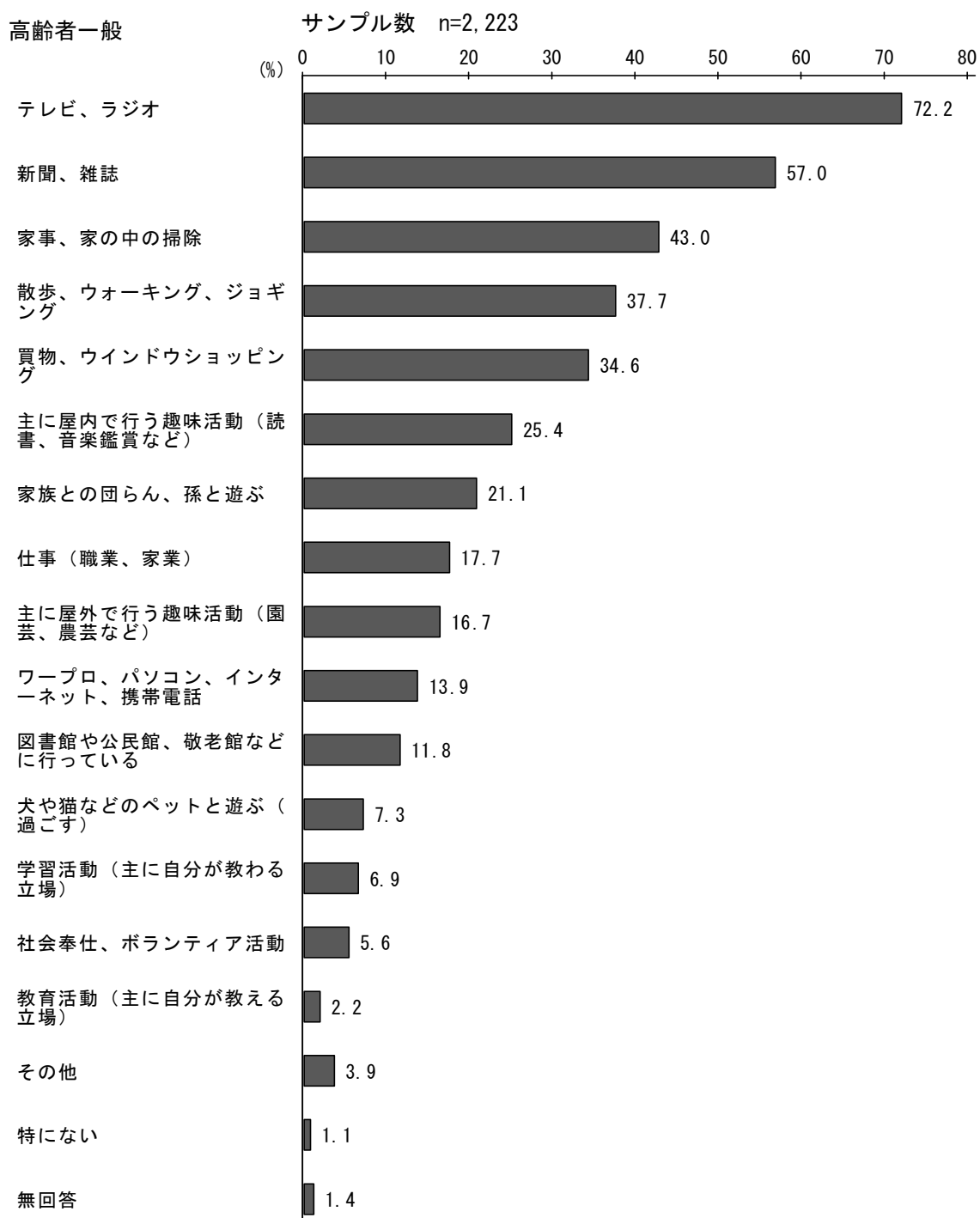
高齢期における就労意向理由については、高齢者一般では「健康のため」と回答した者が最も多く、これから高齢期一般では「生活費を得るため」と回答した者が最も多くなっている。





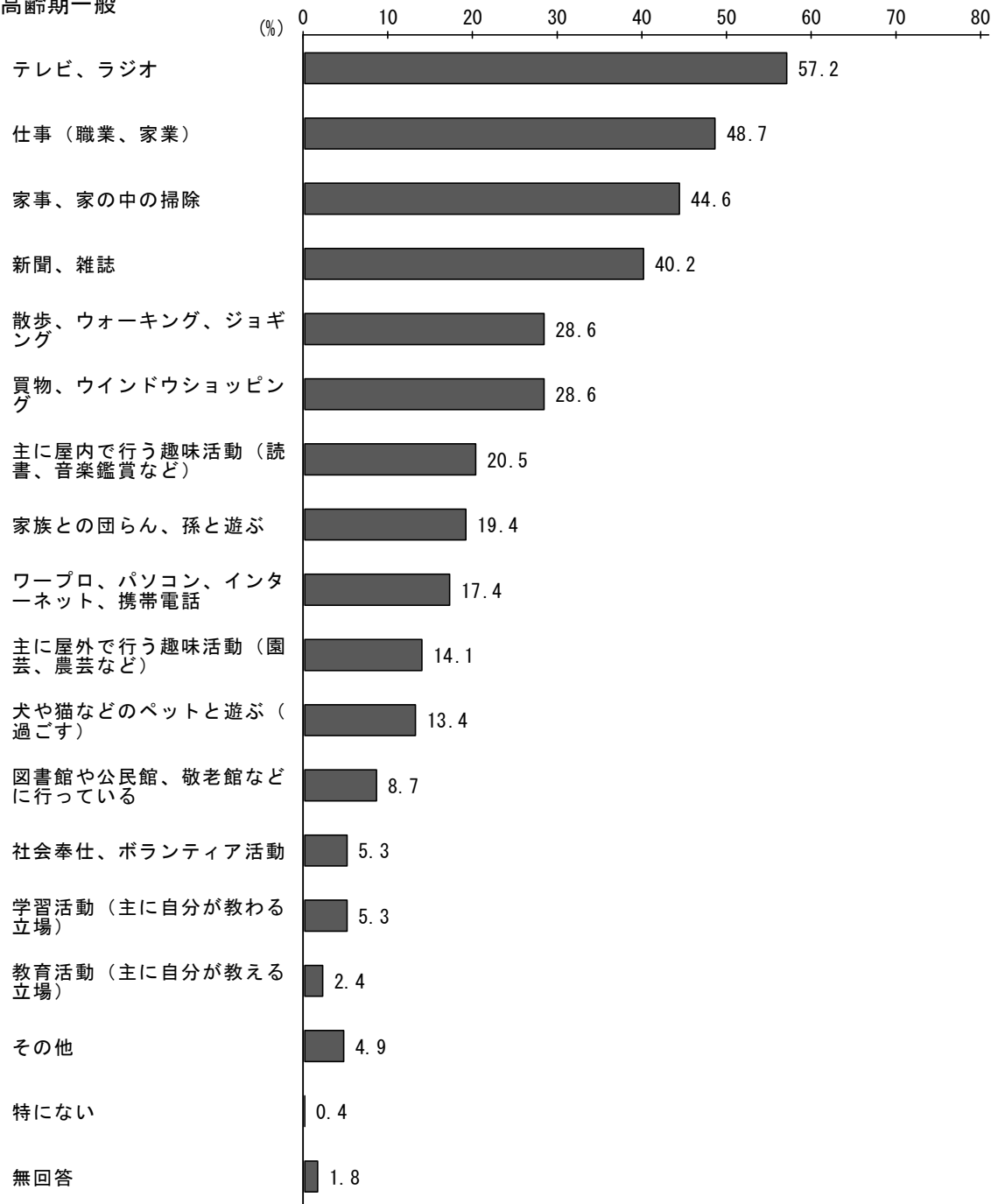
(4) 社会参加・就労状況 ⑤日中の時間の過ごし方 [複数回答]

日中の時間の過ごし方については、高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも「テレビ、ラジオ」の割合が最も高い。「図書館や公民館、敬老館などに行っている」割合は、高齢者一般で11.8%、これから高齢期一般では8.7%となっている。



これから
高齢期一般

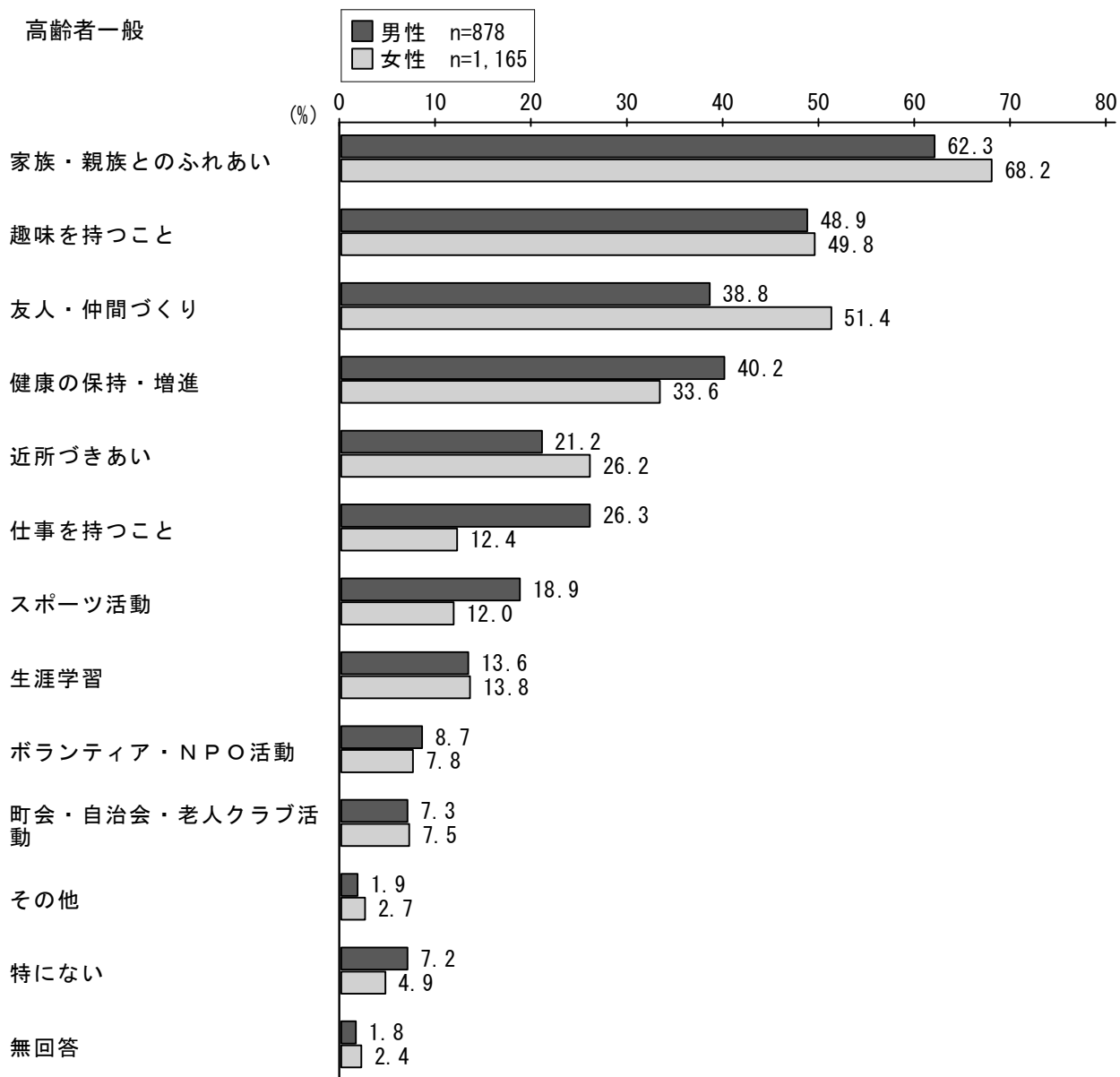
サンプル数 n=552



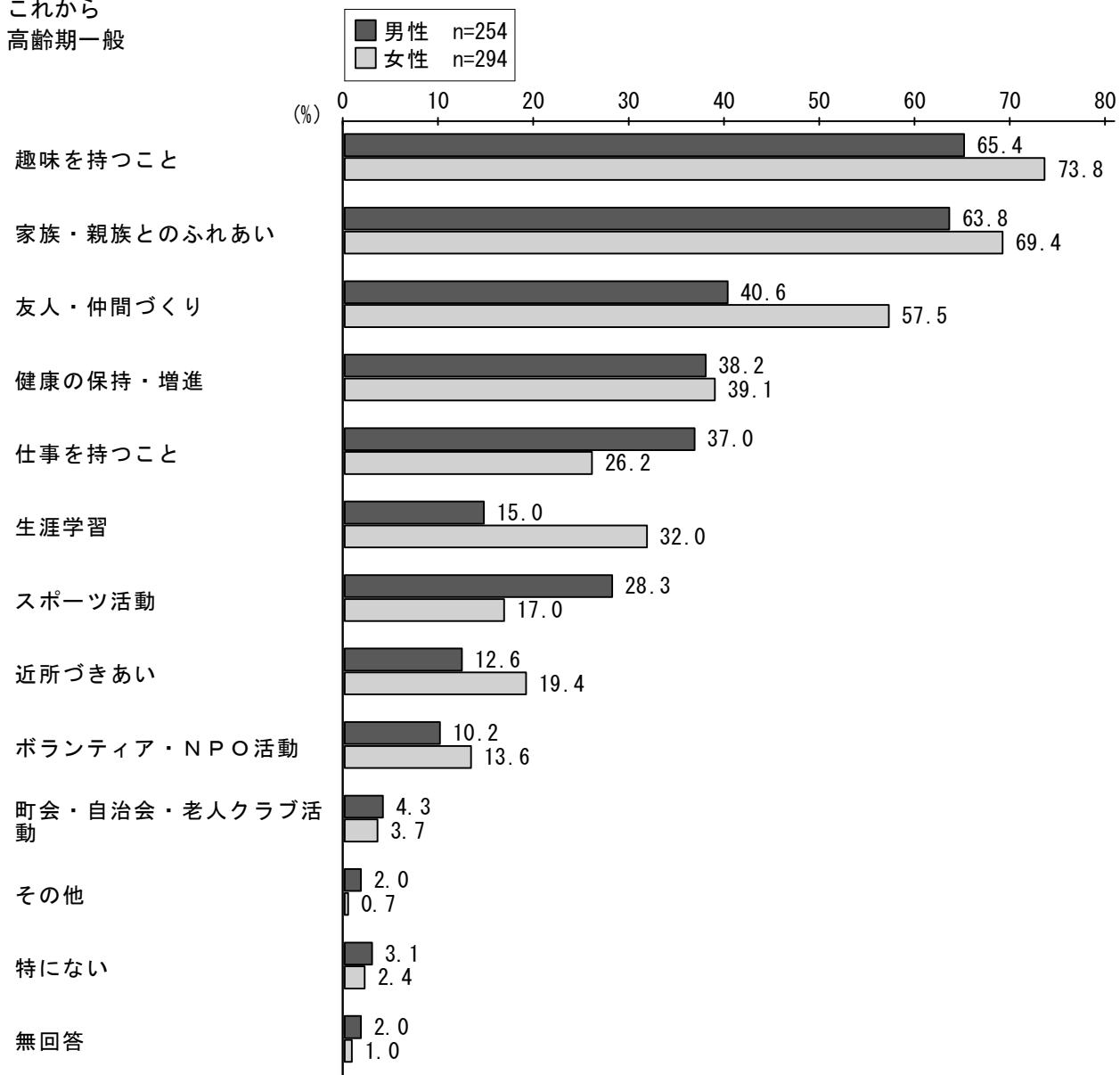
(4) 社会参加・就労状況 ⑥生きがい [複数回答]

生きがいとしては、高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも「家族・親族とのふれあい」「趣味を持つこと」「友人・仲間づくり」が上位にあげられている。「近所づきあい」の割合は、これから高齢期一般より高齢者一般の方が高くなっている。

性別でみると、女性は「家族・親族とのふれあい」「友人・仲間づくり」の割合が男性より目立って高く、「仕事を持つこと」「スポーツ活動」の割合は男性の方が高くなっている。



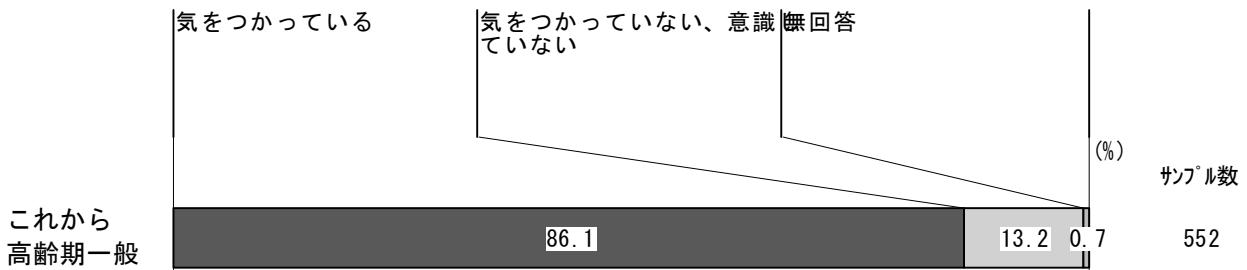
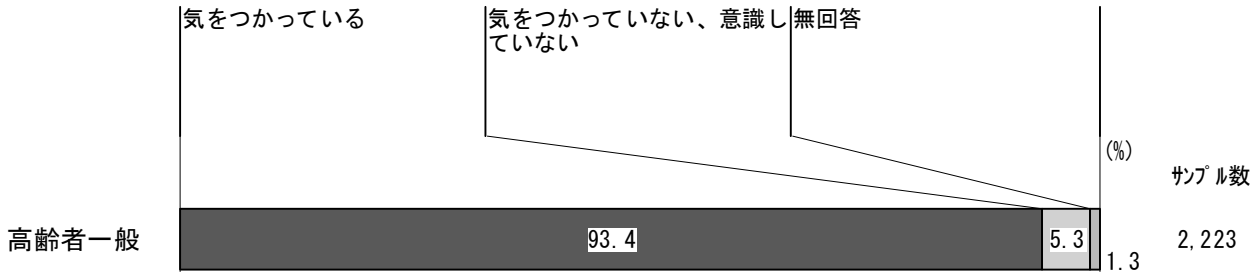
これから
高齢期一般



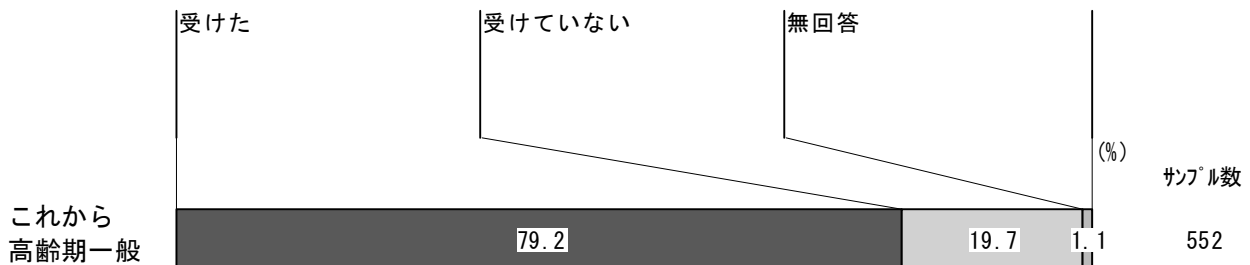
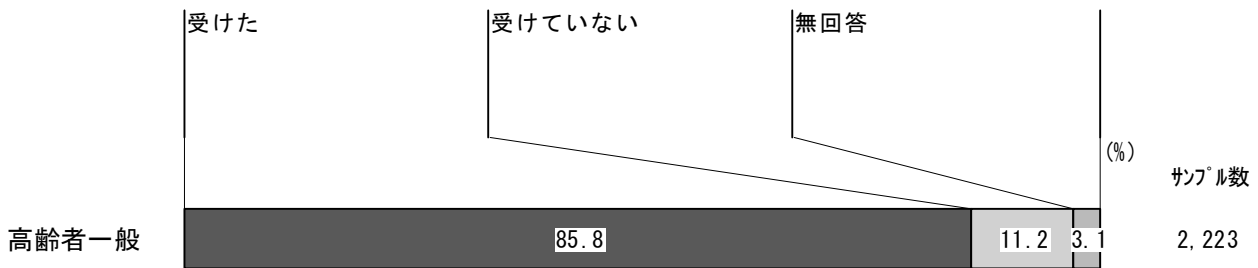
(5) 健康 ①健康への意識の有無・健康診査の受診状況

健康への意識については、健康に「気をつけている」の割合はこれから高齢期一般より高齢者一般の方が高く、また、健康診査の受診状況についても、「受けた」の割合は、高齢者一般が85.8%で、これから高齢期一般の79.2%より高い。

<健康への意識の有無>

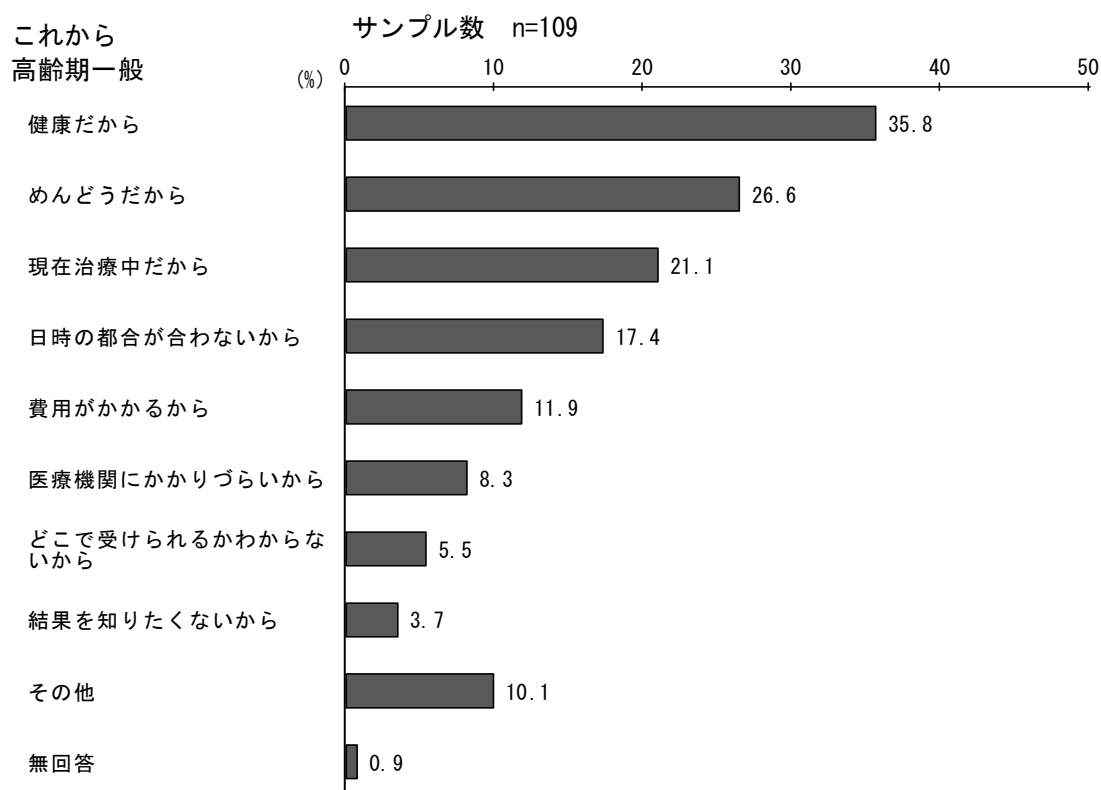
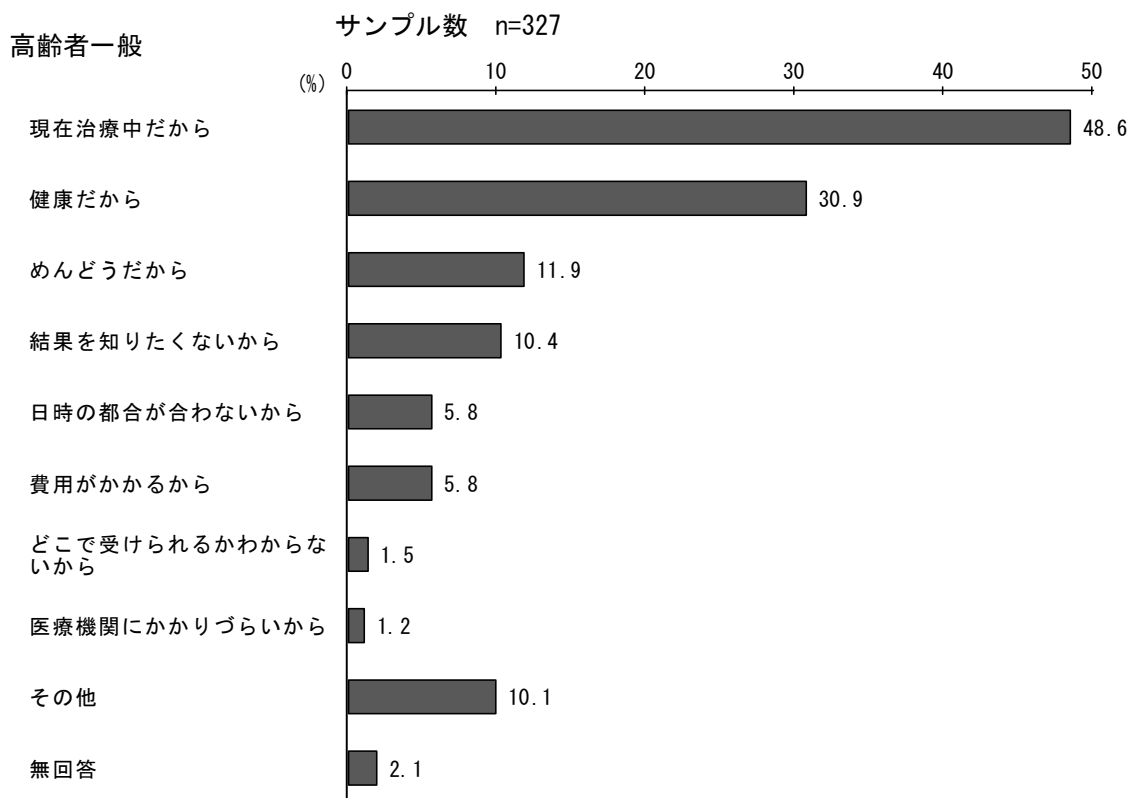


<健康診査の受診状況>



(5) 健康 ②健康診査を受けていない理由

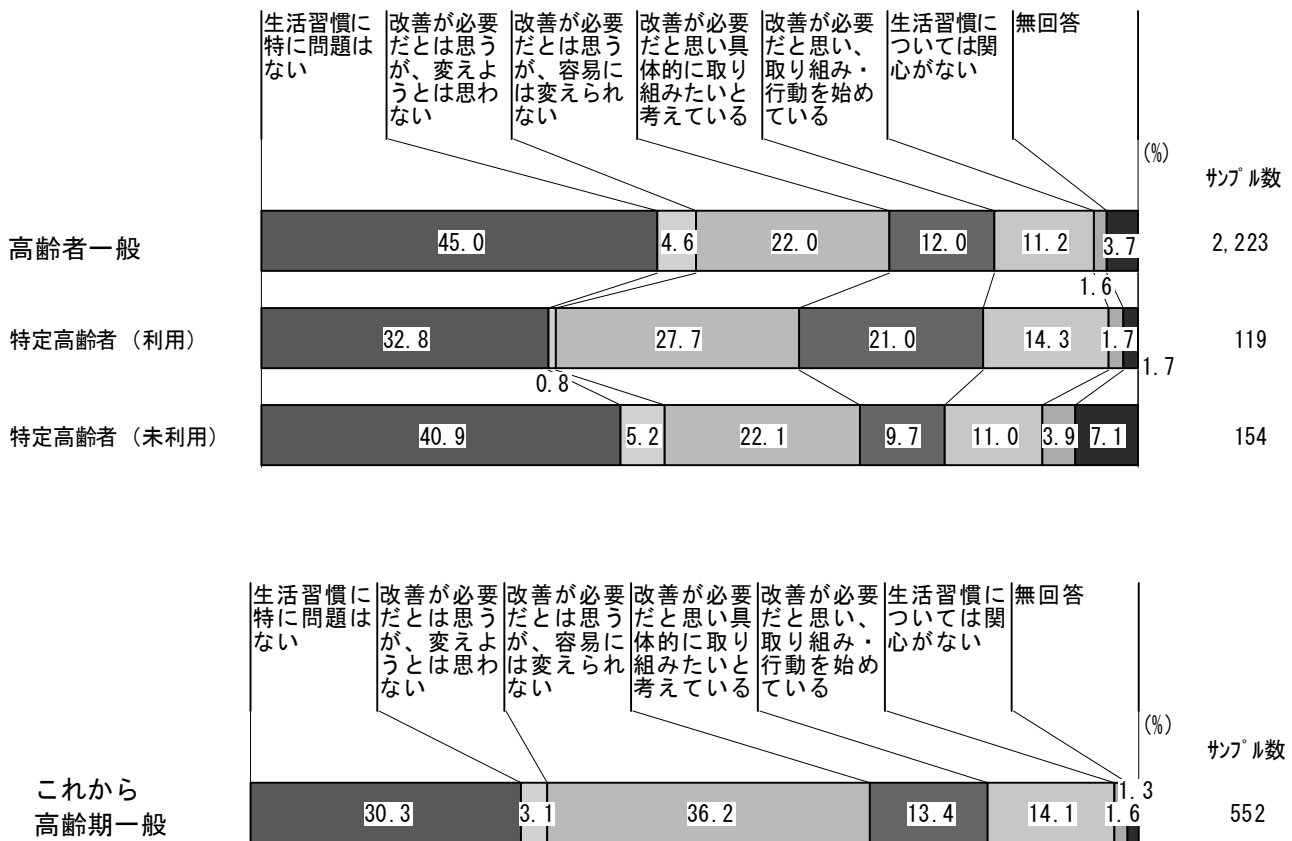
この一年間に健康診査を受診していない理由としては、「健康だから」の割合が高齢者一般で30.9%、これから高齢期一般で35.8%となっている。



(5) 健康 ③生活習慣についての考え方

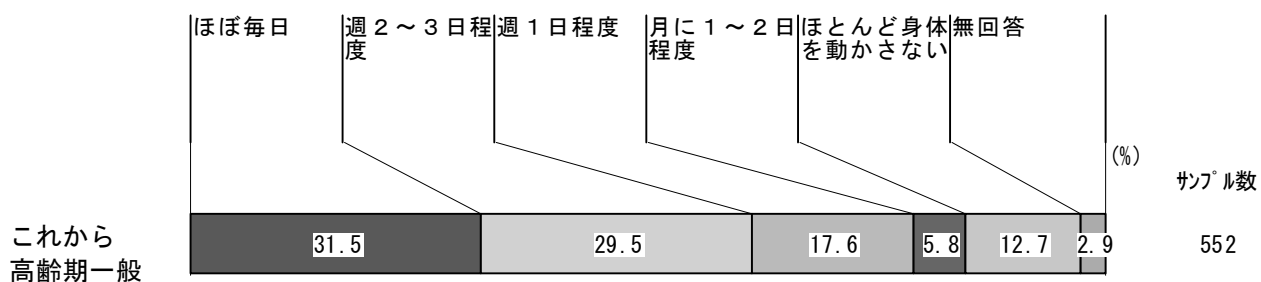
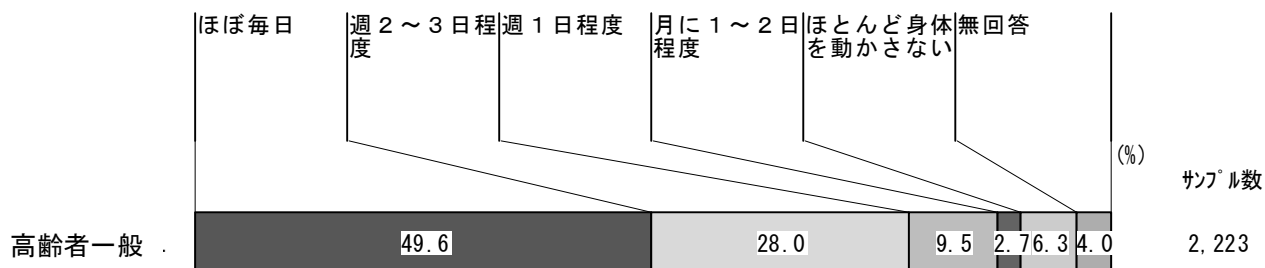
生活習慣については、「生活習慣に特に問題はない」の割合は高齢者一般で 45.0%、これから高齢期一般で 30.3%となっている。

また、「生活習慣の改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」の割合はこれから高齢期一般では 36.2%と高い。なお、「生活習慣の改善が必要だと思い、具体的に組みたいと考えている」の割合は特定高齢者（利用）が 21.0%と他の調査対象者の割合より高くなっている。



(5) 健康 ④身体を動かす頻度

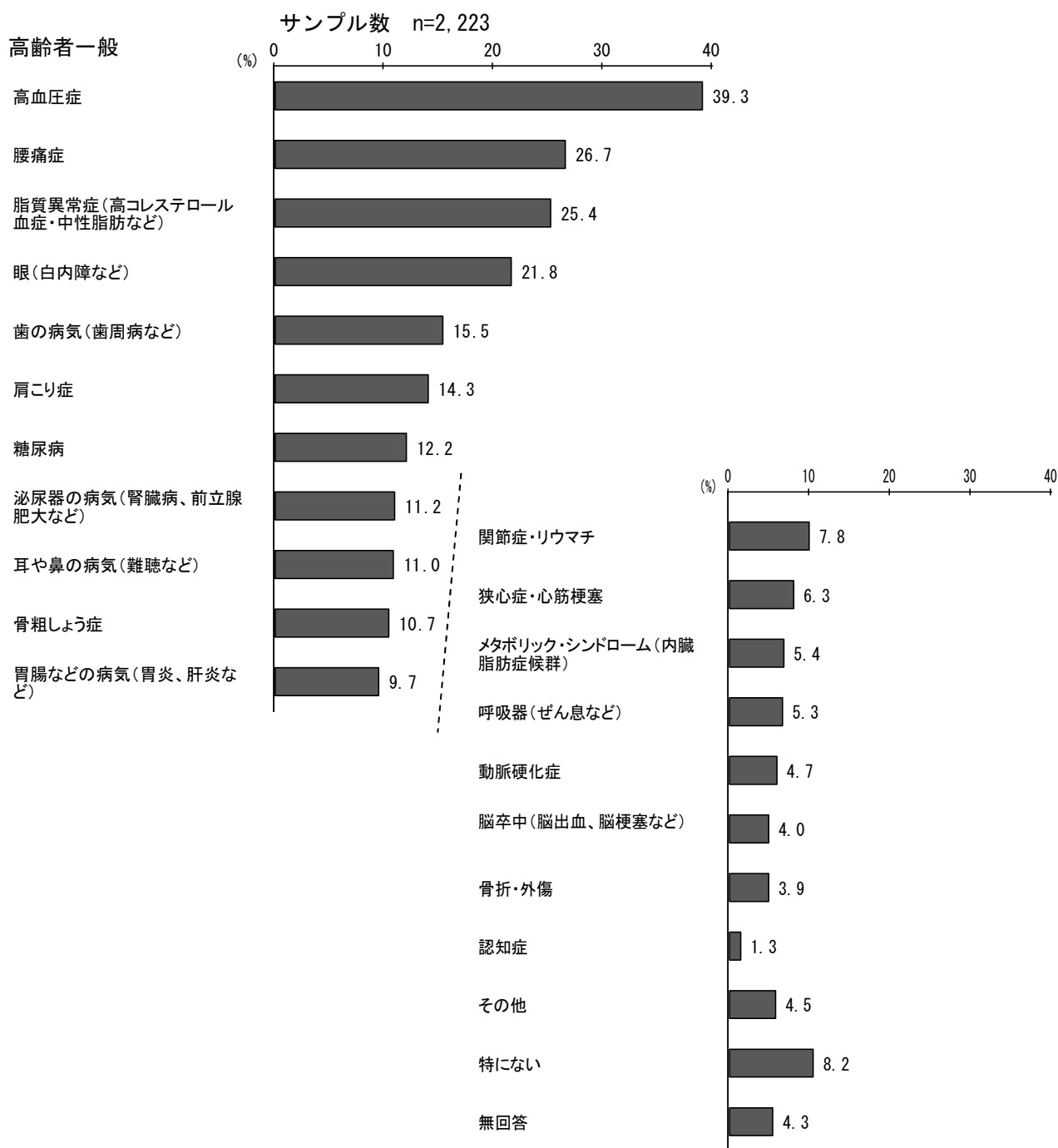
健康のために身体を動かす頻度については、「ほぼ毎日」の割合は高齢者一般で49.6%、これから高齢期一般で31.5%となっている。一方、「ほとんど身体を動かさない」の割合は、高齢者一般で6.3%、これから高齢期一般で12.7%である。



(5) 健康 ⑤疾病状況 [複数回答]

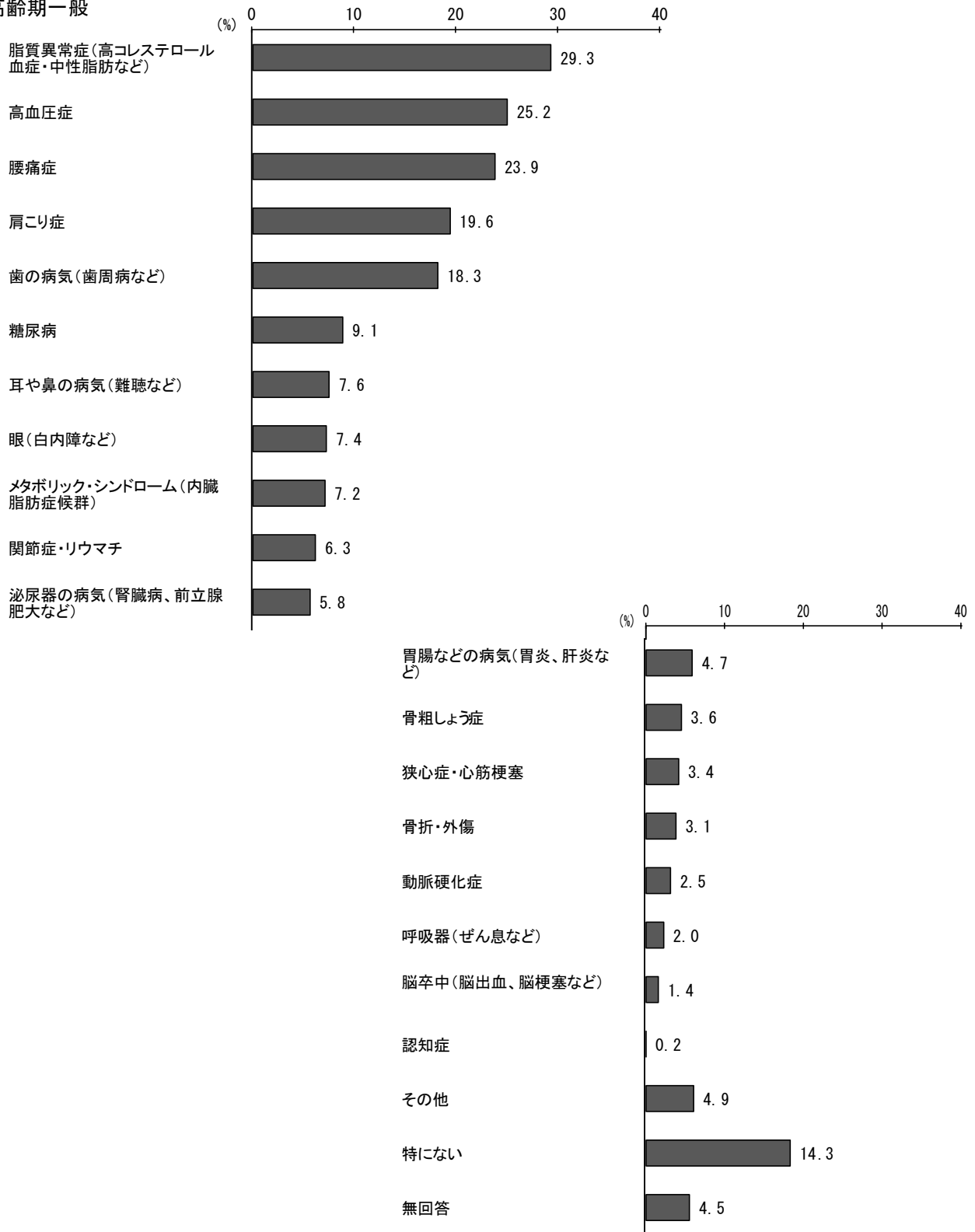
現在の病気やケガの状況については、高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも「高血圧症」「腰痛症」、「脂質異常症（高コレステロール血症・中性脂肪など）」が上位にあげられている。

高齢者一般では、「高血圧症」の割合が 39.3%と最も高く、これから高齢期一般では、「脂質異常症（高コレステロール血症・中性脂肪など）」の割合が 29.3%と最も高い。



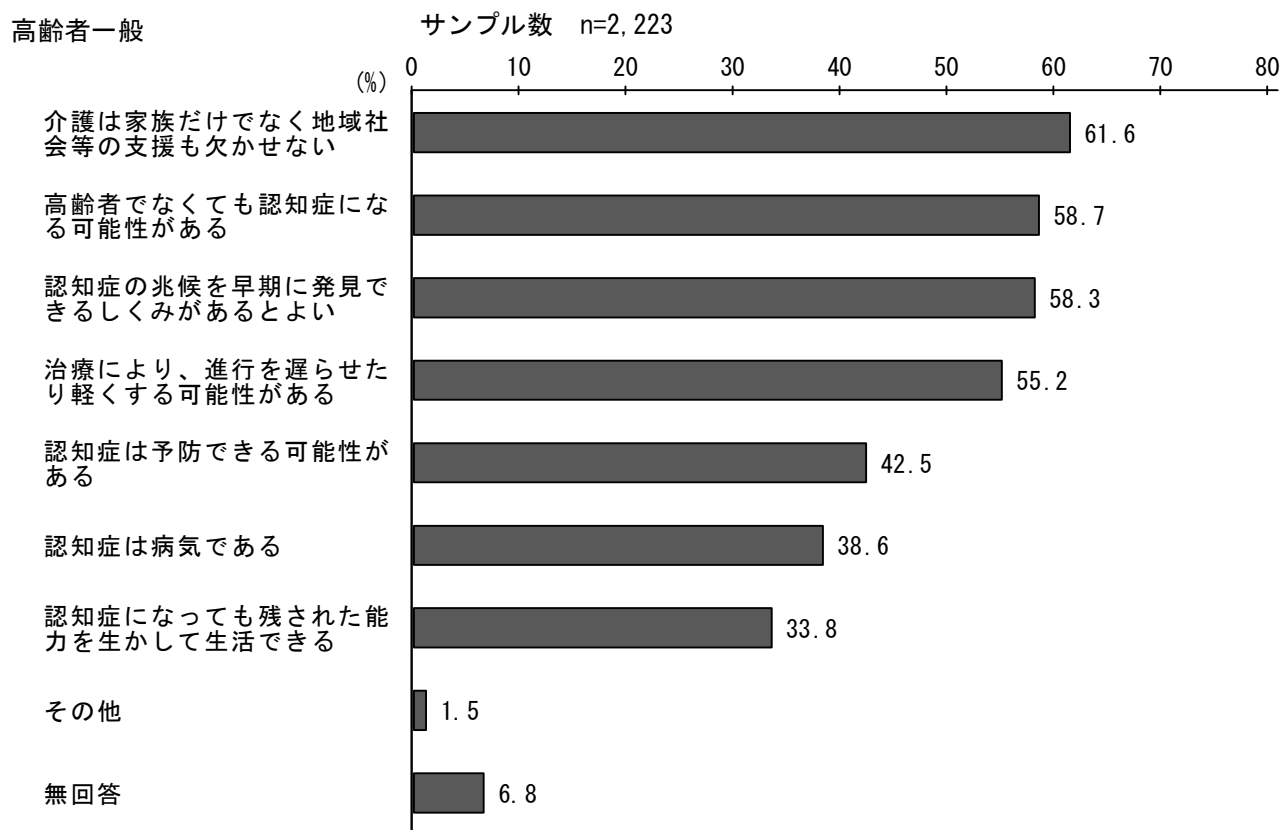
これから
高齢期一般

サンプル数 n=552



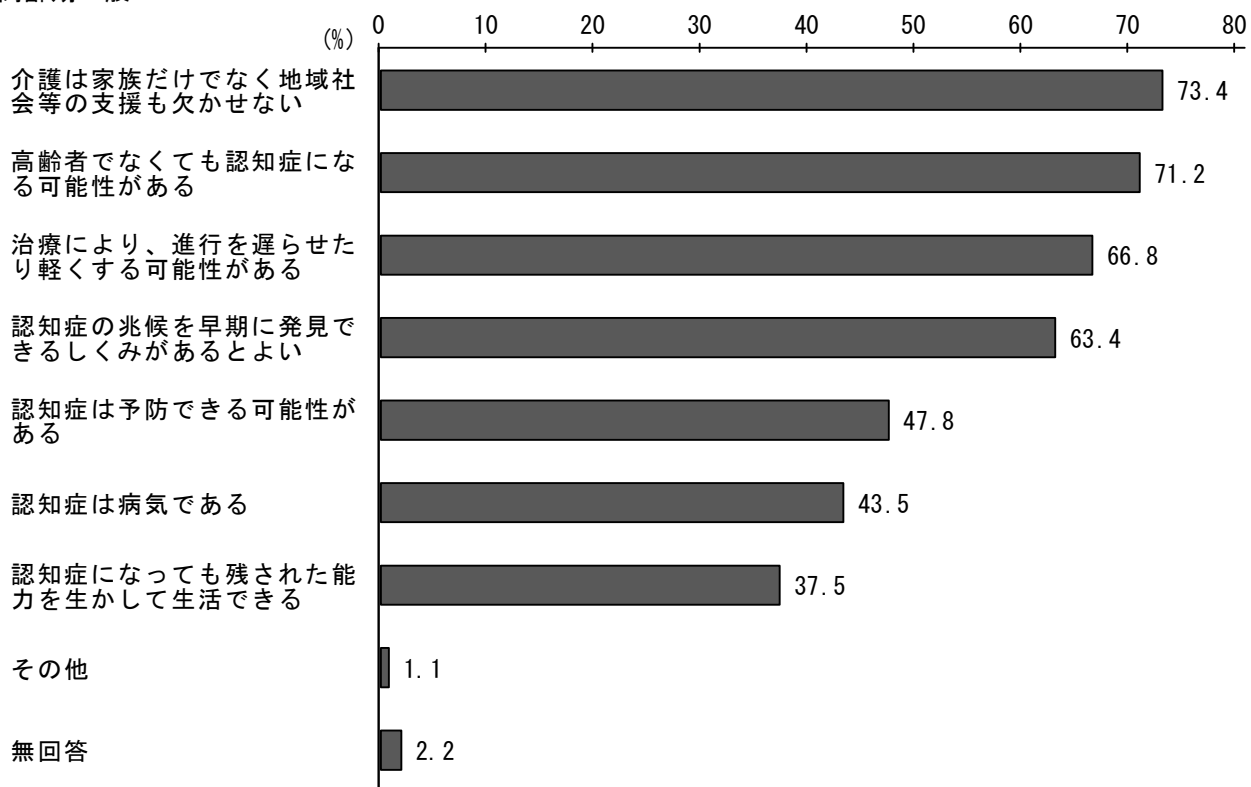
(6) 介護予防 ①認知症に対するイメージ [複数回答]

認知症に対するイメージについては、認知症の「介護は家族だけでなく地域社会等の支援も欠かせない」の割合が高齢者一般、これから高齢期一般のどちらにおいても高く、高齢者一般で61.6%、これから高齢期一般で73.4%となっている。



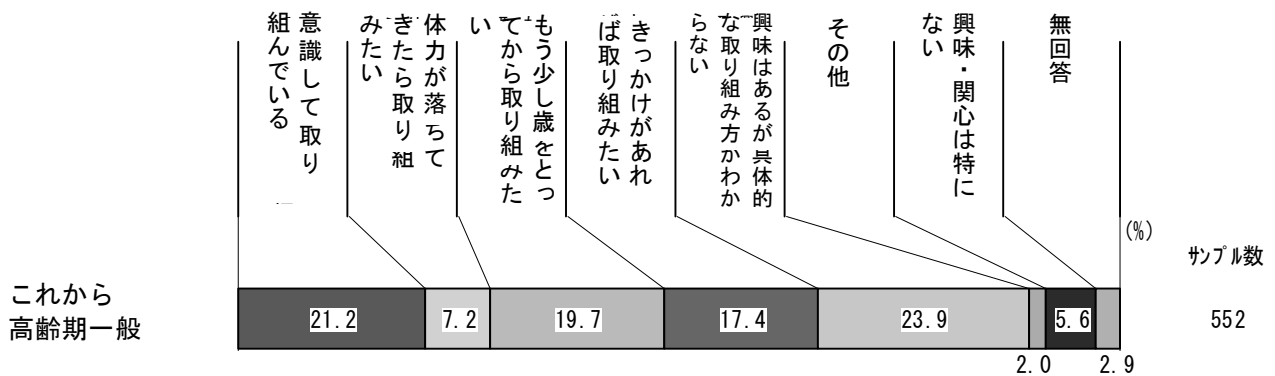
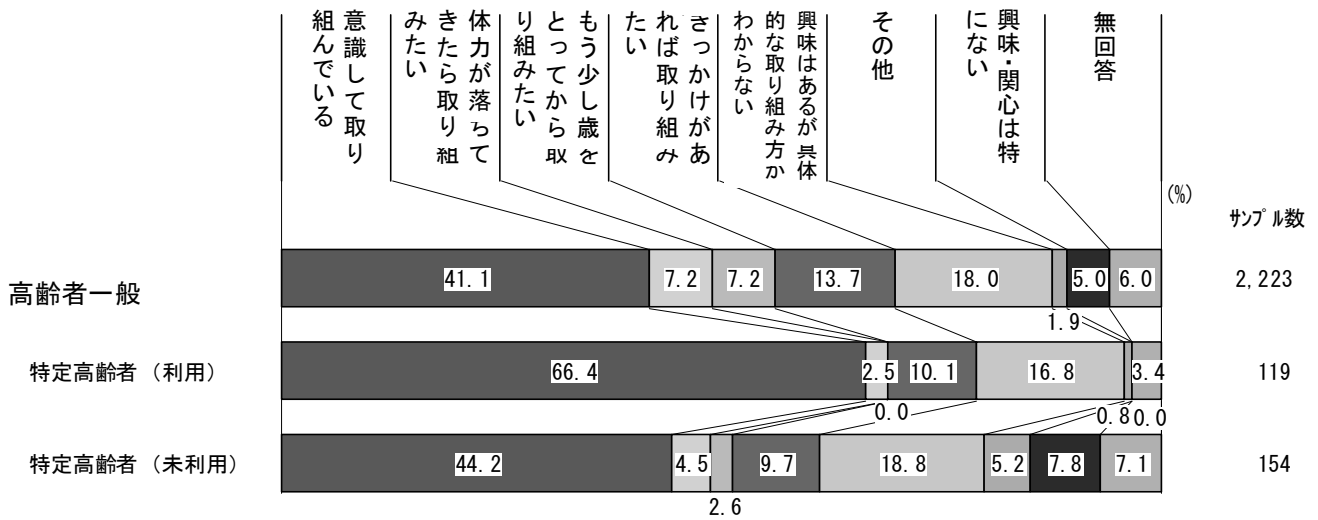
これから
高齢期一般

サンプル数 n=552



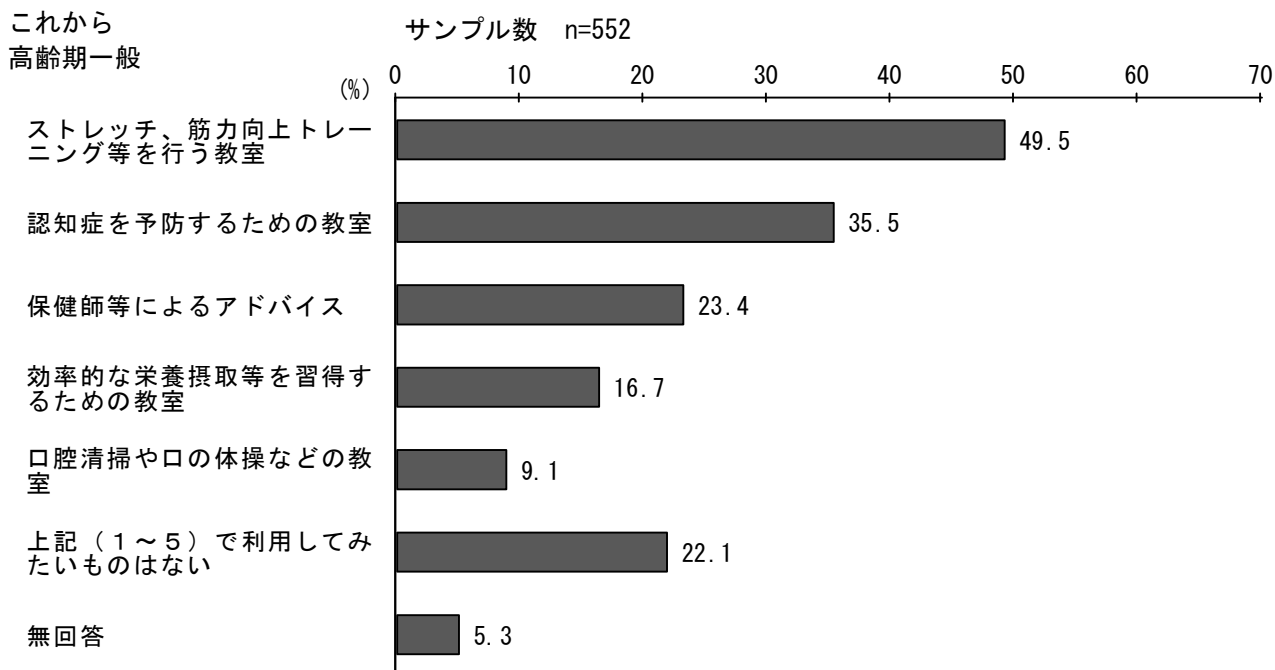
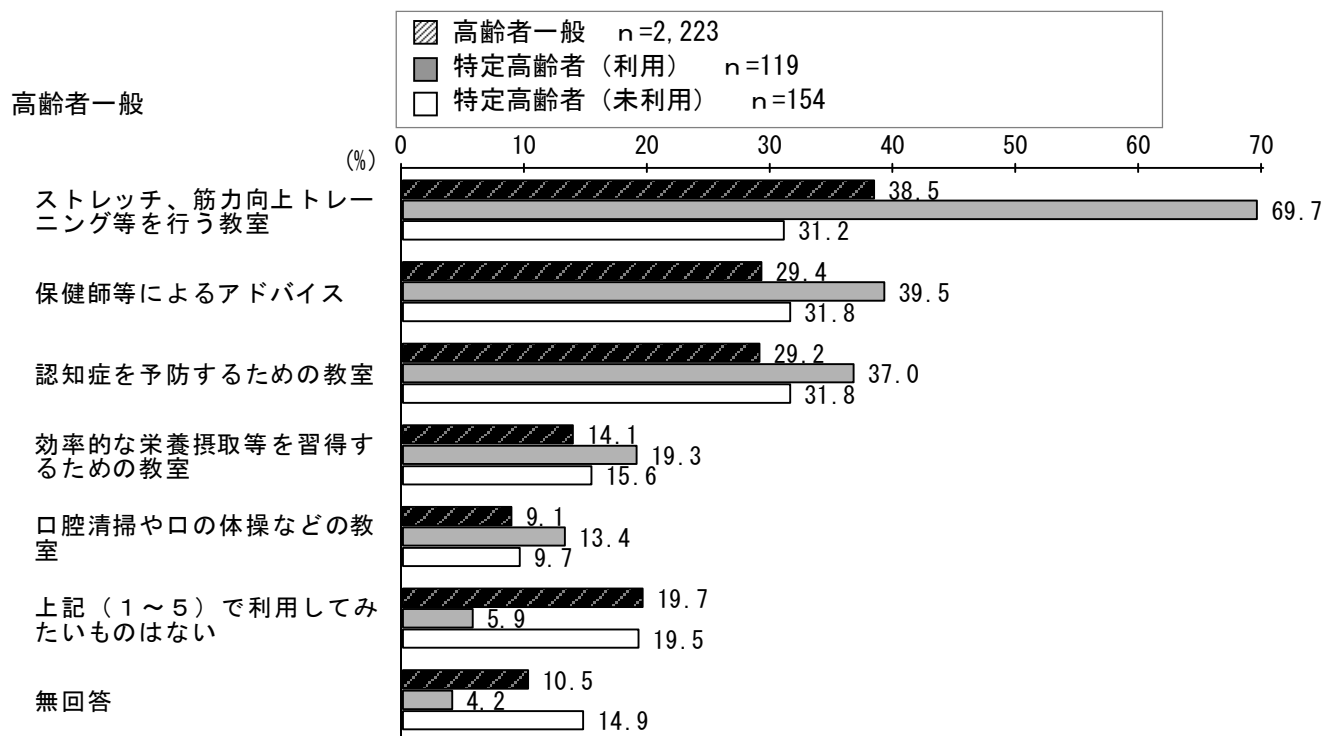
(6) 介護予防 ②介護予防の取り組み

介護予防の取り組みについては、「意識して取り組んでいる」の割合が高齢者一般で41.1%、特定高齢者（利用）で66.4%、特定高齢者（未利用）で44.2%、これから高齢期一般で21.2%となっており、特定高齢者（利用）で特に高い。また、これから高齢期一般では「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合が23.9%と高くなっている。



(6) 介護予防 ③介護予防サービスの利用意向 [複数回答]

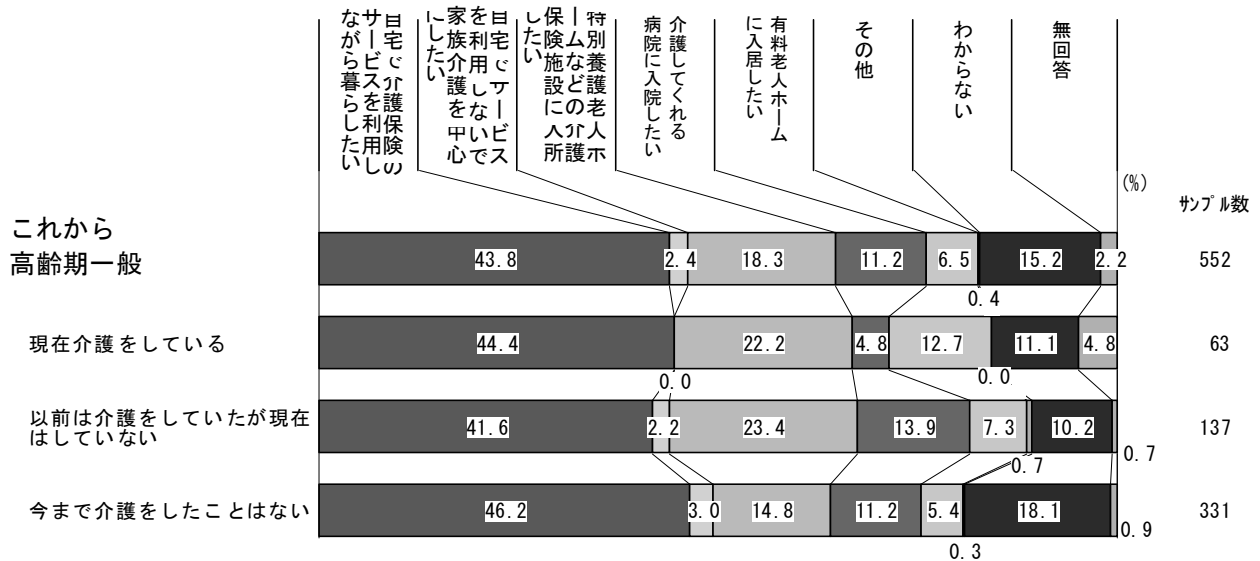
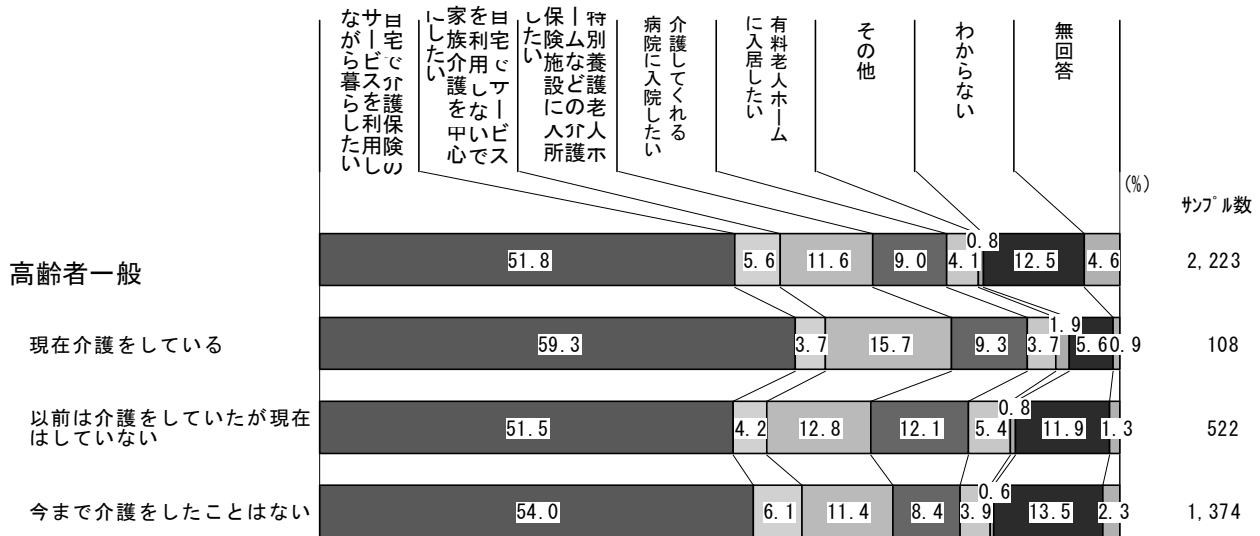
介護予防につながる各サービスの利用意向としては、「ストレッチ、筋力向上トレーニング等を行う教室」の割合が高く、特に特定高齢者（利用）で69.7%と高くなっている



(7) 介護・医療 ①自身の希望する介護

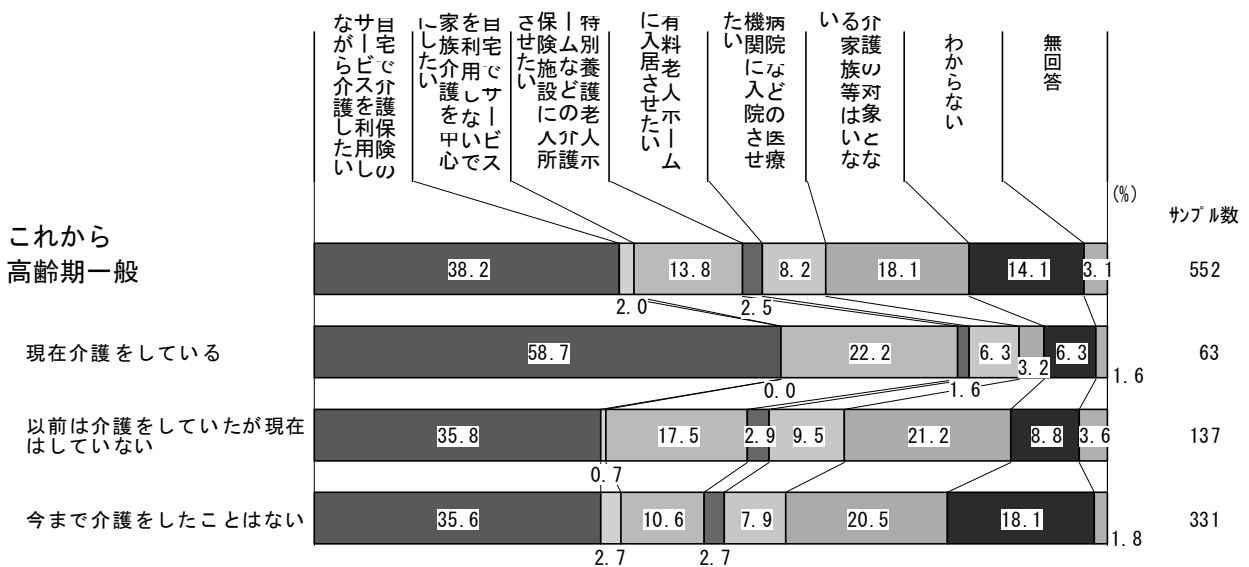
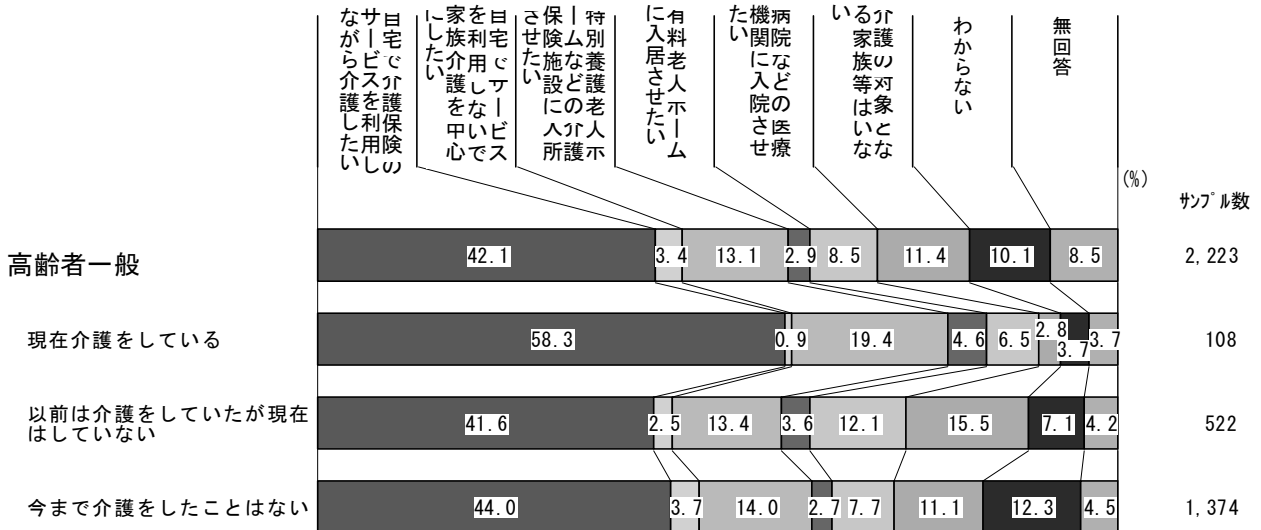
自身の介護が必要となった際の希望する介護については、高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」の割合が高い。「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」の割合は、高齢者一般で11.6%、これから高齢期一般で18.3%となっている。

介護経験別にみると、介護経験がある場合は、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」の割合が高い。



(7) 介護・医療 ②家族等を介護する際に希望する介護

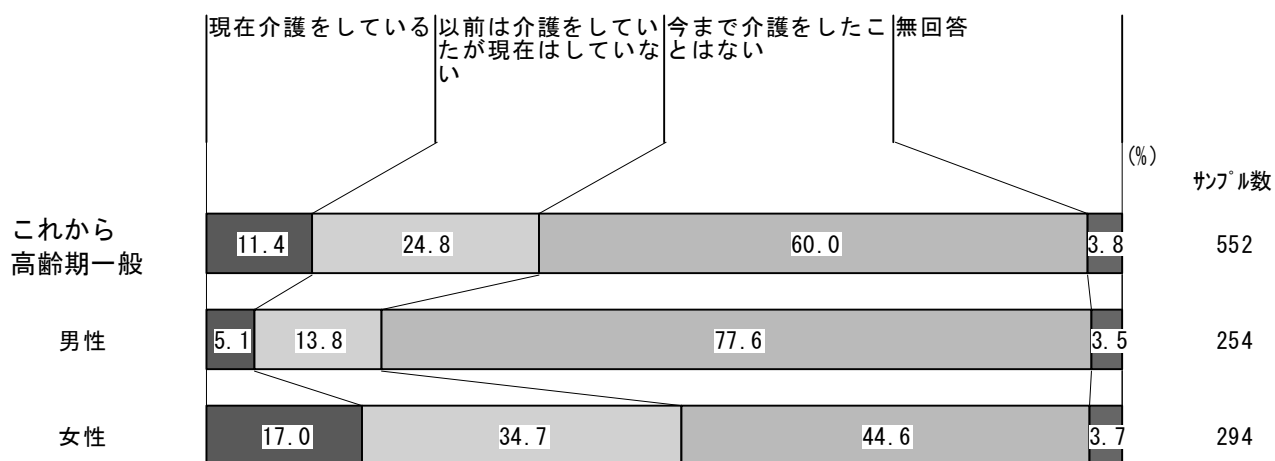
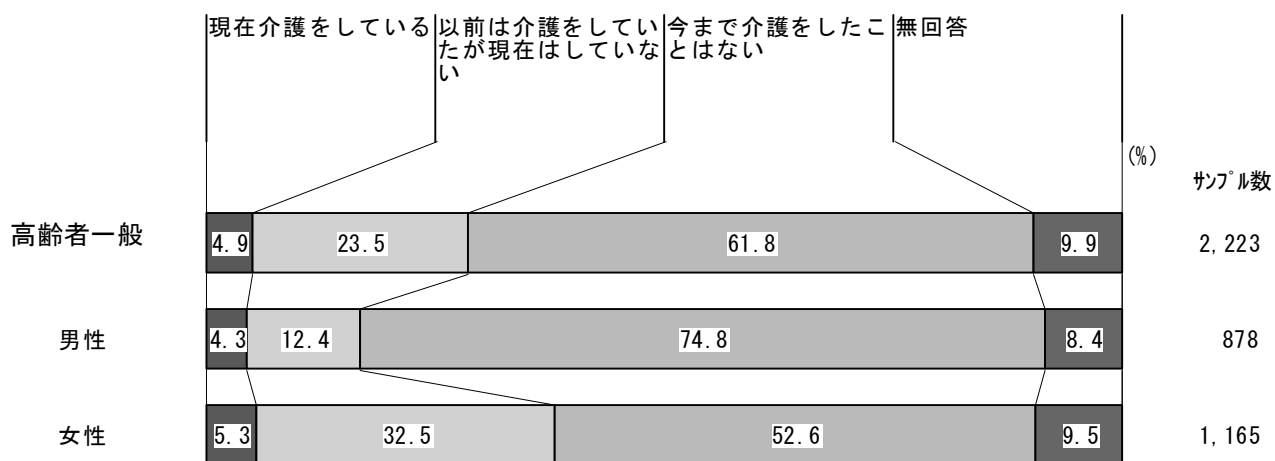
家族等の介護が必要となった際の希望する介護については、高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも「自宅で介護保険のサービスを利用しながら介護したい」の割合が高い。「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所させたい」の割合は、高齢者一般で13.1%、これから高齢期一般で13.8%となっている。



(7) 介護・医療 ③介護経験の有無

高齢者の介護経験については、高齢者一般、これから高齢期一般ともに約6割が「今まで介護をしたことはない」と回答している。

介護経験者は、いずれの調査においても男性より女性の方が多く、高齢者一般で37.8%、これから高齢期一般では51.7%となっている。



(7) 介護・医療 ④現在と1年前の要介護度

介護サービス利用者と介護サービス未利用者の表は、どちらも要介護度の変化について、平成18年3月時点と調査を行った平成19年11月時点とを比較したものである。太線枠で囲んだ部分は、平成18年3月時点より要介護度が上がったことを示している。

例えば介護サービス利用者の表の要支援でみると、平成18年3月時点における要支援102人は、平成19年11月に要支援1に25人、要支援2に14人、要介護1に32人、要介護2に15人、要介護3に8人、要介護4に6人移行したことになる。

介護サービス利用者

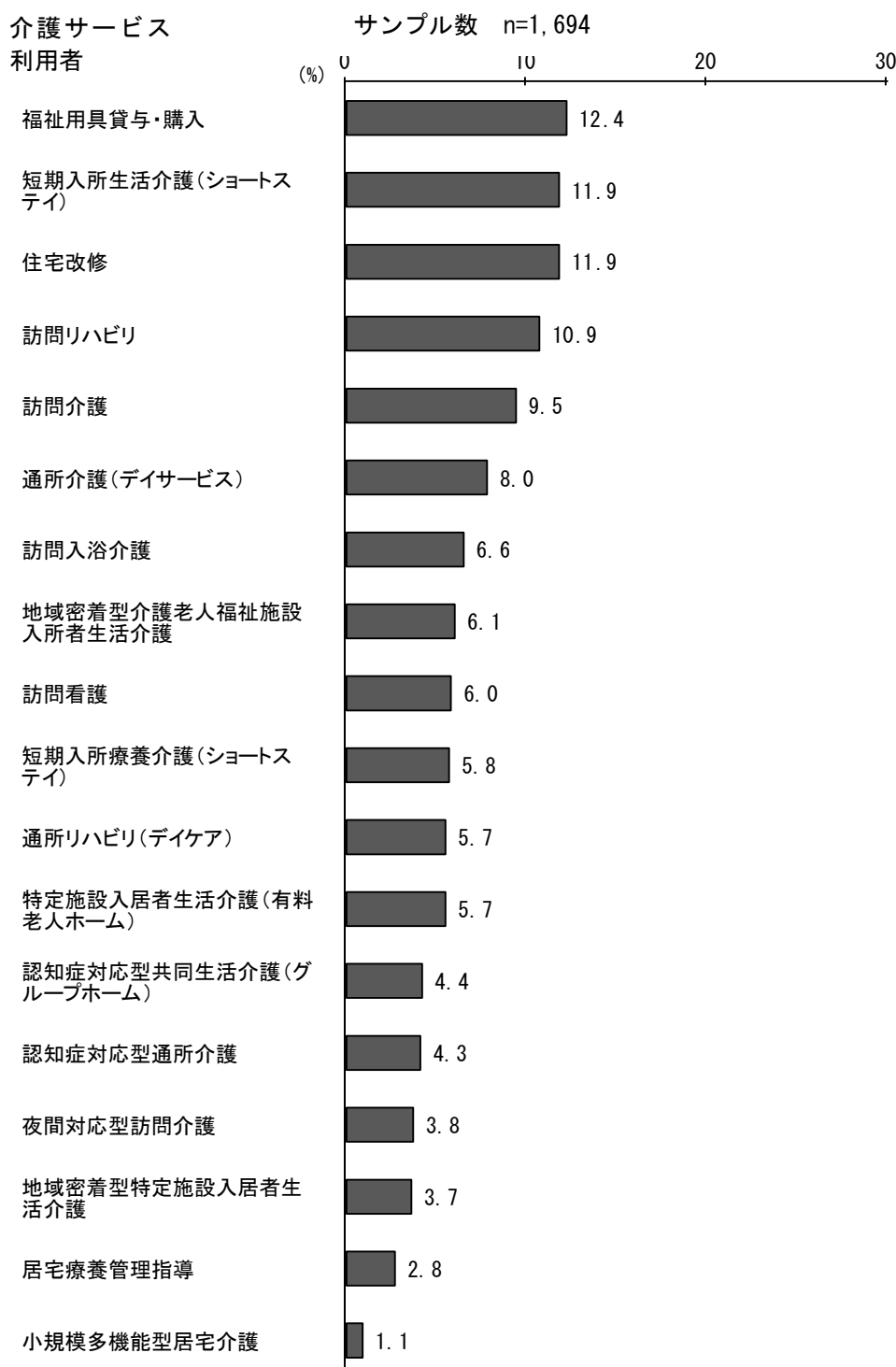
	調査 時点	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わか らない	無 回 答
	H18.3										
平成 18 年 3 月 時 点 の 要 介 護 度	全体	1,694 100.0	48 2.8	65 3.8	311 18.4	443 26.2	357 21.1	239 14.1	121 7.1	28 1.7	82 4.8
	要支援	102 100.0	25 24.5	14 13.7	32 31.4	15 14.7	8 7.8	6 5.9	0 0.0	1 1.0	1 1.0
	要介護1	319 100.0	10 3.1	12 3.8	184 57.7	82 25.7	16 5.0	8 2.5	3 0.9	0 0.0	4 1.3
	要介護2	423 100.0	1 0.2	27 6.4	41 9.7	263 62.2	67 15.8	18 4.3	2 0.5	0 0.0	4 0.9
	要介護3	292 100.0	2 0.7	3 1.0	11 3.8	20 6.8	202 69.2	42 14.4	10 3.4	0 0.0	2 0.7
	要介護4	165 100.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	2 1.2	22 13.3	120 72.7	18 10.9	0 0.0	1 0.6
	要介護5	89 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	8 9.0	78 87.6	0 0.0	1 1.1
	申請して いない	116 100.0	1 0.9	0 0.0	26 22.4	35 30.2	27 23.3	19 16.4	5 4.3	3 2.6	0 0.0
	非該当 (自立)	30 100.0	1 3.3	1 3.3	3 10.0	9 30.0	5 16.7	7 23.3	1 3.3	2 6.7	1 3.3
	わから ない	53 100.0	2 3.8	3 5.7	5 9.4	9 17.0	4 7.5	5 9.4	2 3.8	19 35.8	4 7.5
	無回答	105 100.0	6 5.7	5 4.8	7 6.7	7 6.7	5 4.8	6 5.7	2 1.9	3 2.9	64 61.0

介護サービス未利用者

	調査 時点	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わか らない	無 回 答
	H18.3										
平成 18年 3月 時点 の 要 介 護 度	全体	892 100.0	131 14.7	177 19.8	161 18.0	135 15.1	65 7.3	56 6.3	63 7.1	30 3.4	74 8.3
	要支援	186 100.0	75 40.3	63 33.9	22 11.8	10 5.4	2 1.1	3 1.6	2 1.1	3 1.6	6 3.2
	要介護1	199 100.0	15 7.5	54 27.1	79 39.7	28 14.1	9 4.5	6 3.0	2 1.0	3 1.5	3 1.5
	要介護2	118 100.0	4 3.4	17 14.4	15 12.7	53 44.9	13 11.0	4 3.4	8 6.8	1 0.8	3 2.5
	要介護3	51 100.0	2 3.9	0 0.0	2 3.9	5 9.8	25 49.0	10 19.6	6 11.8	0 0.0	1 2.0
	要介護4	28 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	3 10.7	0 0.0	17 60.7	6 21.4	0 0.0	1 3.6
	要介護5	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 3.7	24 88.9	0 0.0	1 3.7
	申請して いない	110 100.0	16 14.5	18 16.4	23 20.9	19 17.3	6 5.5	10 9.1	8 7.3	7 6.4	3 2.7
	非該当 (自立)	43 100.0	5 11.6	6 14.0	7 16.3	7 16.3	3 7.0	1 2.3	7 16.3	4 9.3	3 7.0
	わから ない	47 100.0	5 10.6	7 14.9	5 10.6	4 8.5	7 14.9	3 6.4	0 0.0	11 23.4	5 10.6
	無回答	83 100.0	9 10.8	12 14.5	7 8.4	5 6.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	1 1.2	48 57.8

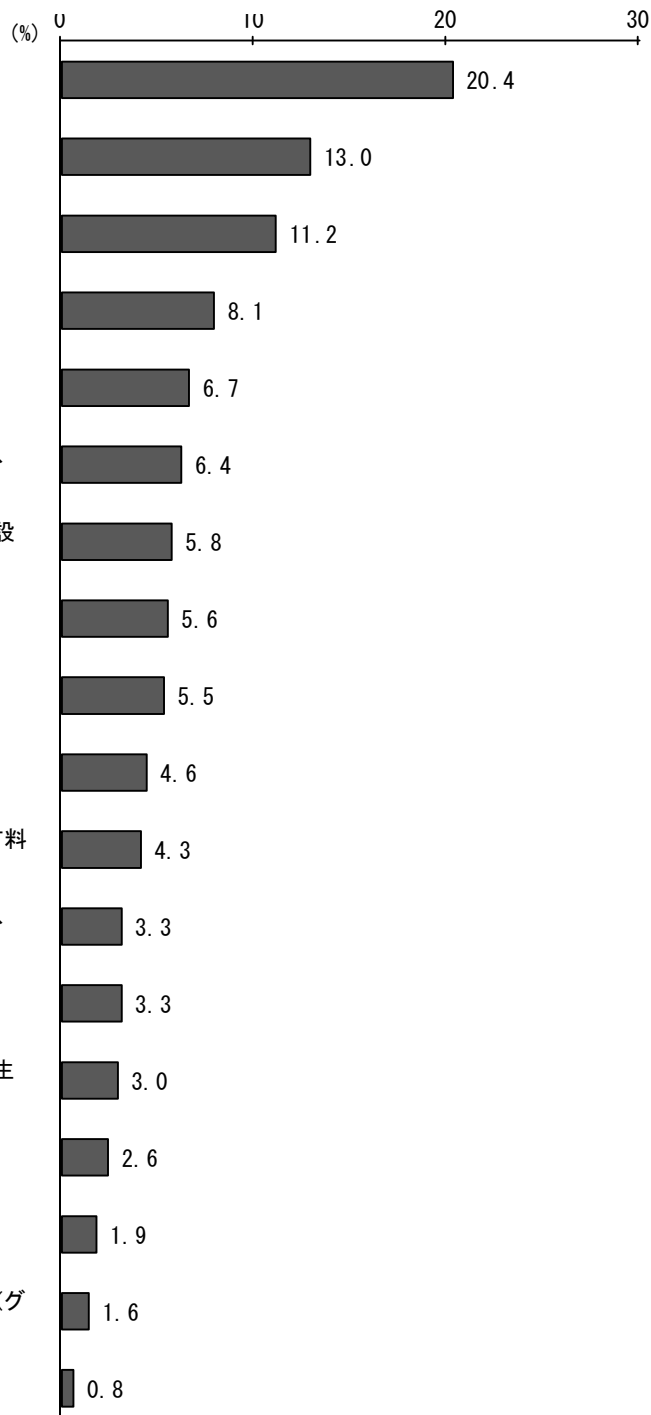
(7) 介護・医療 ⑤ 今後利用したい介護保険サービス [複数回答]

今後利用したい介護サービスについては、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のどちらも「福祉用具貸与・購入」の割合が最も高く、介護サービス利用者で12.4%、介護サービス未利用者で20.4%となっている。また、「住宅改修」の割合は、介護サービス利用者で11.9%、介護サービス未利用者は13.0%である。



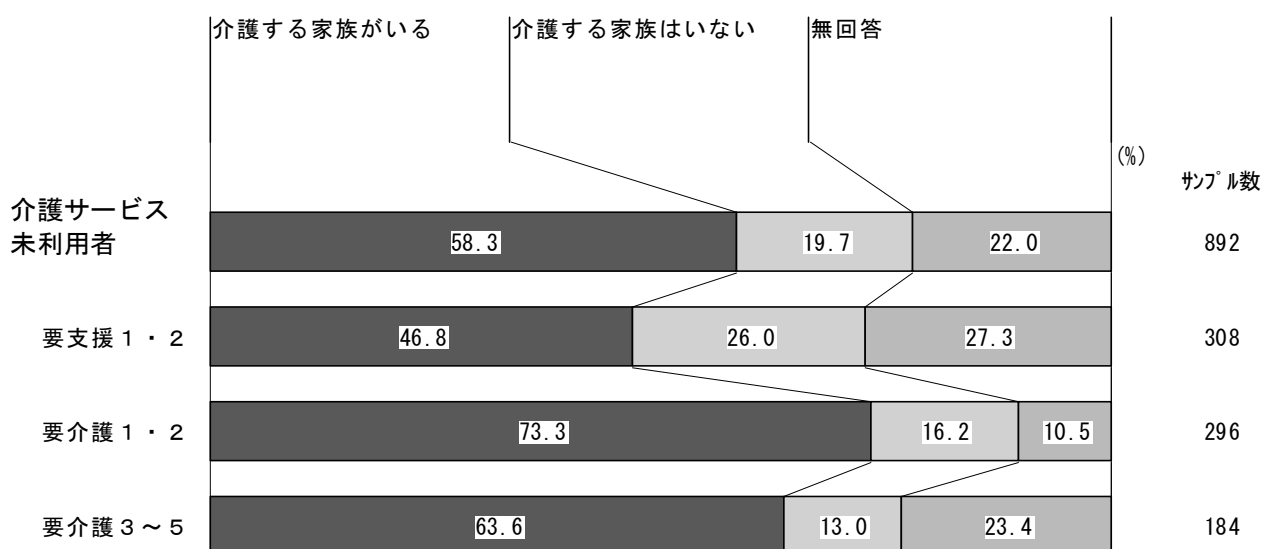
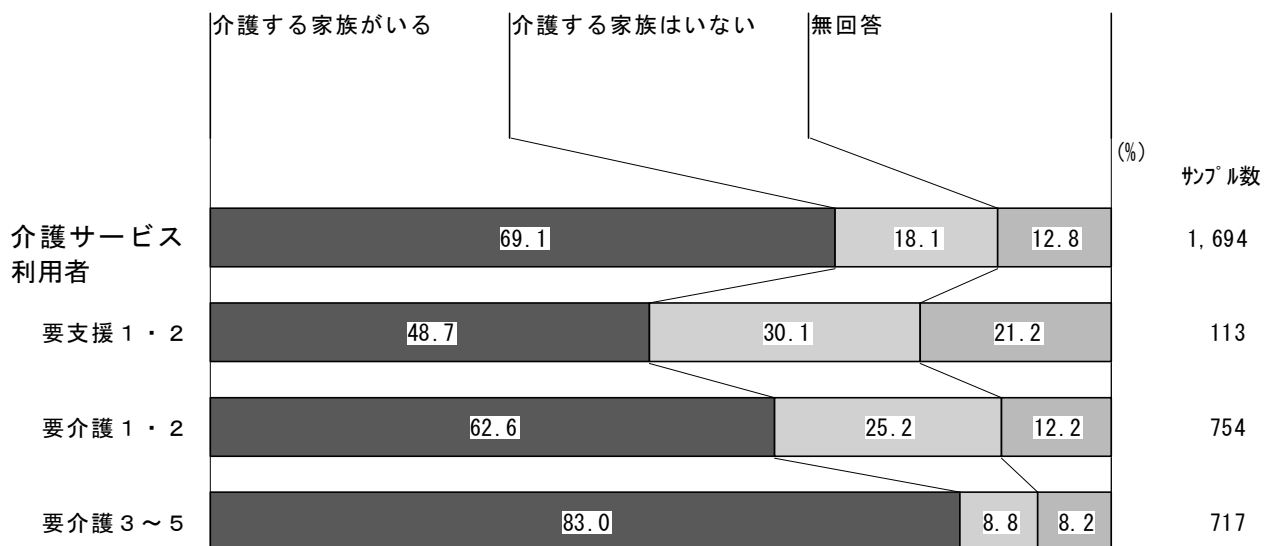
介護サービス
未利用者

サンプル数 n=892



(7) 介護・医療 ⑥家族介護者の有無

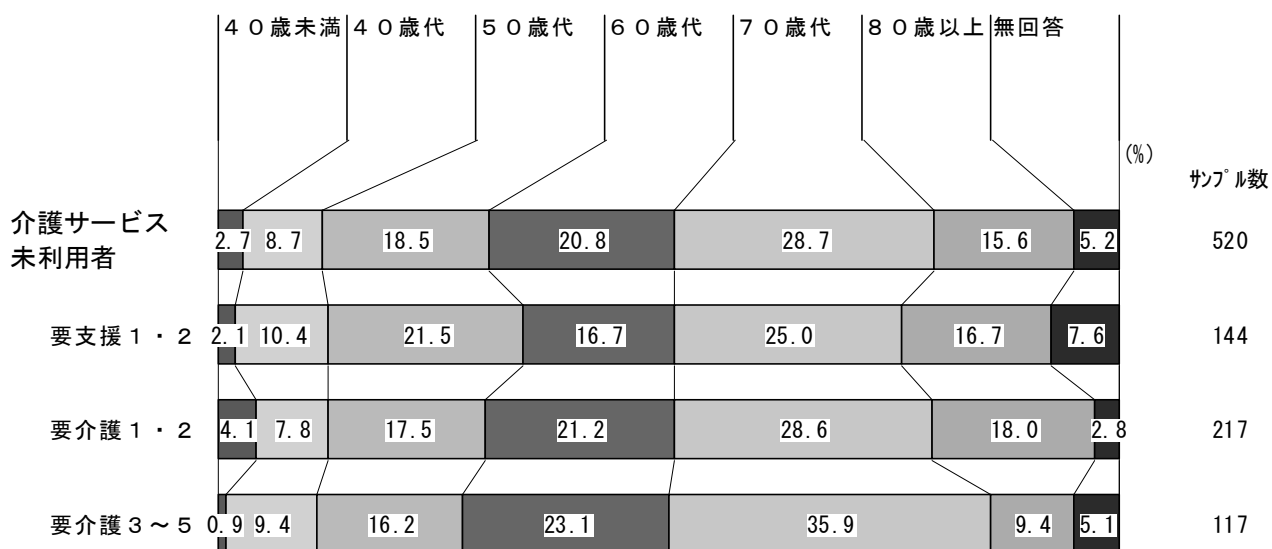
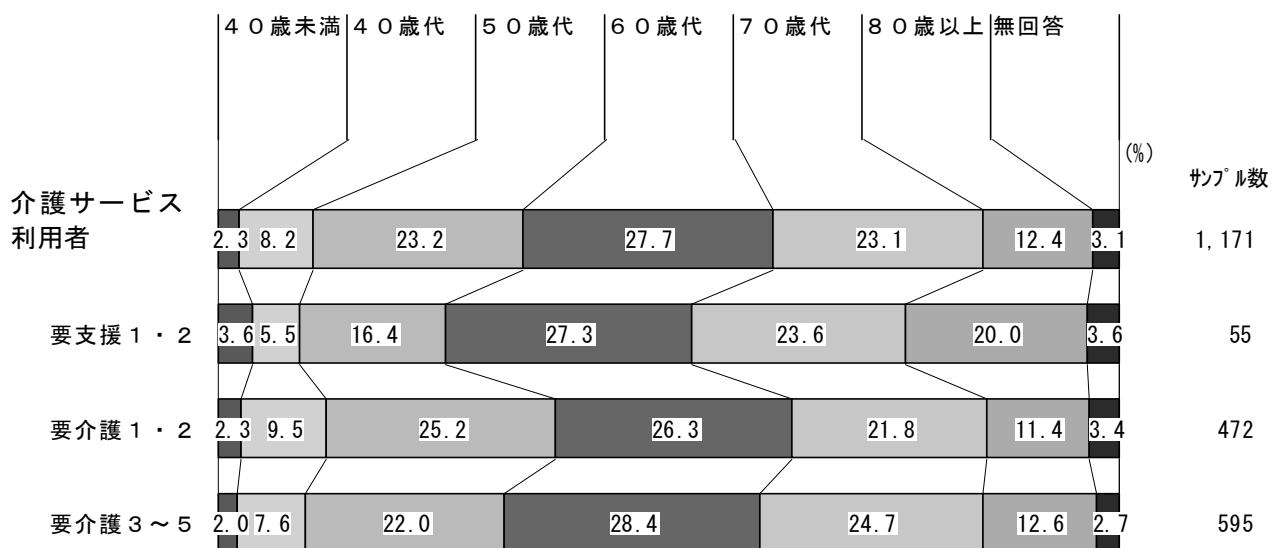
家族介護者の有無については、「介護する家族がいる」の割合は介護サービス利用者で69.1%、介護サービス未利用者は58.3%となっている。



(7) 介護・医療 ⑦介護している家族の年齢

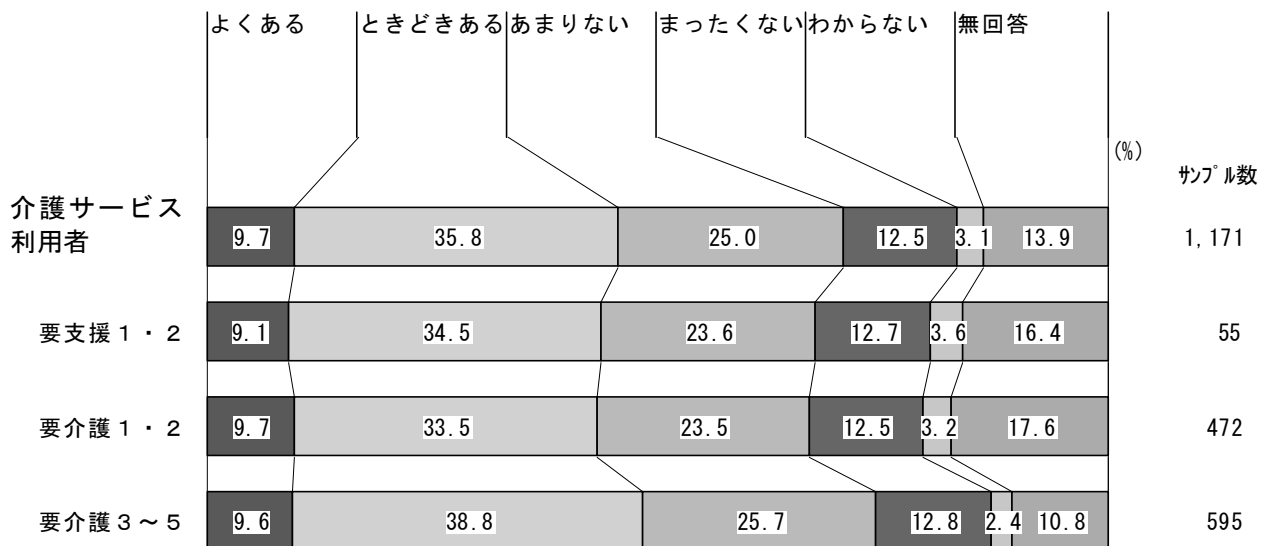
介護をしている家族の年齢層については、60歳以上が占める割合は介護サービス利用者で63.2%、介護サービス未利用者で65.1%となっている。

要介護度別でみると、介護サービス未利用者の要介護3～5では介護者が70歳以上である割合が45.3%と介護サービス利用者（37.3%）より高い。



(7) 介護・医療 ⑧介護中に高齢者へあたってしまった経験

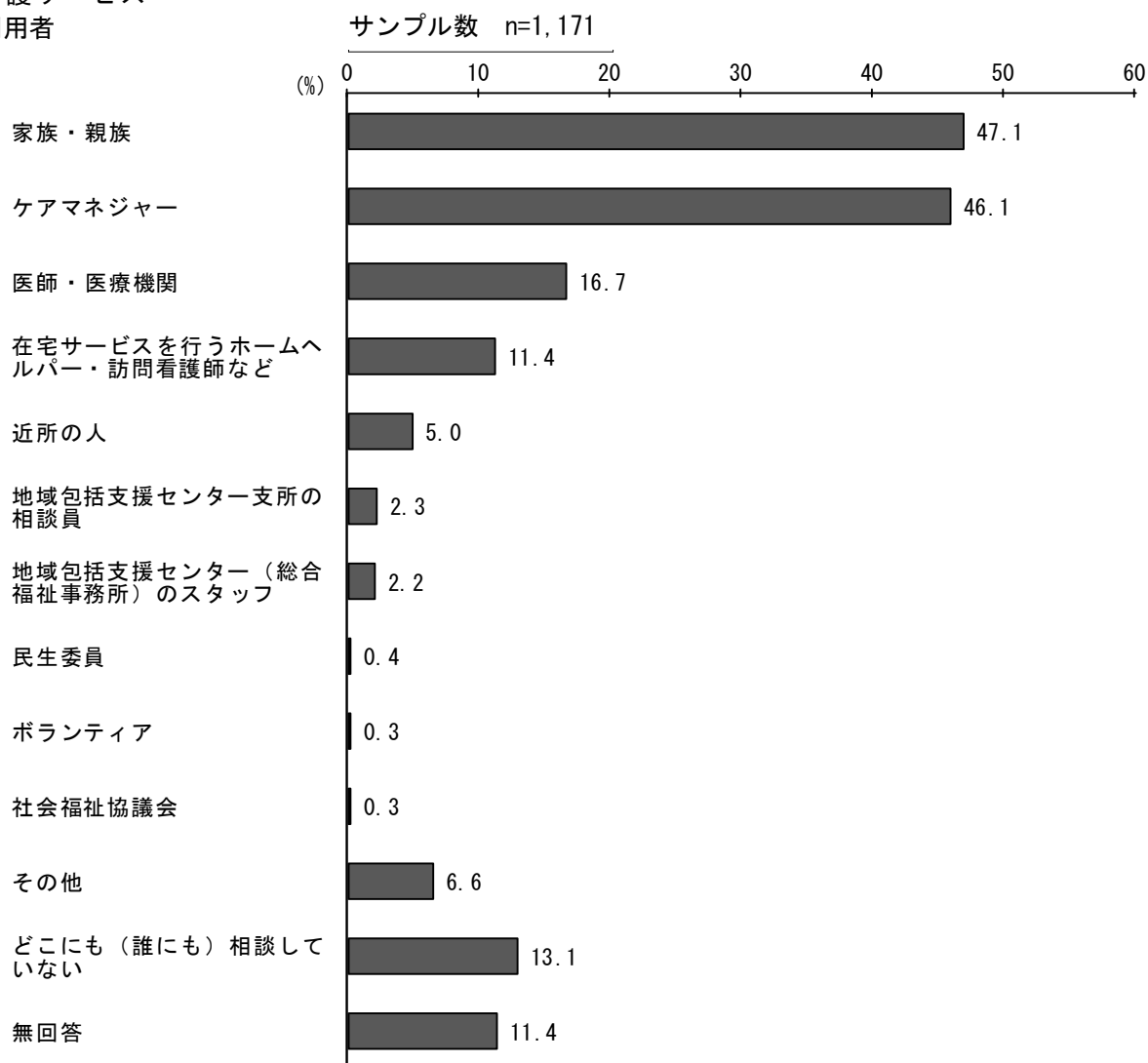
介護中にイライラして、高齢者にあたってしまうことについては、介護サービス利用者で「よくある」と「ときどきある」を合わせて45.5%みられる。



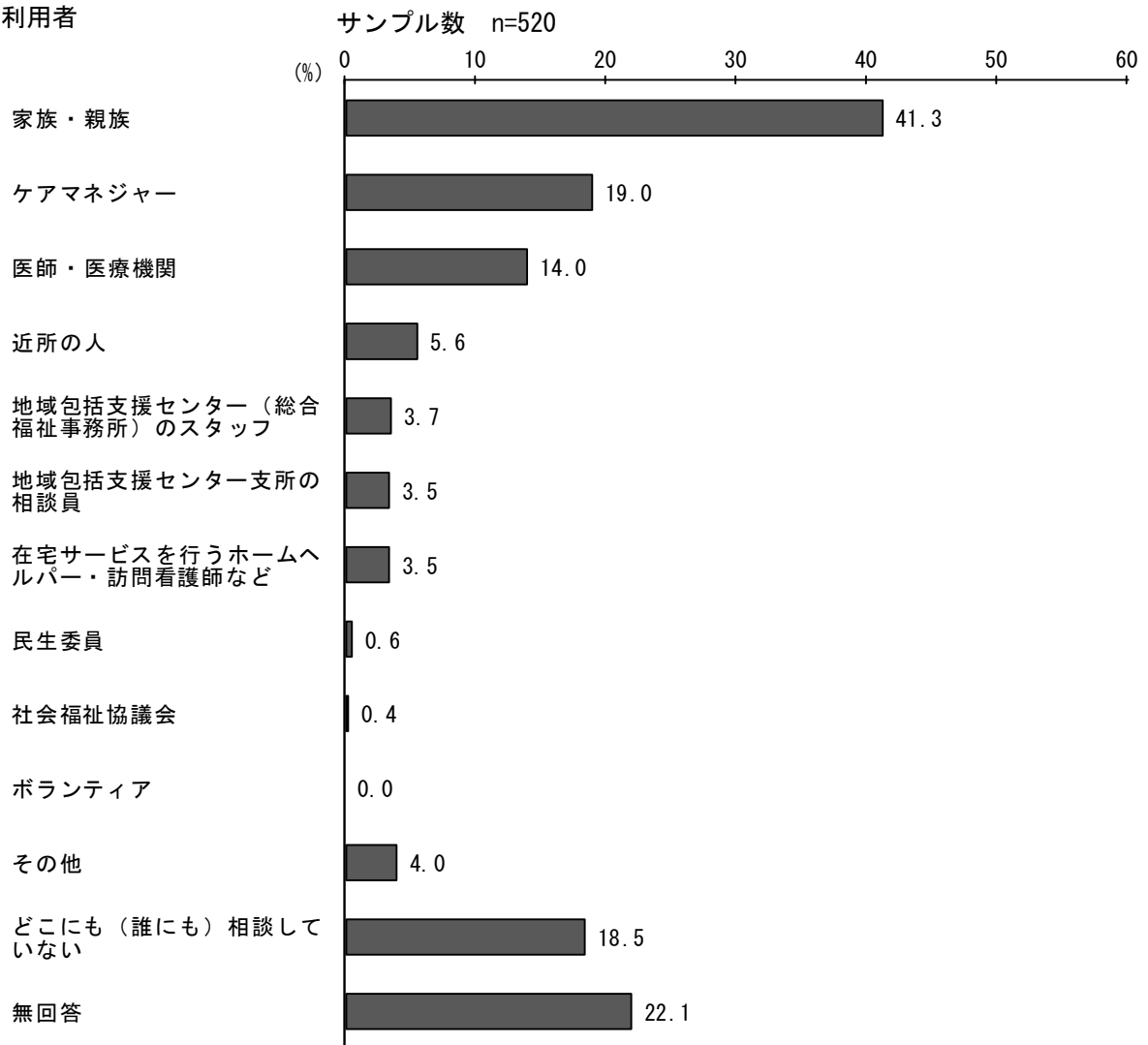
(7) 介護・医療 ⑨介護をしていてつらいときの相談先 [複数回答]

介護をしていてつらいときの相談先としては、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のどちらも「家族・親族」「ケアマネジャー」が上位にあげられている。「どこにも（誰にも）相談していない」の割合は、介護サービス利用者より介護サービス未利用者で高くなっている。

介護サービス
利用者



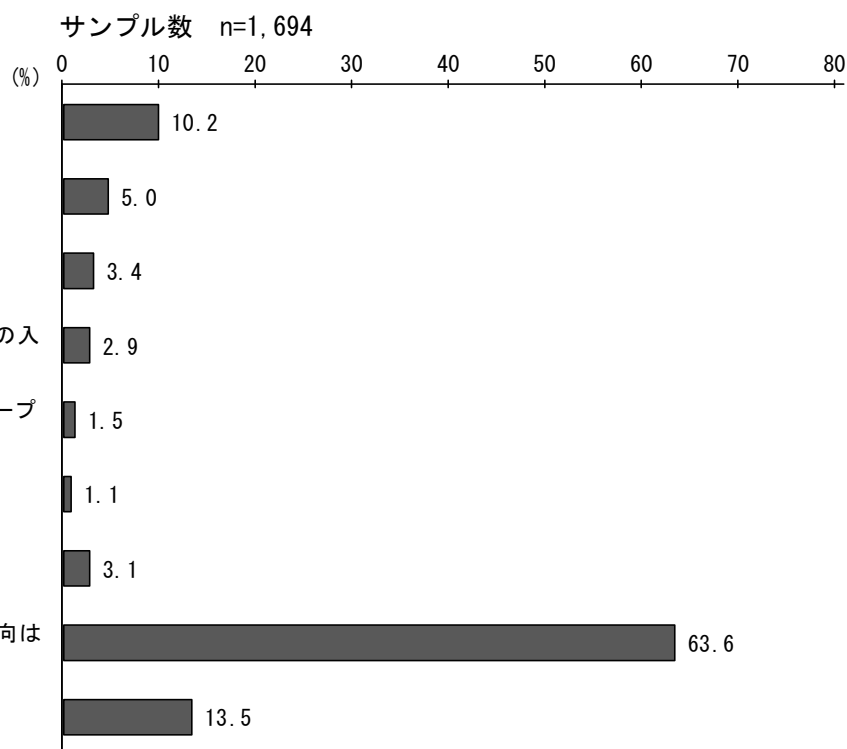
介護サービス
未利用者



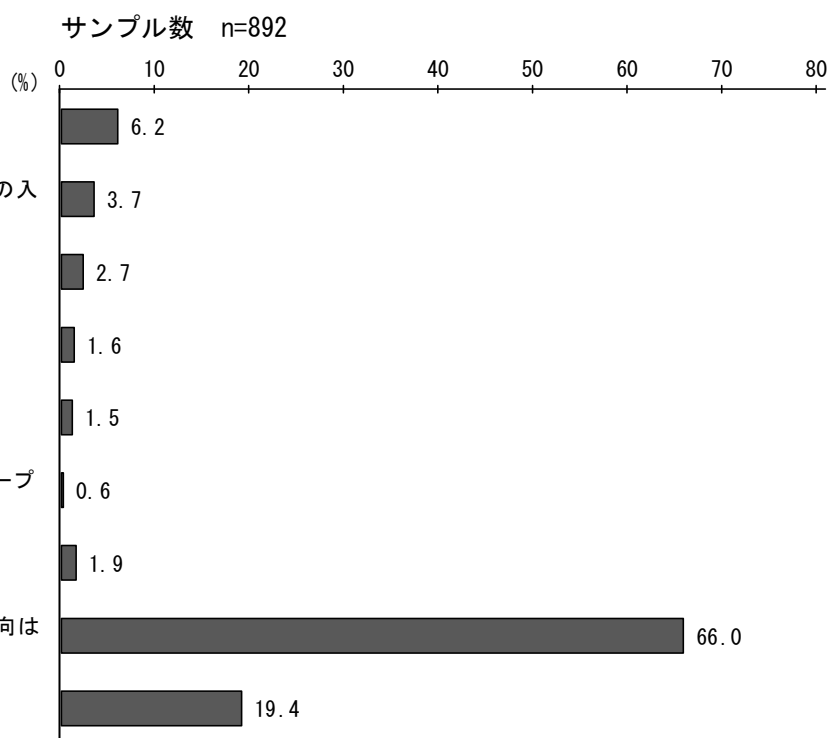
(7) 介護・医療 ⑩施設への入所（入院）申し込み状況 [複数回答]

施設への入所（入院）の申し込み状況をみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のどちらも「施設への入所（入院）意向はない」の割合が最も高い。

介護サービス利用者

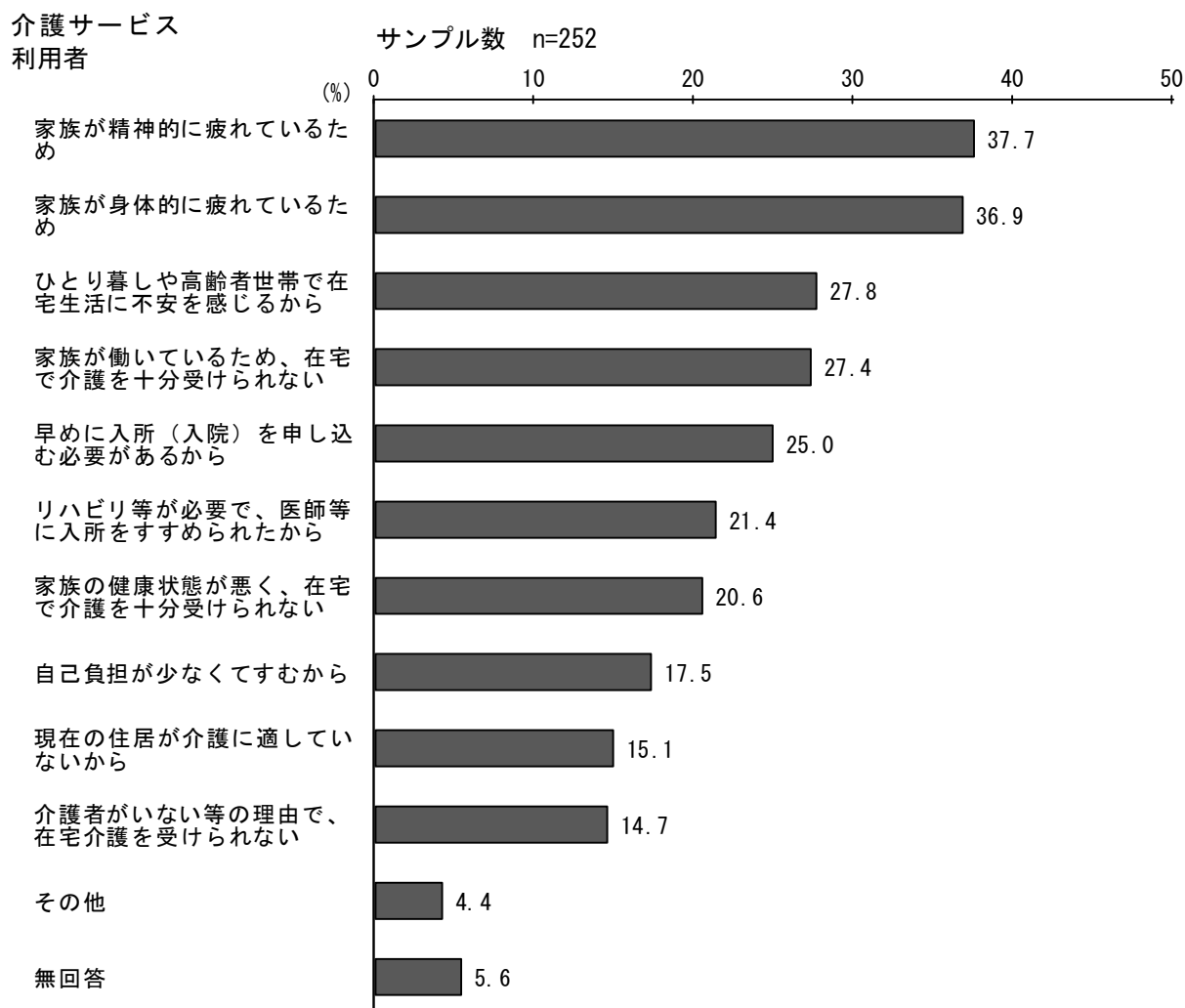


介護サービス未利用者



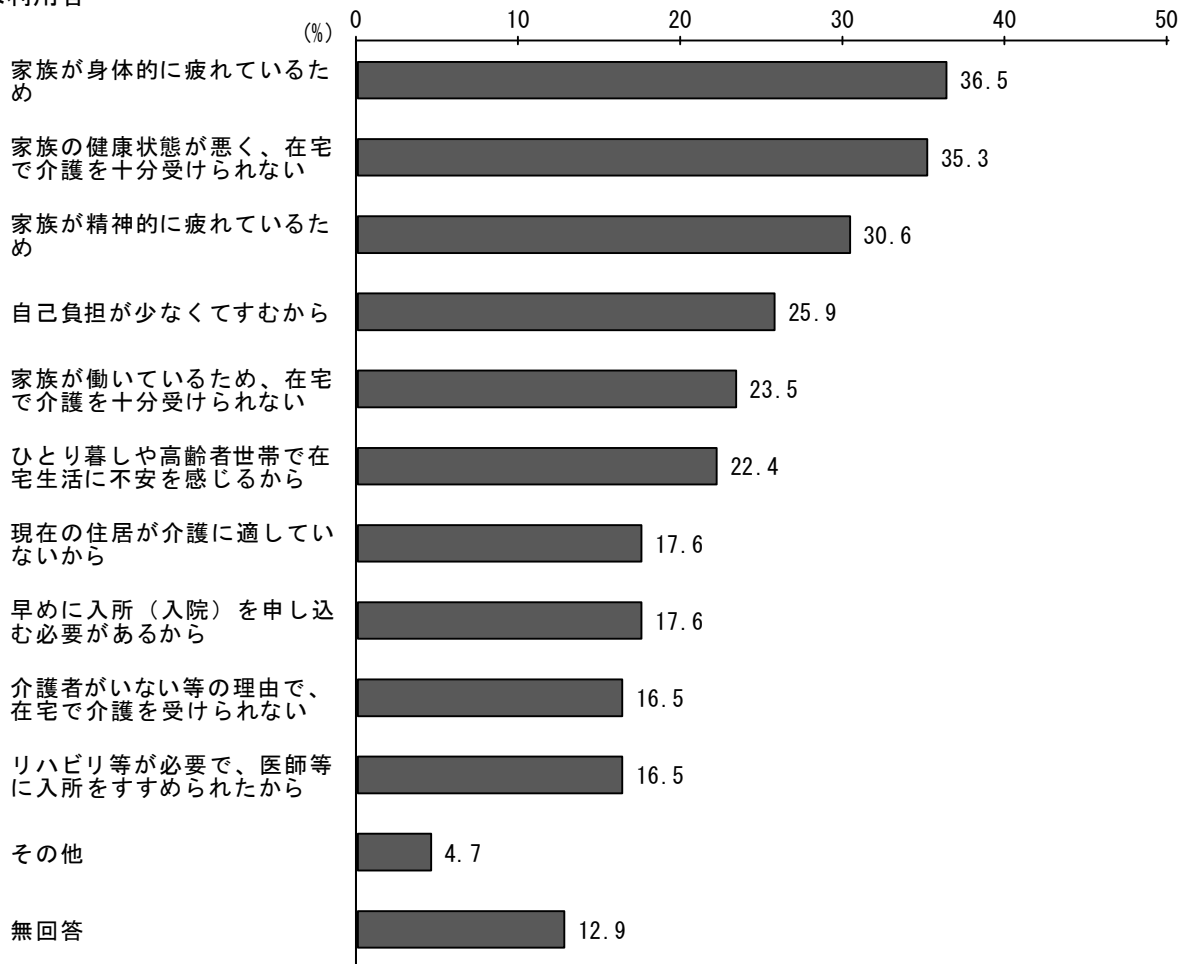
(7) 介護・医療 ①施設への入所（入院）申し込み理由 [複数回答]

施設への入所（入院）を希望する理由は、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のどちらも「家族が精神的に疲れているため」「家族が身体的に疲れているため」の割合が高くなっている。



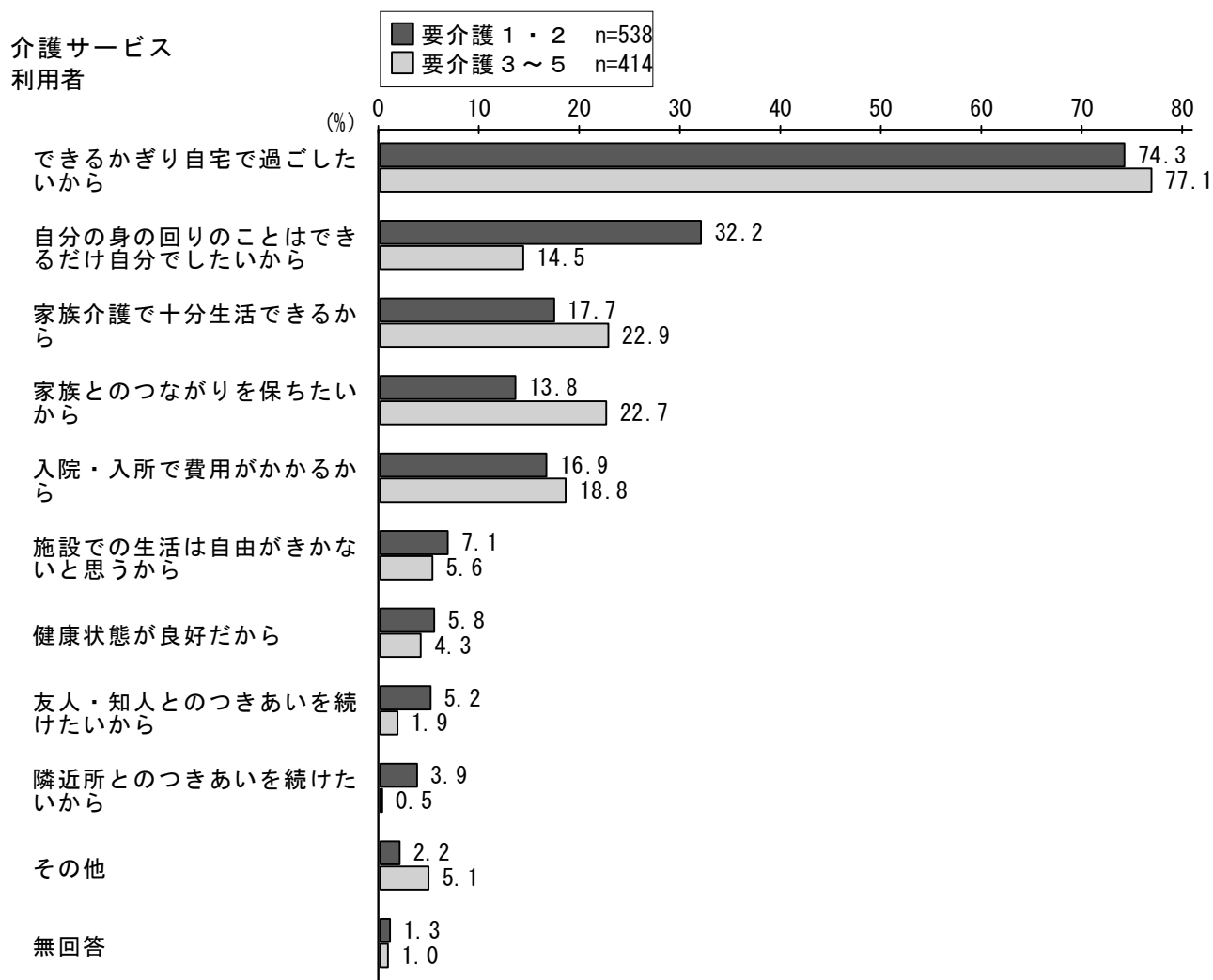
介護サービス
未利用者

サンプル数 n=85

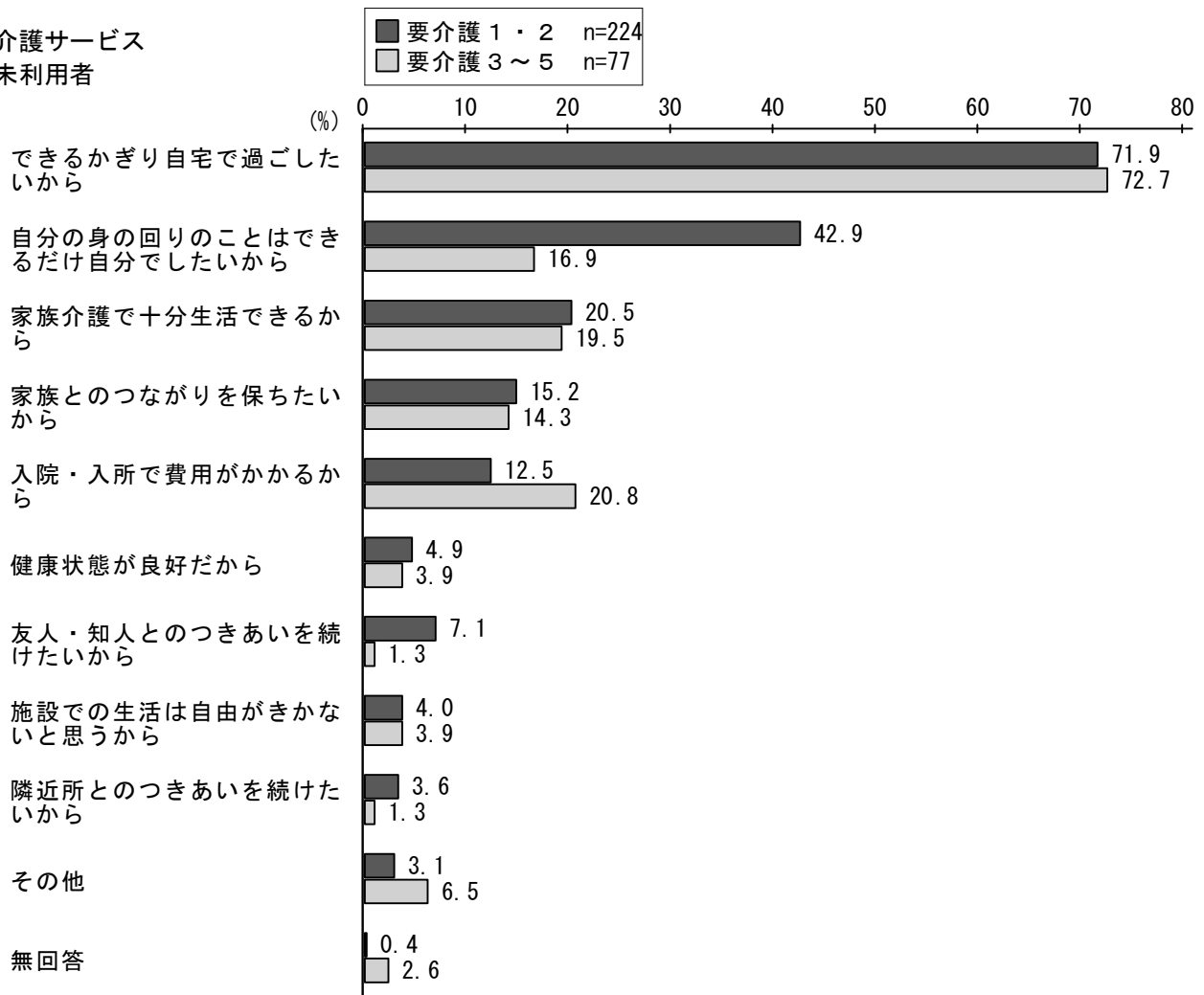


(7) 介護・医療 ⑫施設への入所（入院）を希望しない理由 [複数回答]

施設への入所（入院）を希望しない理由は、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のどちらも「できるかぎり自宅で過ごしたいから」が最も高く、次いで「自分の身の回りのことはできるだけ自分でしたいから」となっている。

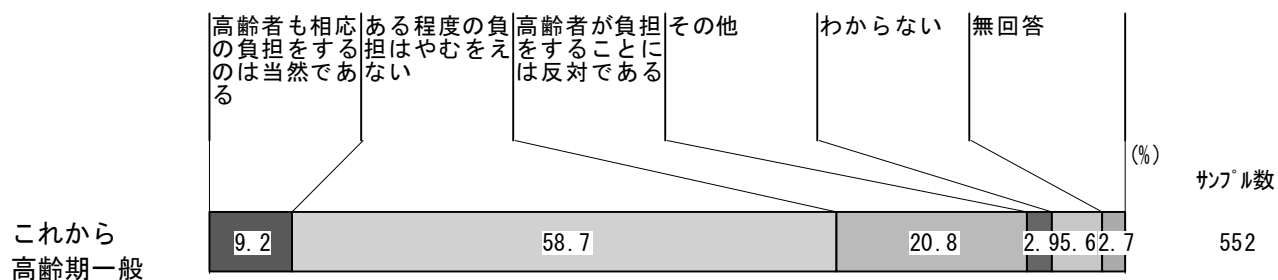
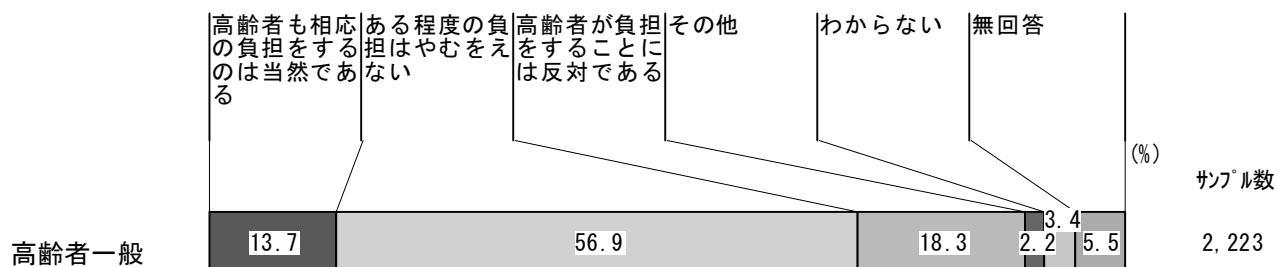


介護サービス
未利用者



(7) 介護・医療 ⑬介護保険制度についての考え方

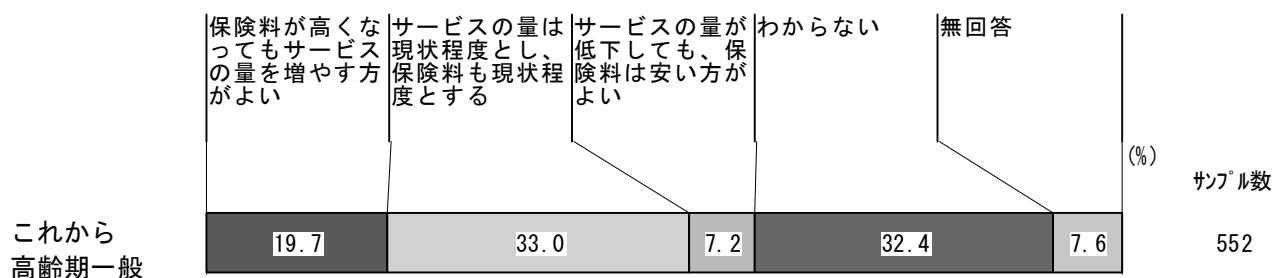
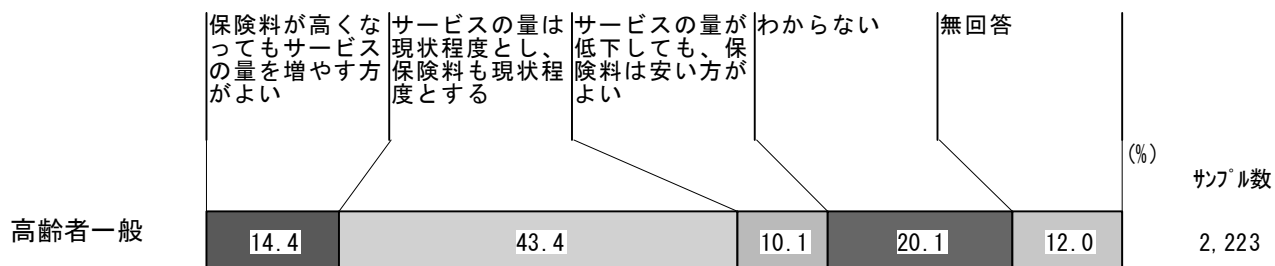
介護保険制度についての考え方は、「ある程度の負担はやむをえない」の割合が最も高く、高齢者一般で56.9%、これから高齢期一般で58.7%となっている。

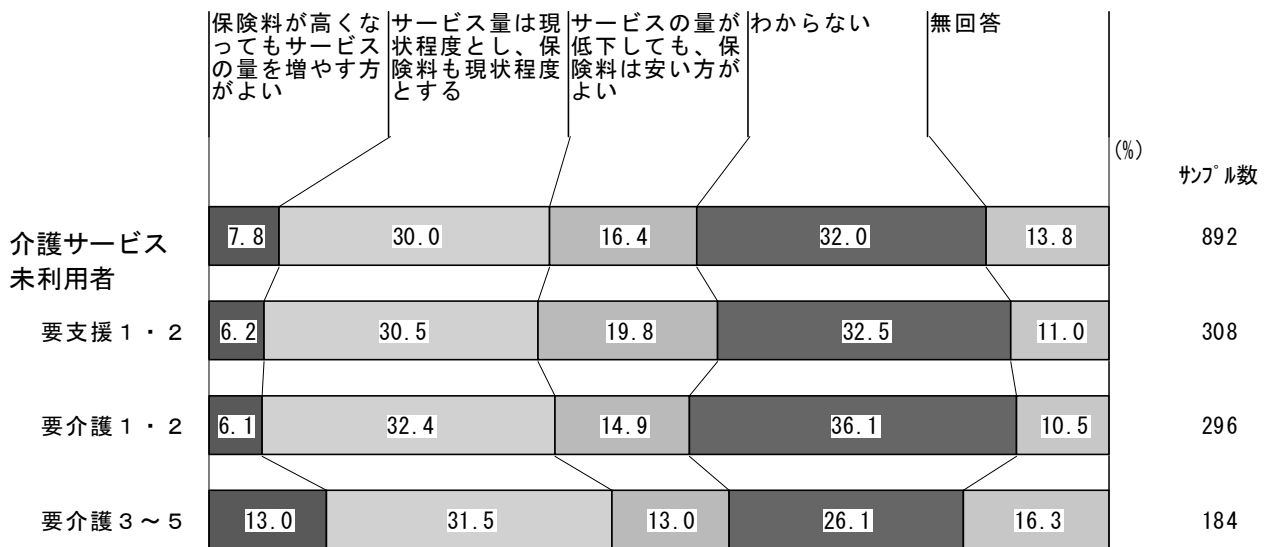
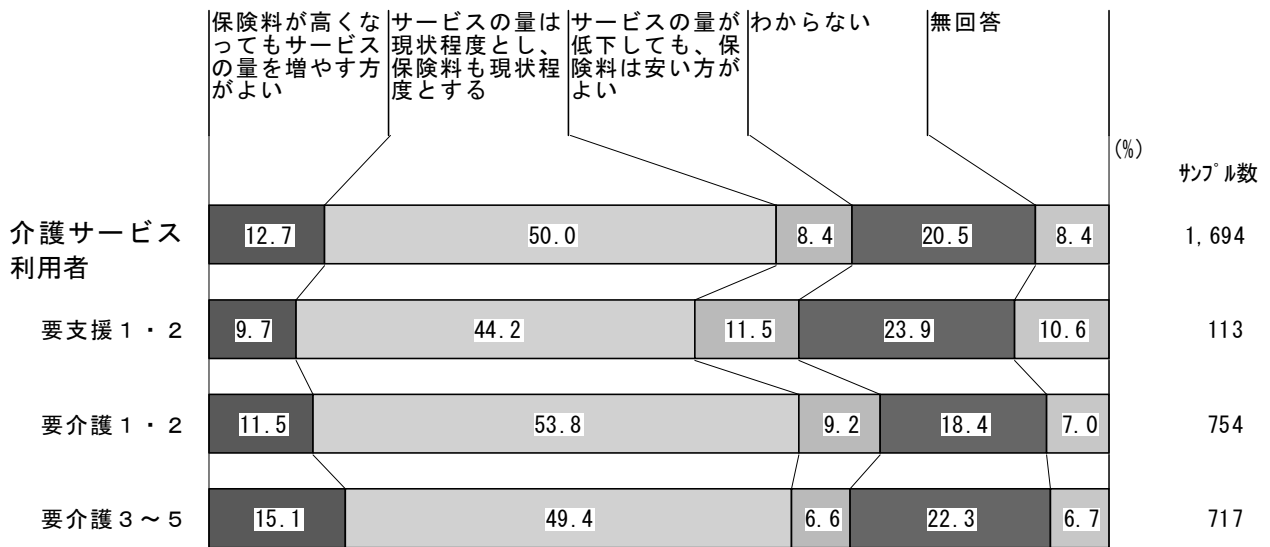


(7) 介護・医療 ⑭介護保険料とサービスの関係

介護保険料とサービスの関係については、いずれの調査においても「サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする」の割合が高くなっている。

介護サービス利用者と介護サービス未利用者で要介護度別にみると、要介護3～5において「保険料が高くなってもサービスの量を増やす方がよい」の割合が比較的高い。





(8) 今後力をいれてほしい高齢者施策〔複数回答〕

今後力をいれてほしい高齢者施策については、いずれの調査においても「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備」の割合が高く、このほか「要介護状態にならないよう介護予防・認知症予防の充実」「寝たきり・要介護の高齢者に対する支援」も上位にあげられている。

